

子ども・子育て支援事業計画二一ズ調査等業務委託

小学生調査

報告書

平成31年3月

三浦市

目次

調査結果の概要.....	102
調査結果総括.....	103
お住まいの地域について.....	106
お子さんご家族の状況について.....	106
子どもの育ちをめぐる環境について.....	108
保護者の就労状況について.....	113
お子さんの病気の際の対応について.....	122
放課後の過ごし方について.....	127
三浦市の子育て環境について.....	138
子育てにかかる費用等について.....	149

調査の概要

1 調査の目的

次期三浦市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」等について、アンケート調査を実施しました。

2 調査の種類

- (1)未就学児童の保育等に関する現状及び保護者ニーズ調査
- (2)小学生の放課後等に関する現状及び保護者ニーズ調査

3 抽出方法・抽出（発送）数

住民基本台帳から無作為抽出（世帯重複がないよう抽出）

- (1)未就学児童調査 1,017人
- (2)小学生調査 483人

（未就学児童がいる家庭を除いて小学校1年生から4年生の中から抽出）

合計 1,500人

4 調査実施時期

平成30年12月21日 対象者あて発送
平成31年1月11日 調査回答期限

5 調査回収状況

- (1)未就学児童調査 回収数 493人（回収率48.5%）
- (2)小学生調査 回収数 206人（回収率42.7%）
- 合計 回収数 699人（回収率46.6%）

本報告書の見方について

- ・ 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。
SA：単一回答（シングルアンサー）の設問
MA：複数回答（マルチアンサー）の設問
n：その設問に対する回答者数
- ・ 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答や選択肢の数が多き質問については、見やすさを考慮しグラフではなく表を掲載しているが、クロス集計表は、属性別にみて、全体の数値と比べて5ポイント以上数値が高い項目については、グレーの塗りつぶしで、太字で表示、10ポイント以上数値が高い項目については、黒の塗り潰しで、白抜き文字で表示している。
- ・ 図表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

調査結果総括

1. お子さんと家族の状況	
主な 質問 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・対象のお子さんの学年について ・母親、父親の就労状況について ・パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望について ・非就労者の就労希望について
現状	<p>◇共稼ぎの家庭は6割弱、専業主婦・主夫が2割弱。子育て（教育を含む）を主に行っているのは「父母ともに」が5割台半ば。</p> <p>◇就労していない母親は2割強、フルタイムの就労は3割弱、パートタイムの就労は5割弱、育休等も含む就労中の7割台半ばのうち、週5日以上勤務が5割台半ば、週4日勤務が2割弱、週3日勤務が2割弱。1日8時間以上労働が3割強、6～7時間労働が3割弱、5時間以内労働が4割弱。</p> <p>◇母親でパート・アルバイト等の就労者のフルタイムへの転換希望は2割弱、パート就労を続けることを希望は5割台半ば。パート就労をやめて子育てや家事に専念したい方は6%。</p> <p>◇非就業者のうち就労希望を持っているのは5割台半ば。すぐにでも就職したい人は、全員パート・アルバイト等を希望している。</p> <p>◇母親の就労希望時期は、「一番下の子が10歳」が3割台半ば、13歳が3割弱。</p>
課題	<p>◇子育てに父親が参加している家庭が5割台半ばである一方、主に母親という家庭も4割強みられる。</p> <p>◇非就業の母親の就労ニーズは5割台半ばと高く、全員がパート・アルバイト希望、これらの希望に対応する子育て支援の充実が求められる。</p>
2. 子どもの育ちをめぐる環境	
主な 質問 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人について ・子どもをみてもらえる親族や知人の有無について ・子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無や相談先について ・お子さんの発達や育ちについて気になることや心配なこと
現状	<p>◇日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる家庭は3割強、緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもをみてもらえる家庭は4割台半ば。</p> <p>◇日常的に友人・知人に子どもをみてもらえる家庭は1割弱、緊急時もしくは用事の際には友人・知人に子どもをみてもらえる家庭は2割である。</p> <p>◇子どもをみてもらえる親族も友人・知人もいない家庭は1割強である。</p> <p>◇子育てについて気軽に相談できる人については、9割強は「いる／ある」としており、相談先は「友人や知人」が8割台半ば、「祖父母等の親族」が7割弱と多く、「近所の人」が1割台半ばである。</p> <p>◇子どもの発達や育ちについて気になることや心配なことは、「学習面」と「友達関係」が3割弱、「性格」「親子関係や育て方」「行動面」が1割強。</p>
課題	<p>◇日常的に子どもをみてもらえる家庭は3割、子どもをみてもらえない家庭は1割強、6割台半ばが緊急時にしかみてもらえない環境にあることから、親族や友人・知人以外の支援を受けやすくする必要がある。</p> <p>◇気軽に相談できる人は友人・知人、親族が中心であり、専門的機関を挙げる人は少ない。専門知識やアドバイスを気軽に受けられる環境整備が必要である。</p>

3. 病気の際の対応	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが病気やけがで休んだ場合の対処方法とそれぞれの1年間の日数 ・病児・病後児のための保育施設等の利用希望の有無 (利用希望の場合、望ましい事業形態、利用したくない場合、その理由) ・いずれかの対処方法をした方で、「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか (休んで看ることが非常に難しい理由)
現状	<p>◇この1年間に、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがある人は5割。その時の対処方法は「母親が休んだ」で6割台半ば、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が2割台半ば、「親戚・知人に預けた」が2割強、「父親が休んだ」が1割。</p> <p>◇できれば、病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われた人は1割台半ば。</p> <p>◇病気やケガで病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、全員が「小児科に併設した施設」を、6割が「他の施設に併設した施設」が望ましい事業形態と回答。</p> <p>◇利用したいと思わない理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が4割弱、「休暇日数が足りないので休めない」が1割強。</p> <p>◇対処方法が父母や親戚以外と回答した人で、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」という人は3割台半ば。その日数は、年間1～5日程度。</p> <p>◇「休んで看することは非常に難しい」と回答した理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が4割弱、「休暇日数が足りないので休めない」が1割強。</p>
課題	<p>◇子どもの病気やケガの際に、母親が休んで対応するケースが多い。</p> <p>◇病児・病後児保育施設等の利用意向は、父親や母親が休んで対処した人の1割代半ばである。</p>

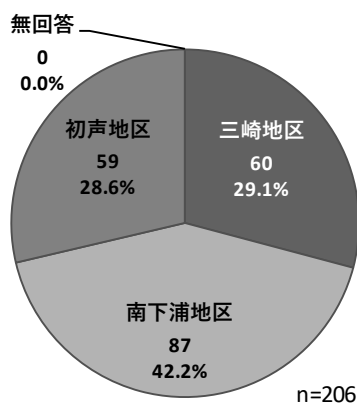
4. 放課後の過ごし方	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後（平日の小学校終了後）の時間の過ごし方と過ごさせたい場所 (現在の利用状況、利用場所、利用時間・日数) ・放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況・利用希望 (平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の利用状況・利用希望) ・放課後児童クラブの改善希望・利用していない理由
現状	<p>◇定放課後（平日の小学校終了後）過ごしている場所と過ごさせたい場所は、「自宅」がそれぞれ7割台半ば、7割弱と多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「祖父母宅や友人・知人宅」の順。</p> <p>◇「放課後児童クラブ〔学童保育〕」については、現状・希望ともに、日数は「5日」が、時間は「18時まで」が多いが、現状より希望日数が短く、時間も早い傾向。</p> <p>◇「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望の土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の利用希望は、いずれも「低学年の間は利用したい」が1割弱、「高学年になっても利用したい」が1～3割</p> <p>◇「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用開始時間については、土曜日、日曜・祝日、長期休暇中、いずれも8時からの希望が多く、終わる時間は、平日も含めていずれも18時までの希望が多い。</p>
課題	<p>◇放課後、過ごさせたい場所は、現在過ごしている場所と比べて、「習い事」「児童館」「放課後子ども教室」の割合が高くなっている。</p> <p>◇放課後児童クラブ（学童保育）のニーズは低学年で3割弱、高学年で6割みられ、子どもたちが安全に過ごせる場所の整備が求められている。</p> <p>◇土曜、日曜の放課後児童クラブ（学童保育）のニーズは、日曜日の利用希望は少なめだが、土曜日と長期休暇中は利用希望が2割台半ばあり、これらへの対応も必要である。</p>

5. 子育ての悩みと子育て環境の満足度	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てをされていて感じる悩みについて • 子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いかについて • 地域における子育ての環境や支援の満足度について • 子育てを行っていて、特に困ること、困ったこと • 近所の人とのつきあい方
現状	<p>◇現在、子育てをされていて感じている悩みは、「子どもの学習」が5割弱でもっとも多く、次いで「子どもとの過ごし方・遊び方」が3割弱、「子どもの健康」2割強、「子どもの食生活」2割強。</p> <p>◇子育てで「楽しさと大変さを同等に感じる」を含めると「楽しさを感じる」とする人が6割弱。</p> <p>◇子育て環境の満足度は「普通」が4割、満足度が「高い」「やや高い」は1割台半ばで、満足度が「低い」「やや低い」の4割台半ばを下回っている。</p> <p>◇以前(5年前程度)と比べ、三浦市の子育て環境は「あまり変わらない」が5割台半ばでもっとも多く、「どちらかといえば良くなったと思う」が1割台半ば。</p> <p>◇子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは、「子どもの成長」が8割台半ばでもっとも多く、次いで、「子育てを通じて自分も成長できたこと」が5割強。</p> <p>◇子育てをして特に困ること、困ったことは、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」が6割、「安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと」が5割強、</p> <p>◇子育てをされていて、地域から見守られている、支えられていると感じている方が4割台半ば、感じない方が2割、どちらともいえない方は3割台半ば。</p> <p>◇近所の人とのつきあい方は、「たまに立ち話ぐらいはする」が3割強、「会えばあいさつぐらいはする」が3割。</p> <p>◇子育てについて気軽に相談できる相手は「友人や知人」が8割弱でもっとも多く、次いで「祖父母等の親族」が7割弱、「学校の先生」が3割弱。</p>
課題	<p>◇子育てに楽しさを感じている人は多いが、子育て環境の満足度は低くなっている。一方、「子どもの学習」「子どもとの過ごし方・遊び方」「子どもの食生活」「子どもの健康」「家族の健康」「子どもの発育」「親同士のつきあい」等の悩みを持つ人も多く、これらに対応する相談体制等の充実が求められる。</p> <p>◇子どもの安全確保に関する不安を訴える声が多く、防犯等の対策を講じる必要がある。</p>

6. 子育てにかかる費用	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> • 世帯の年収について • 子育てにかかっている費用について
現状	<p>◇「500～700万円」が2割台半ばでもっとも多く、500万円以上は5割強、300万円以下は1割強。</p> <p>◇子育てにかかっている費用は、1か月に2万円未満が3割強、2～4万円未満が5割弱である。</p> <p>◇ひとり親家庭では300万円未満が4割台半ば、共稼ぎ(フルタイム)では、700万以上が5割弱。</p> <p>◇子育てにかかる費用は、1ヶ月に「2万円未満」が3割強、「2～4万円未満」5割弱。</p>
課題	<p>◇ひとり親世帯に対する支援の充実が求められる。</p>

お住まいの地域について

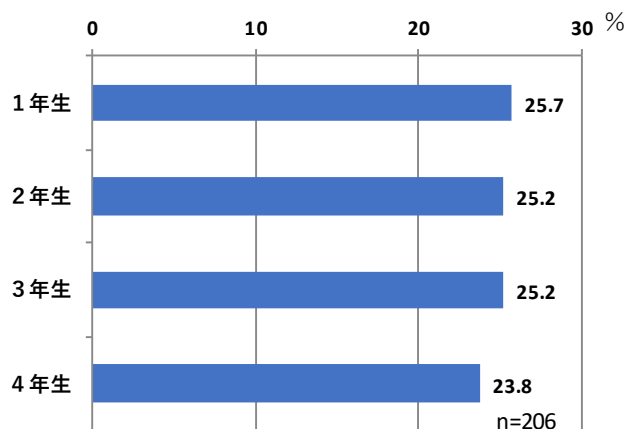
問1 お住まいの地区（○は1つ）



お子さんご家族の状況について

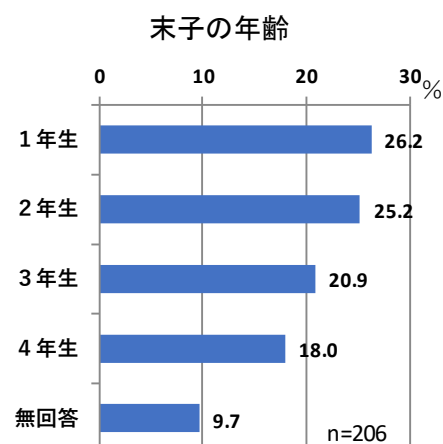
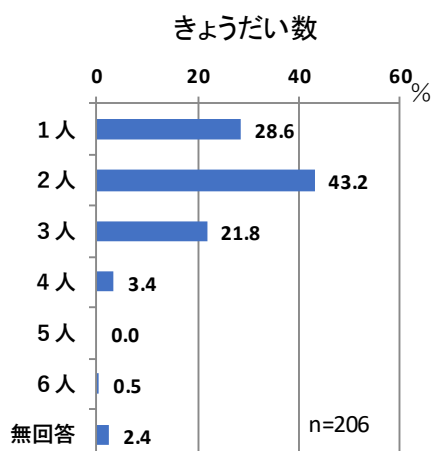
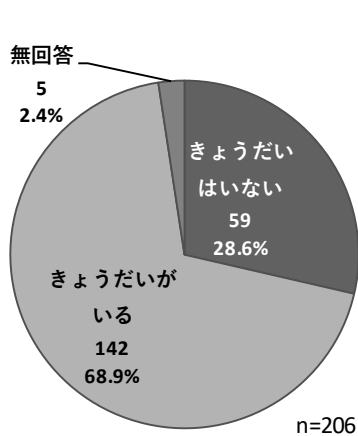
問2 あて名のお子さんの学年

小学 年生



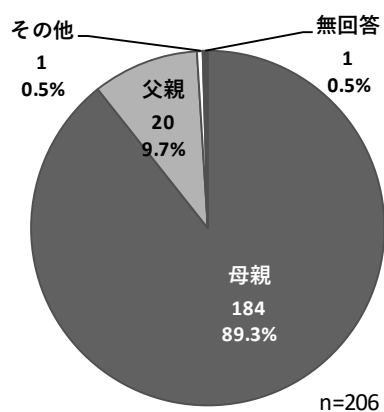
問3 あて名のお子さんのきょうだいはあて名のお子さんを含めて何人ですか。（数字で記入）お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ



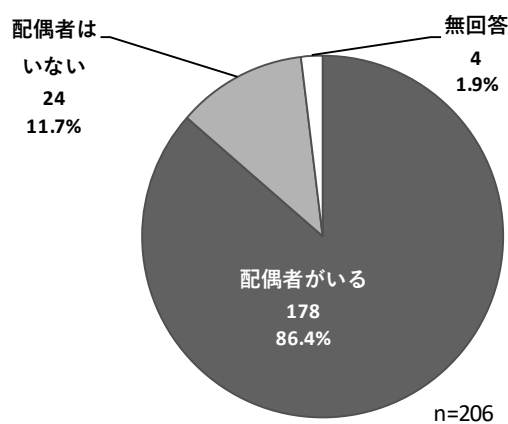
○きょうだいはいない世帯は30%弱、きょうだいがいる世帯は70%弱、そのうち2人兄弟の世帯が40%強を占め、3人以上の子のいる世帯は約25%である。

問4 この調査票にご回答いただく方はあて名のお子さんからみてどなたですか。(〇は1つ)



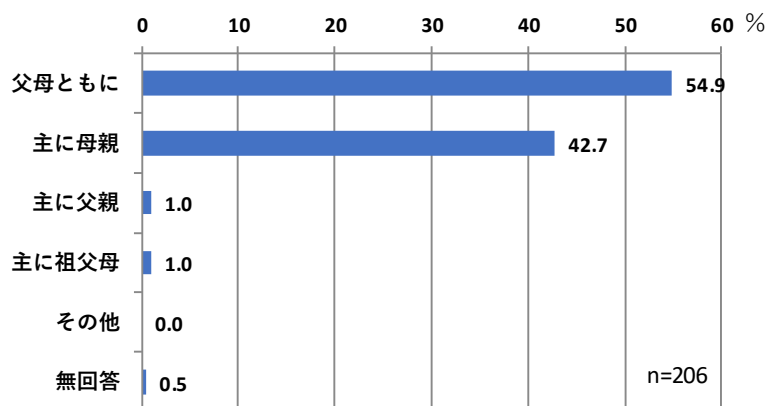
〇母親が回答しているケースが89.3%を占める。

問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(〇は1つ)



〇配偶者のいない世帯は11.7%である。

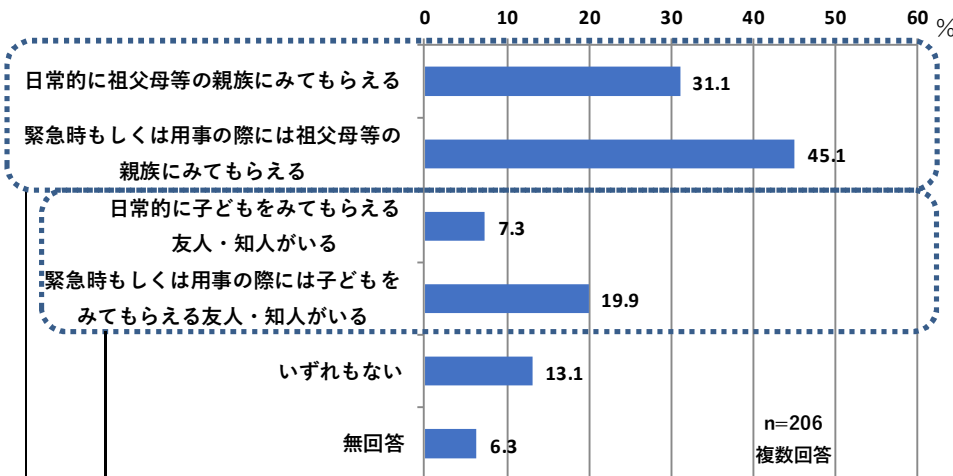
問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのは、あて名のお子さんからみてどなたですか。(〇は1つ)



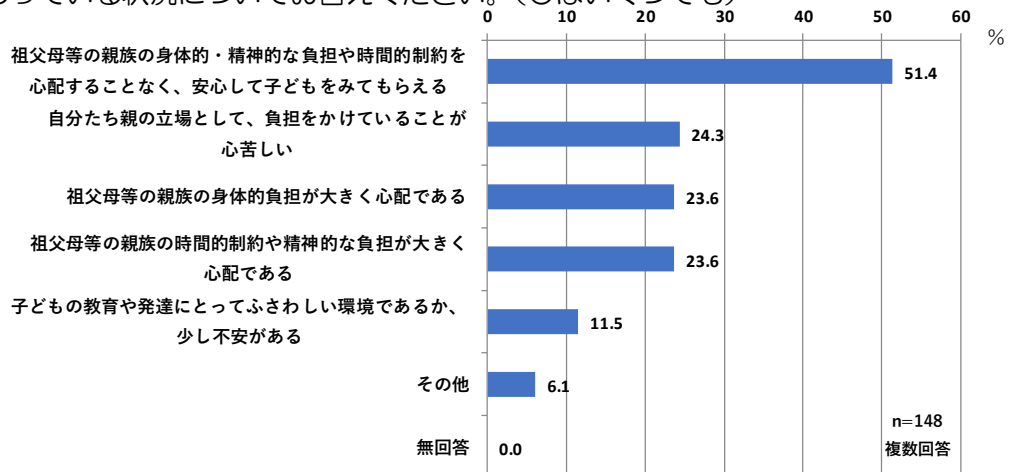
〇子育てを主に行っているのは父母ともにが54.9%を占め、主に母親が42.7%である。

子どもの育ちをめぐる環境について

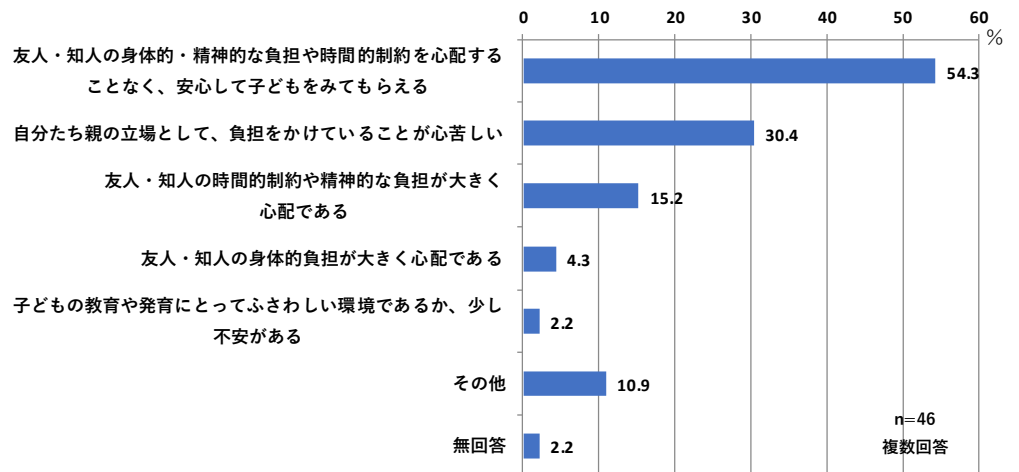
問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)



→ 問7-1 問7で「1」または「2」に回答された方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



→ 問7-2 問7で「3」または「4」に回答された方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



〇子育てに対する周囲からの支え(育児の手伝い)は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が45.1%と、もっとも多く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.1%。「いずれもない」は13.1%。

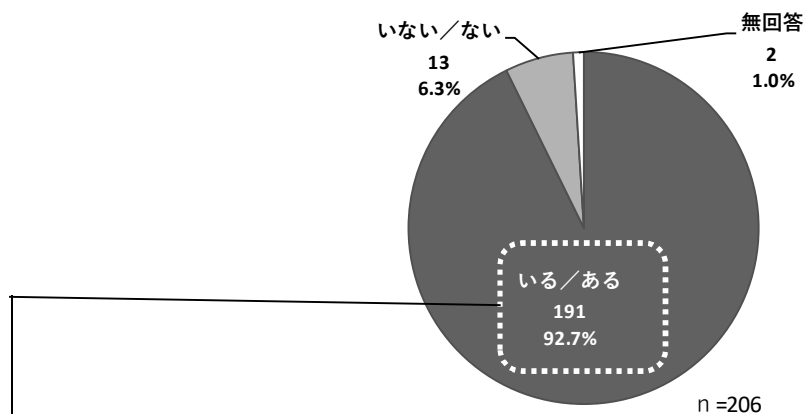
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人（各種属性別）

	合計	問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無						
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答	
全体	206	31.1	45.1	7.3	19.9	13.1	6.3	
問2 お子さんの学年	1年生	53	24.5	56.6	7.5	24.5	13.2	0.0
	2年生	52	28.8	46.2	7.7	15.4	9.6	15.4
	3年生	52	38.5	42.3	9.6	21.2	11.5	5.8
	4年生	49	32.7	34.7	4.1	18.4	18.4	4.1
	5年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1 きょうだいの有無	きょうだいはいない	59	28.8	47.5	5.1	20.3	15.3	6.8
	きょうだいがある	142	31.7	44.4	8.5	20.4	12.7	5.6
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	178	28.7	48.3	8.4	21.3	11.8	6.2
	配偶者がいない	24	45.8	29.2	0.0	8.3	20.8	8.3
問30 世帯の年収	～200万円	14	57.1	21.4	0.0	7.1	21.4	0.0
	200～300万円	11	18.2	45.5	9.1	27.3	36.4	0.0
	300～400万円	34	38.2	52.9	8.8	17.6	2.9	5.9
	400～500万円	38	39.5	47.4	10.5	26.3	13.2	2.6
	500～700万円	51	25.5	49.0	9.8	17.6	11.8	7.8
	700～1,000万円	37	18.9	51.4	2.7	21.6	5.4	8.1
	1,000万円以上	11	27.3	27.3	9.1	18.2	18.2	27.3
問15 現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所	自宅	155	33.5	43.2	8.4	23.2	11.0	5.8
	祖父母宅や友人・知人宅	37	32.4	51.4	16.2	16.2	10.8	5.4
	習い事	117	34.2	44.4	9.4	22.2	10.3	7.7
	児童館	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ〔学童保育〕	34	17.6	58.8	0.0	11.8	20.6	2.9
	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他（公民館、公園など）	55	32.7	41.8	14.5	27.3	10.9	10.9
問21 現在、子育てをしていると感じている悩み（統合）	悩みがある	165	29.7	46.7	7.9	21.2	13.3	6.1
	悩みはない	31	35.5	35.5	6.5	12.9	16.1	6.5
問22 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか	楽しさを感じる人が多い	51	31.4	45.1	15.7	23.5	13.7	2.0
	どちらかといえば楽しさを感じる人が多い	69	31.9	47.8	4.3	18.8	11.6	7.2
	楽しさと大変さを同等に感じる	66	28.8	42.4	4.5	21.2	15.2	9.1
	どちらかといえば大変さを感じる人が多い	13	30.8	46.2	7.7	15.4	15.4	0.0
	大変さを感じる人が多い	7	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3
問23 地域における子育ての環境や支援の満足度	満足度が低い	46	21.7	45.7	4.3	17.4	17.4	8.7
	満足度がやや低い	47	31.9	55.3	8.5	12.8	10.6	2.1
	満足度は普通	82	39.0	42.7	6.1	22.0	9.8	7.3
	満足度がやや高い	28	21.4	39.3	14.3	32.1	14.3	7.1
	満足度が高い	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

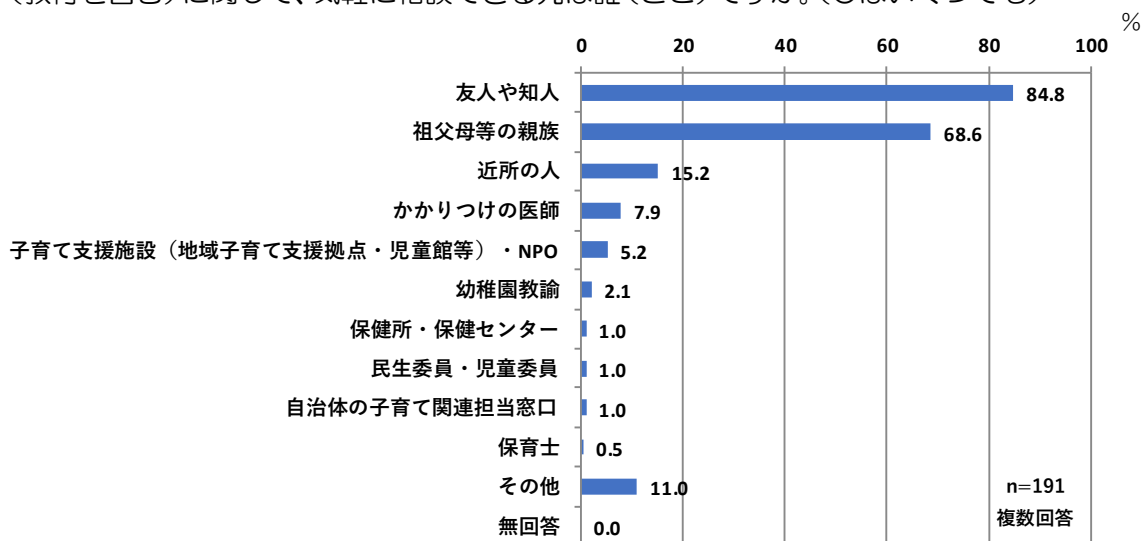
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人（地域・就労状況別）

	合計	問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人の有無						
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答	
全体	206	31.1	45.1	7.3	19.9	13.1	6.3	
問1 居住地区	三崎地区	60	33.3	46.7	8.3	20.0	13.3	5.0
	南下浦地区	87	29.9	46.0	4.6	12.6	13.8	9.2
	初声地区	59	30.5	42.4	10.2	30.5	11.9	3.4
	世帯の就労状況	24	45.8	29.2	0.0	8.3	20.8	8.3
世帯の就労状況	ひとり親家庭	40	35.0	52.5	5.0	17.5	5.0	10.0
	共稼ぎ（フルタイム）	80	30.0	41.3	8.8	18.8	16.3	6.3
	共稼ぎ（パート）	37	10.8	64.9	16.2	37.8	10.8	0.0
	専業主婦・主夫	25	44.0	32.0	0.0	12.0	12.0	8.0

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（〇は1つ）



問8-1 問8で「1. いる／ある」に回答された方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）



〇子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がいる／ある方は92.7%、いない／ない方は6.3%である。

〇子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、友人や知人が84.8%で最も多く、次いで祖父母等の親族が68.6%である。

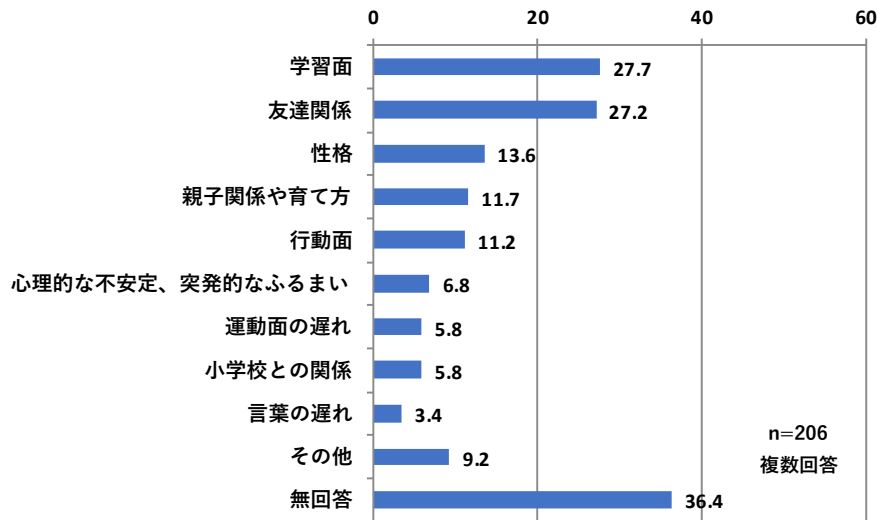
気軽に相談できる人（各種属性別）

	合計	問8-1 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先											
		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援拠点・児童館等）・NPO	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	その他	無回答
全体	191	68.6	84.8	15.2	5.2	1.0	0.5	2.1	1.0	7.9	1.0	11.0	0.0
問2 お子さんの学年													
1年生	48	66.7	89.6	12.5	10.4	2.1	2.1	4.2	0.0	0.0	0.0	10.4	0.0
2年生	49	63.3	81.6	6.1	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
3年生	47	74.5	83.0	17.0	4.3	2.1	0.0	2.1	4.3	10.6	4.3	8.5	0.0
4年生	47	70.2	85.1	25.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.0	10.6	0.0
5年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1 きょうだいの有無													
きょうだいはいない	53	62.3	84.9	15.1	9.4	0.0	0.0	0.0	1.9	5.7	0.0	9.4	0.0
きょうだいがいる	133	71.4	85.0	15.0	3.0	0.8	0.8	3.0	0.8	9.0	0.8	12.0	0.0
問5 配偶者の有無													
配偶者がいる	164	70.1	83.5	16.5	5.5	1.2	0.6	2.4	1.2	9.1	0.6	12.2	0.0
配偶者がいない	23	60.9	91.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0
問30 世帯の年収													
～200万円	11	45.5	72.7	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
200～300万円	11	45.5	81.8	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2	0.0
300～400万円	33	66.7	84.8	15.2	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	3.0	18.2	0.0
400～500万円	35	68.6	77.1	20.0	2.9	0.0	0.0	2.9	5.7	17.1	0.0	14.3	0.0
500～700万円	45	80.0	93.3	17.8	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	2.2	0.0
700～1,000万円	35	68.6	94.3	11.4	2.9	0.0	2.9	5.7	0.0	5.7	0.0	17.1	0.0
1,000万円以上	11	72.7	63.6	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
問8 子育て（教育を含む）で、気軽に相談できる人、													
いる／ある	191	68.6	84.8	15.2	5.2	1.0	0.5	2.1	1.0	7.9	1.0	11.0	0.0
いない／ない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問8-1 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談													
親戚・友人・近所の人	182	72.0	89.0	15.9	4.4	1.1	0.5	1.6	1.1	6.0	0.5	9.9	0.0
子育ての専門スタッフ	29	72.4	69.0	13.8	34.5	6.9	3.4	13.8	6.9	51.7	6.9	24.1	0.0
問15 現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所													
自宅	146	71.2	84.9	16.4	4.1	0.7	0.0	2.1	1.4	7.5	0.7	11.6	0.0
祖父母宅や友人・知人宅	37	86.5	86.5	13.5	5.4	0.0	0.0	2.7	0.0	10.8	2.7	10.8	0.0
習い事	108	73.1	90.7	19.4	5.6	0.9	0.0	2.8	0.9	9.3	0.9	9.3	0.0
児童館	5	60.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
放課後子ども教室	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後児童クラブ〔学童保育〕	30	56.7	83.3	6.7	13.3	3.3	3.3	3.3	0.0	6.7	3.3	13.3	0.0
ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他（公民館、公園など）	50	66.0	84.0	14.0	6.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	14.0	0.0
問16 今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所													
自宅	128	73.4	85.2	16.4	3.9	0.8	0.0	1.6	1.6	6.3	0.8	12.5	0.0
祖父母宅や友人・知人宅	32	84.4	87.5	15.6	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	12.5	3.1	12.5	0.0
習い事	117	73.5	88.9	17.9	3.4	0.9	0.9	3.4	1.7	10.3	0.0	12.0	0.0
児童館	16	50.0	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	18.8	0.0
放課後子ども教室	25	48.0	92.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0
放課後児童クラブ〔学童保育〕	31	61.3	87.1	6.5	12.9	0.0	3.2	3.2	0.0	6.5	0.0	9.7	0.0
ファミリー・サポート・センター	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
その他（公民館、公園など）	63	65.1	84.1	15.9	6.3	0.0	0.0	1.6	1.6	9.5	0.0	12.7	0.0
問21 現在、子育てをしている悩み（統合）													
悩みがある	153	66.7	86.3	15.7	5.9	1.3	0.7	2.0	1.3	7.8	1.3	11.8	0.0
悩みはない	29	72.4	82.8	6.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0
問22 現在、子育てをしている、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか													
楽しさを感じる人が多い	50	70.0	82.0	20.0	6.0	2.0	2.0	4.0	2.0	10.0	4.0	10.0	0.0
どちらかといえば楽しさを感じる人が多い	65	67.7	84.6	13.8	1.5	0.0	0.0	3.1	0.0	6.2	0.0	12.3	0.0
楽しさと大変さを同等に感じる	60	66.7	85.0	16.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	6.7	0.0
どちらかといえば大変さを感じる人が多い	12	66.7	100.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	25.0	0.0
大変さを感じる人が多い	4	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
問23 地域における子育ての環境や支援の満足度													
満足度が低い	40	57.5	87.5	7.5	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	10.0	0.0	12.5	0.0
満足度がやや低い	41	78.0	87.8	9.8	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	7.3	0.0
満足度は普通	79	74.7	86.1	17.7	7.6	2.5	0.0	2.5	1.3	10.1	2.5	8.9	0.0
満足度がやや高い	28	57.1	75.0	28.6	3.6	0.0	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	21.4	0.0
満足度が高い	3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

気軽に相談できる人（地域・就労状況別）

	合計	問8-1 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先											
		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援拠点・児童館等）・NPO	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	その他	無回答
全体	191	68.6	84.8	15.2	5.2	1.0	0.5	2.1	1.0	7.9	1.0	11.0	0.0
問1 居住地区													
三崎地区	56	66.1	80.4	14.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0
南下浦地区	79	67.1	86.1	10.1	8.9	1.3	1.3	3.8	2.5	7.6	1.3	13.9	0.0
初声地区	56	73.2	87.5	23.2	3.6	1.8	0.0	1.8	0.0	1.8	1.8	10.7	0.0
世帯の就労状況													
ひとり親家庭	23	60.9	91.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0
共稼ぎ（フルタイム）	35	71.4	85.7	17.1	5.7	2.9	2.9	5.7	0.0	11.4	0.0	14.3	0.0
共稼ぎ（パート）	77	68.8	79.2	15.6	5.2	0.0	0.0	0.0	2.6	7.8	1.3	11.7	0.0
専業主婦・主夫	36	75.0	86.1	22.2	5.6	2.8	0.0	5.6	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
その他	20	60.0	95.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	0.0

問9 あて名のお子さんの発達や育ちについて気になることや心配なことはありますか。(〇はいくつでも)



〇お子さんの発達や育ちについて気になることや心配なことは、学習面が27.7%で最も多く、次いで友達関係が27.2%、性格が13.6%の順である。

問10 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。自由にお書きください。

回答のあった件数 65件 意見総数 77件

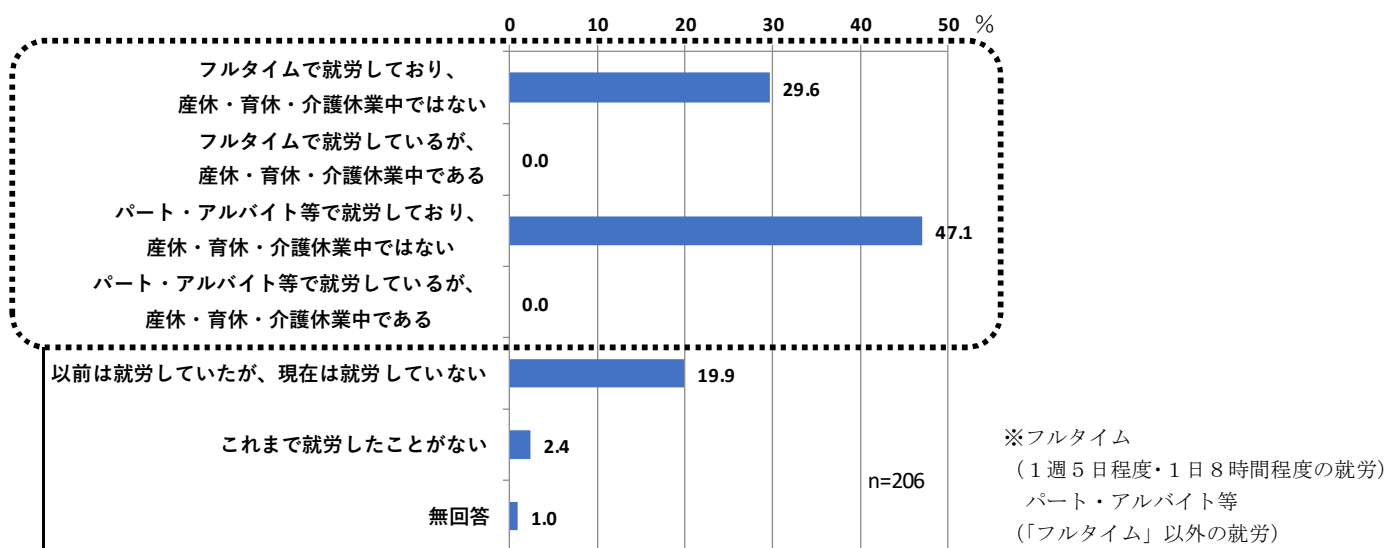
子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からほしいサポート

分野	件数	サポートの種類	件数
就労支援	19	子どもを預けられる場	15
		朝のサポート	1
		場面の応じたサポートに期待	1
		日曜祭日に預かってくれる場	1
		病児保育	1
相談できる場	13	相談できる場	9
		障害児等へのサポート	4
子どもの居場所	11	居場所がない	5
		学校に居場所を	2
		安心して過ごせる場	3
		行政による学童の運営	1
公園・遊び場	7	遊び場がない	3
		公園がない	2
		公園の開放	1
		体育館が欲しい	1
子どものサポート	7	放課後の勉強のサポート	3
		子どもの意見を聞くべき	2
		スマホ持参を認めるべき	1
		スクールバス	1
近隣の見守り	7	近隣との関わり・地域の見守り	5
		帰宅時の声かけ	1
		親同士をつなぐ場	1
教育面の充実	3	体験型イベント	2
		教育面の充実	1
経済面の支援	3	教育費のサポート	1
		お金がない	1
		バス代が高い	1
子どもの安全	2	通学路が不安	2
		その他	1
感謝	4	学校等のサポートに感謝	3
		中学校給食に感謝	1
		合計	77

保護者の就労状況について

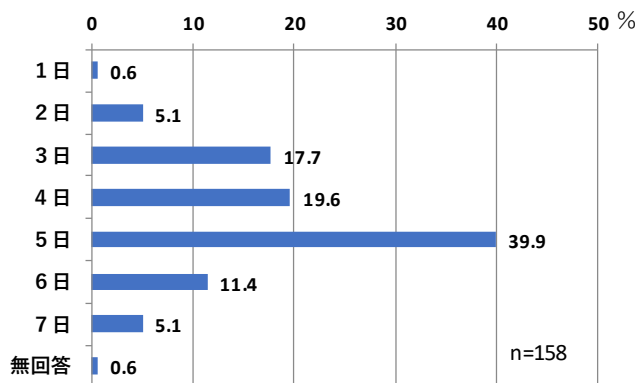
問 11 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

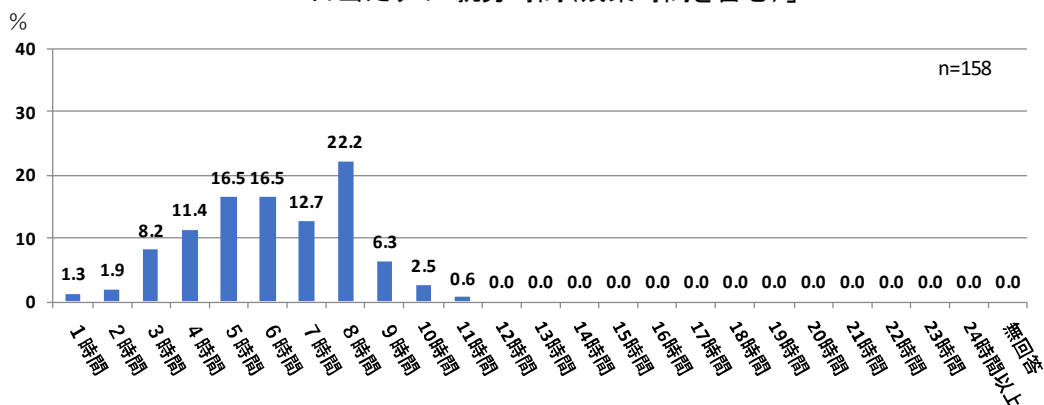


(1) -1 (1)で「1～4」(就労している)に回答された方にうかがいます。1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、1週当たりの「就労日数」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

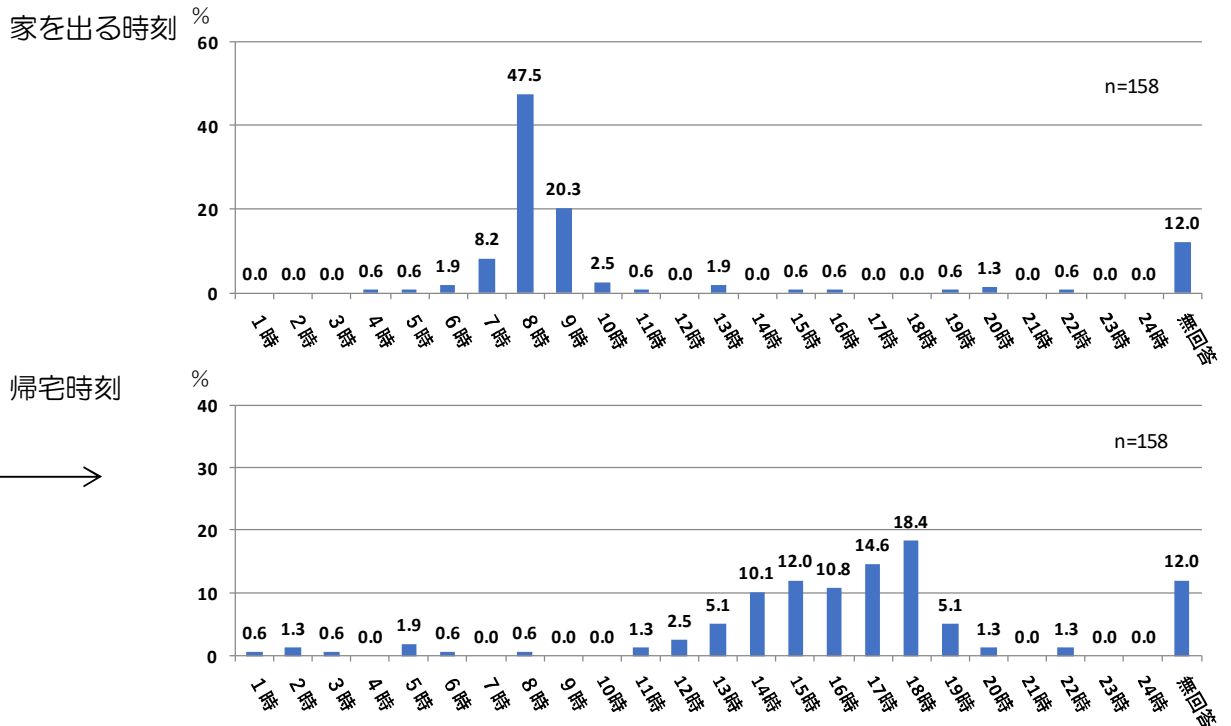
1週当たりの「就労日数」



1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」



(1) -2 (1)で「1～4」(就労している)に回答された方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(数字を記入)。時間は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制で記入してください。



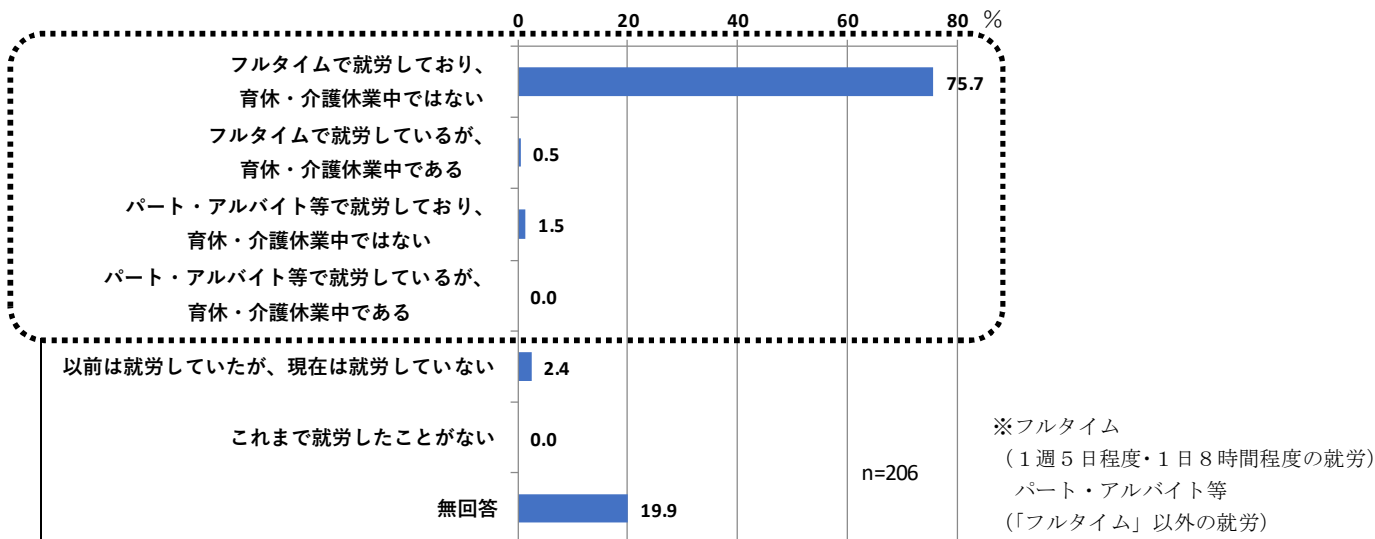
○就労していない母親は22.3%、フルタイムの就労は29.6%、パートタイムの就労は47.1%、育休等も含む就労中の76.7%のうち、週5日以上勤務が56.4%、週4日勤務が19.6%、週3日勤務が17.7%。1日8時間以上労働が31.6%、6～7時間労働が29.2%、5時間以内労働が39.3%。
○休業中も含む就労している母親の55.7%が7～8時台に家を出て、33.0%が17～18時台に帰宅。

母親の就労状況(地域別・就労状況別)

		合計	問11(母親) 就労状況						
			フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
問1 居住地区	全体	206	29.6	0.0	47.1	0.0	19.9	2.4	1.0
	三崎地区	60	30.0	0.0	55.0	0.0	11.7	1.7	1.7
	南下浦地区	87	27.6	0.0	44.8	0.0	23.0	3.4	1.1
	初声地区	59	32.2	0.0	42.4	0.0	23.7	1.7	0.0
世帯の就労状況	ひとり親家庭	24	58.3	0.0	20.8	0.0	12.5	0.0	8.3
	共稼ぎ(フルタイム)	40	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	共稼ぎ(パート)	80	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	37	5.4	0.0	2.7	0.0	78.4	13.5	0.0
	その他	25	20.0	0.0	44.0	0.0	36.0	0.0	0.0

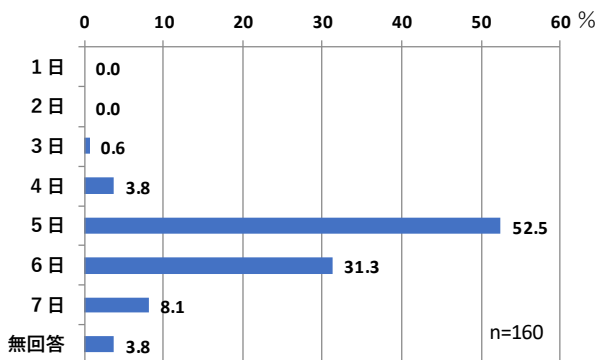
○母親の就労状況に関しては、顕著な地域の差はみられない。
○ひとり親の母親のうち、フルタイムは58.3%、パートタイムは20.8%、12.5%は就労していない。
○現在、専業主婦の方のうち、78.4%の方は以前、就労していた。

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

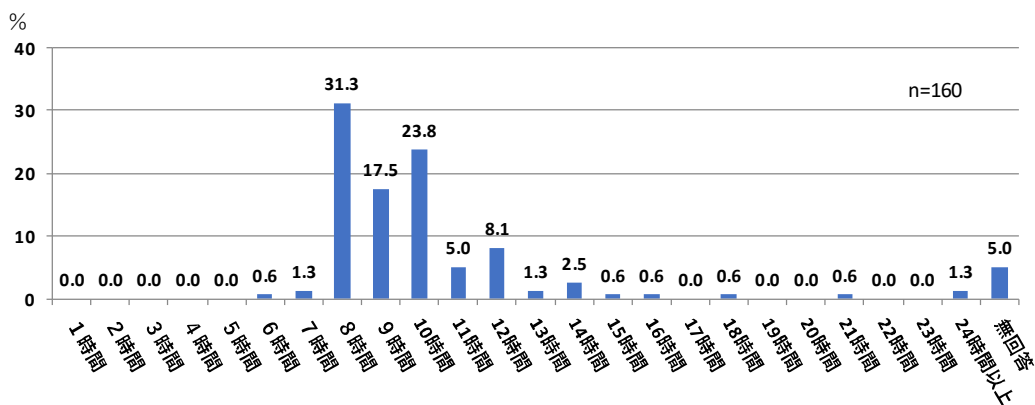


(2) -1 (2)で「1~4」(就労している)に回答された方にうかがいます。1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」1週当たりの「就労日数」、をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週当たりの「就労日数」

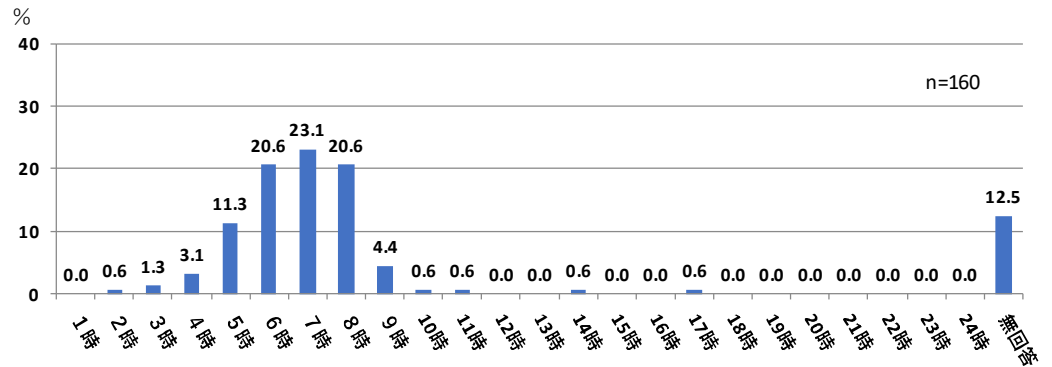


1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」

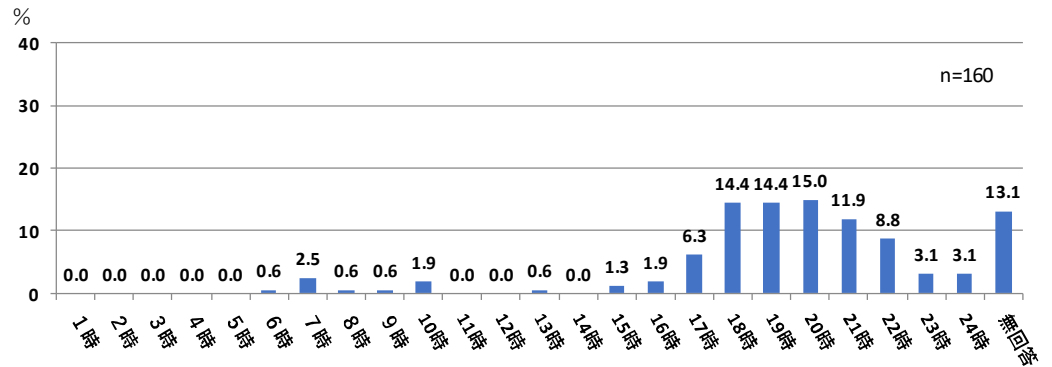


(2) -2 (2)で「1~4」(就労している)に回答された方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制で記入してください。

家を出る時刻



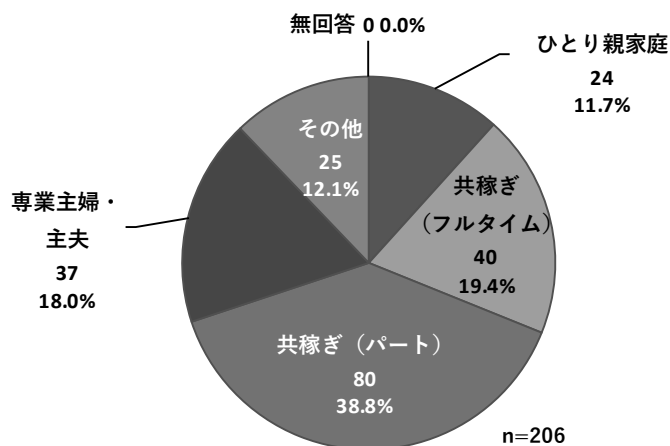
帰宅時刻



○父親の76.2%がフルタイムで就労しており、そのうち育児・介護休業中の方は1人。
 就労中の77.7%のうち、週5~6日勤務が83.8%、1日8時間以上労働が93.1%。
 ○就労中の父親の64.3%が6~8時台に家を出て、20.7%が17~18時台に、
 56.3%が19~24時台に帰宅。

就労状況

- 共稼ぎフルタイムの夫婦は、全体の19.4%。
- どちらかがパートの共稼ぎは、38.8%。
- どちらかが就労していない専業主婦・専業主夫は、18.0%。
- 問5で配偶者はいないと答えたひとり親は11.7%。



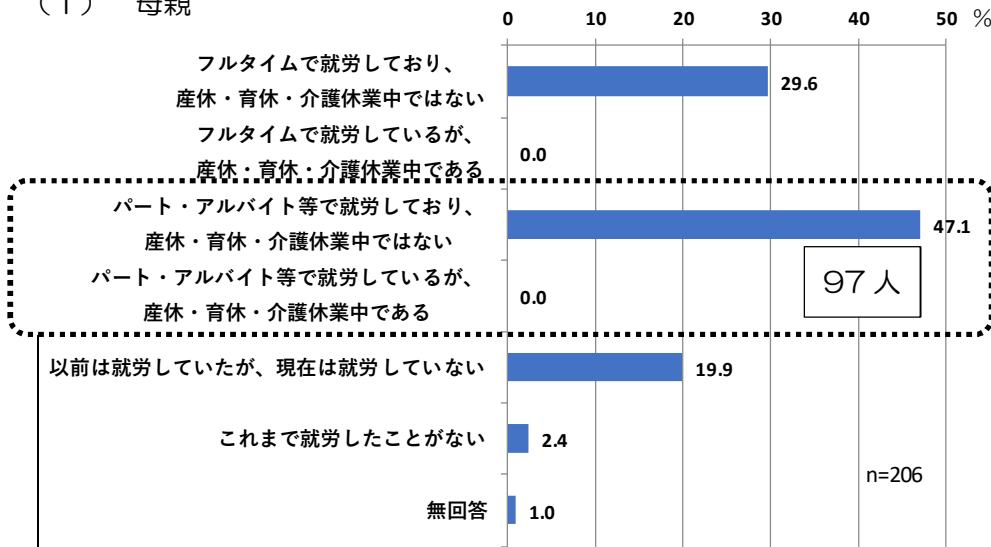
		問11 (父親) 就労状況							
		合計	フルタイム	フルタイム (休業中)	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等 (休業中)	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		206	156	1	3	0	5	0	41
問11 (母親) 就労状況	フルタイム	61	19.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	8.7
	フルタイム (休業中)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	パート・アルバイト等	97	38.8	0.0	1.0	0.0	0.5	0.0	6.8
	パート・アルバイト等 (休業中)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	41	14.1	0.5	0.5	0.0	1.0	0.0	3.9
	これまで就労したことがない	5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

共稼ぎフルタイム	
共稼ぎパート	
専業主婦・主夫	
その他	

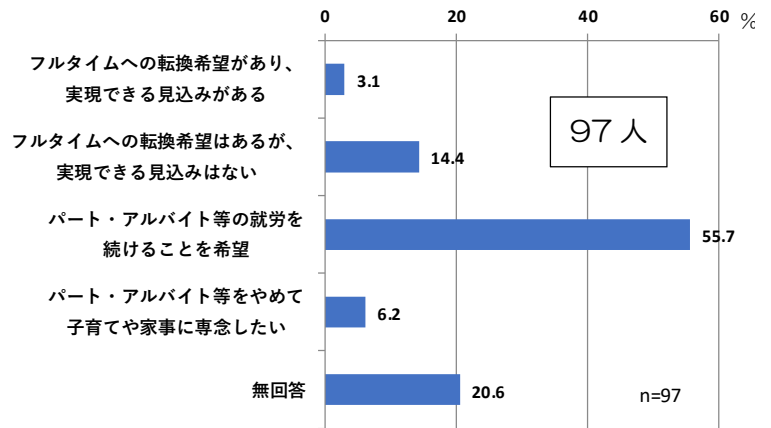
問 12 問 11 (1) または (2) で「3・4」(パート・アルバイト等で就労している) に回答された方にかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

(1) 母親



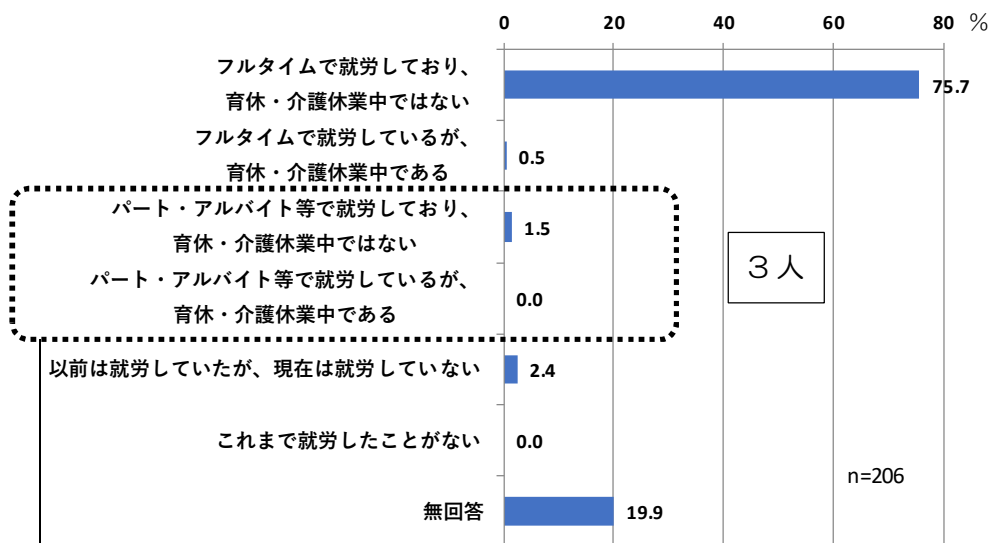
(再掲問 12)



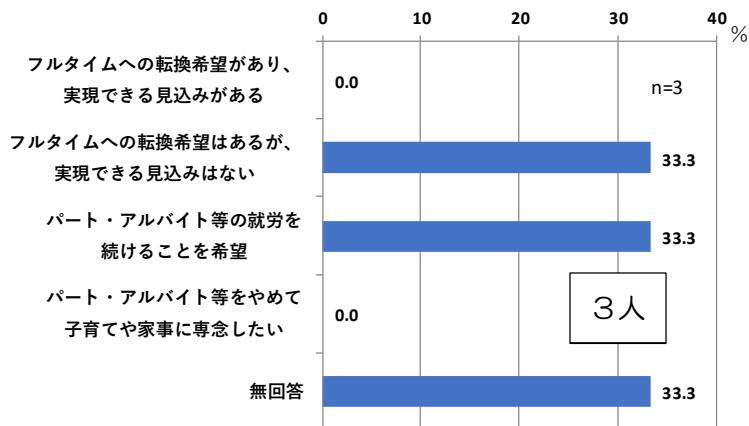
		合計	問12 (母親) フルタイムへの転換希望					非該当
			フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答	
問 1 居住地区	全体	97	3.1	14.4	55.7	6.2	20.6	
	三崎地区	33	3.0	12.1	54.5	3.0	27.3	
	南下浦地区	39	0.0	15.4	61.5	5.1	17.9	
世帯の就労状況	初声地区	25	8.0	16.0	48.0	12.0	16.0	
	ひとり親家庭	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	
	共稼ぎ (フルタイム)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	共稼ぎ (パート)	80	2.5	15.0	55.0	5.0	22.5	
	専業主婦・主夫	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	その他	11	9.1	9.1	54.5	9.1	18.2	

○母親でパート・アルバイト等の就労者のフルタイムへの転換希望は、17.5%、パート就労を続けることを希望は、55.7%。パート就労をやめて子育てや家事に専念したい方は6.2%。
○ひとり親の母親でパートの就労をしている方のうち、20.0%の方がパート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい希望があり、20.0%の方がフルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みがない。

(2) 父親



(問 12)

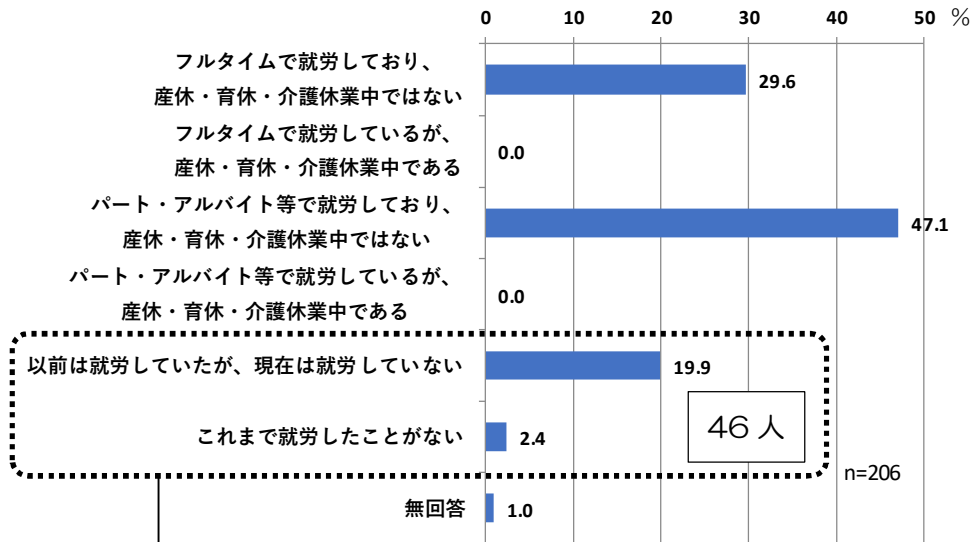


○回答者 206 人のうち、育休・介護休業中も含めたパート・アルバイトの就労の方は 3 名。

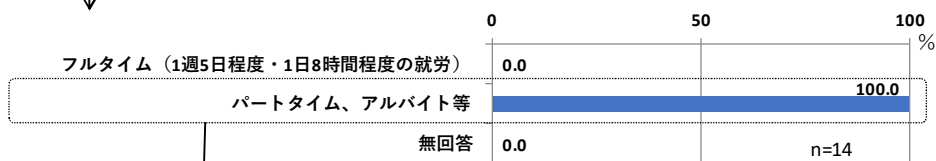
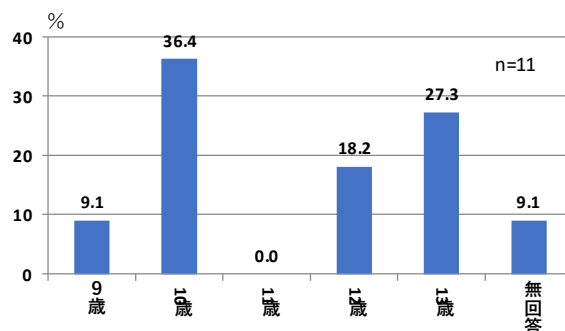
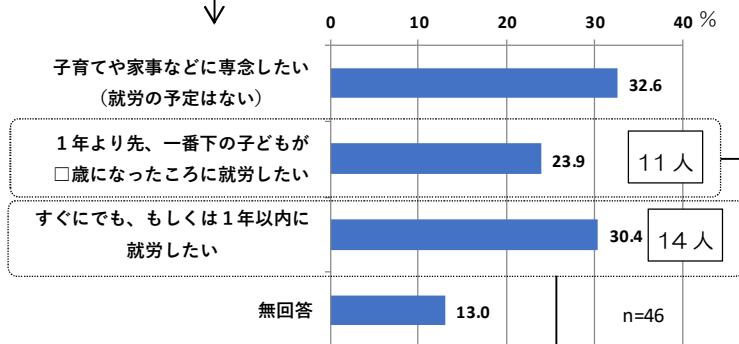
問 13 問 11 (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答された方にかかっています。該当しない方は、問 14 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ〇は1つ) (口内に数字を記入)

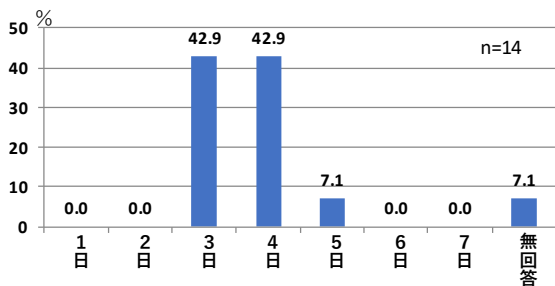
(1) 母親



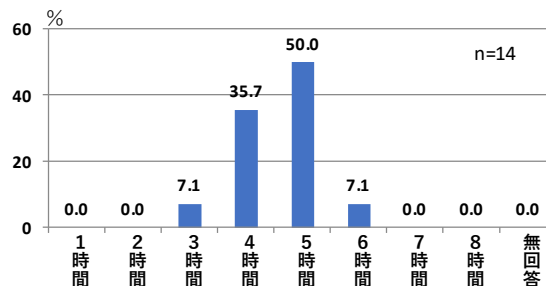
(再掲問 13)



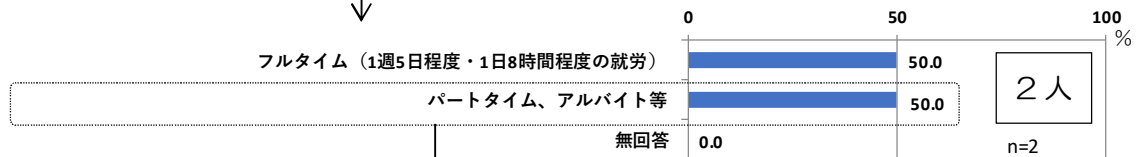
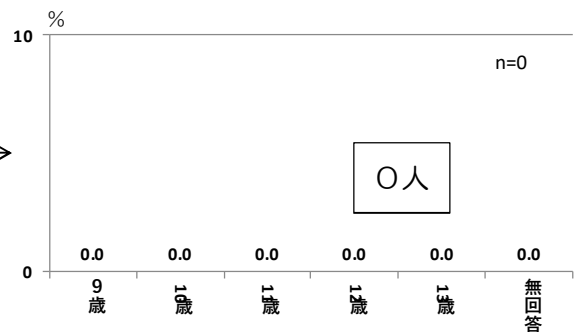
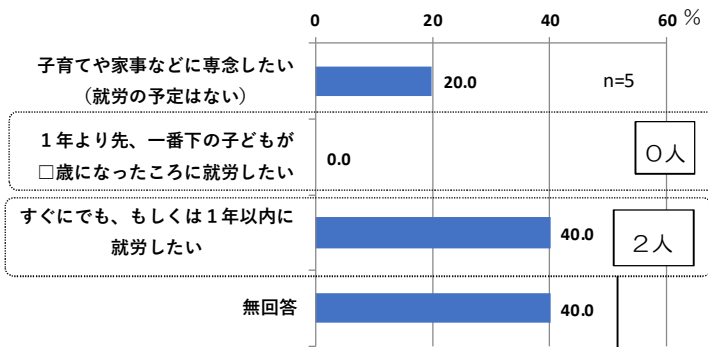
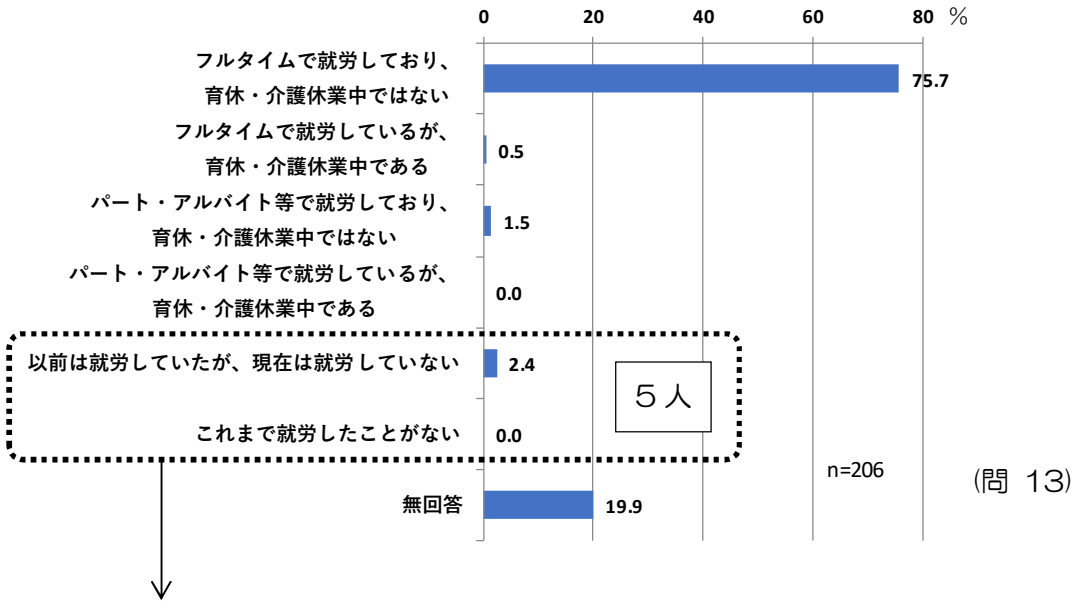
希望する1週当たりの「就労日数」



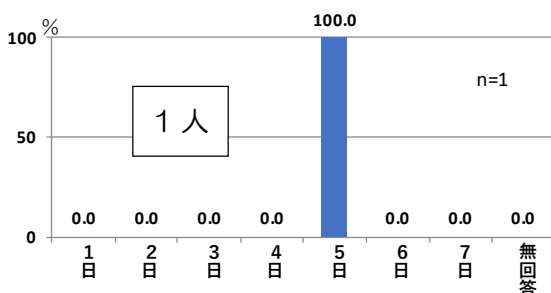
希望する1日当たりの「就労時間」



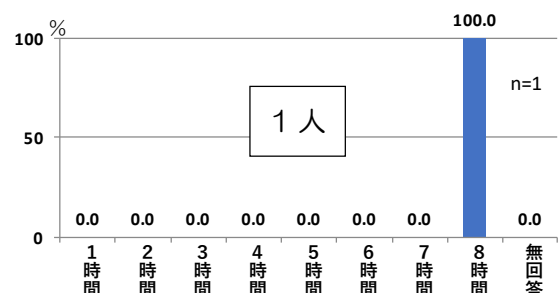
(2) 父親



希望する1週当たりの「就労日数」



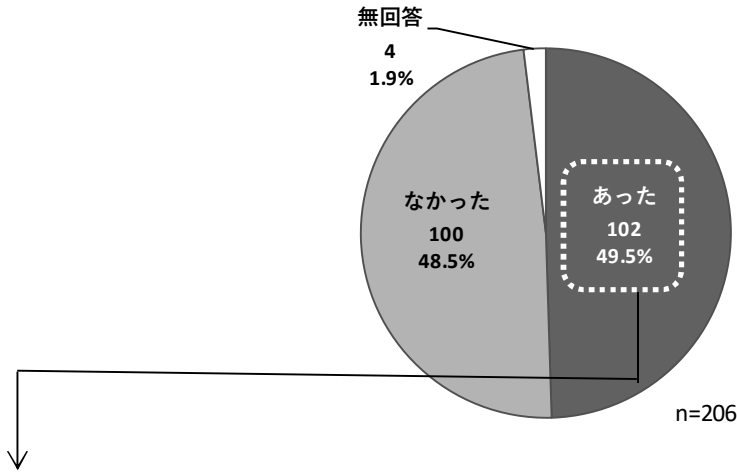
希望する1日当たりの「就労時間」



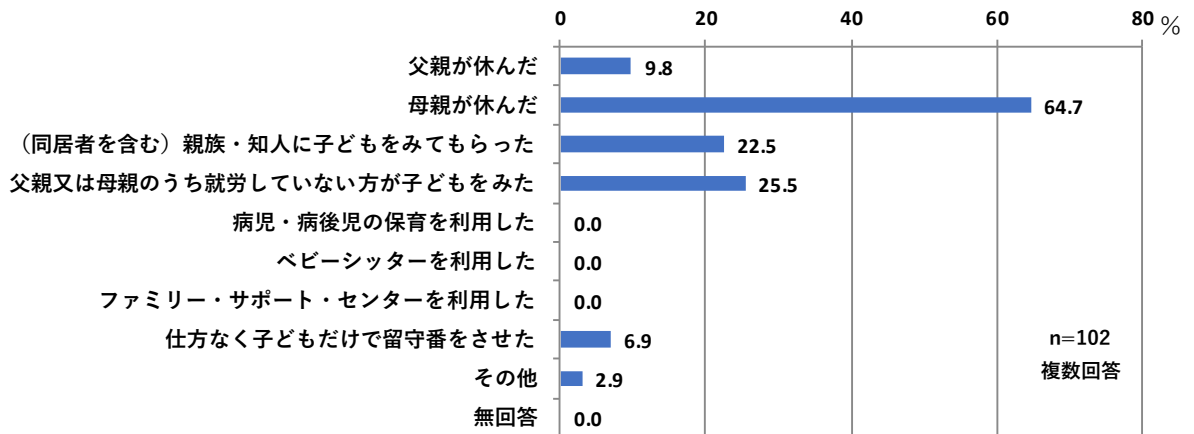
○現在就労をしていない母親の32.6%は「子育てや家事に専念したい」と回答。
 「1年より先に就労を希望する」と回答した23.9%のうちの「1番下の子どもが10歳頃に就労希望」が36.4%、「13歳頃に就労希望」が27.3%。
 ○現在就労をしていない母親22.3%のうち、就労したいと回答したのは54.3%。
 すぐにでも就職したい人の希望する就労形態は、パートタイム・アルバイト希望が100%で、8割以上が3~4日、4~5時間を希望。

お子さんの病気の際の対応について

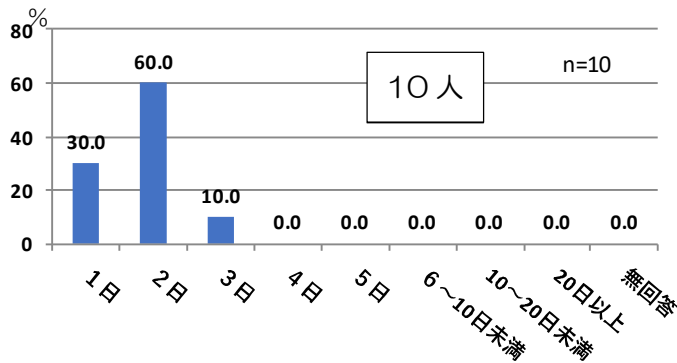
問 14 この1年間にあて名のお子さんが病気やケガで通学できなかったことはありますか。



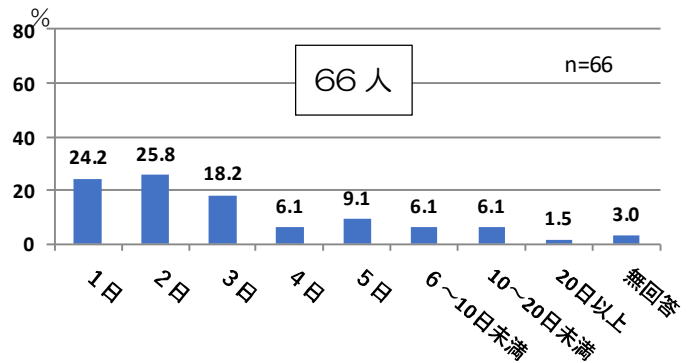
問 14-1 あて名のお子さんが病気やけがで休んだ場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(〇はいくつでも) また、それぞれの日数もご記入ください(数字を記入)。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。



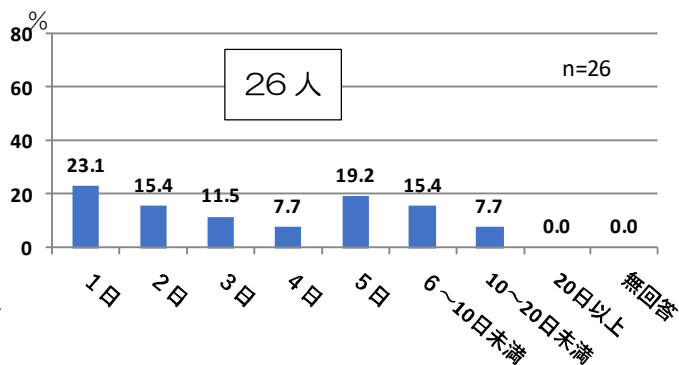
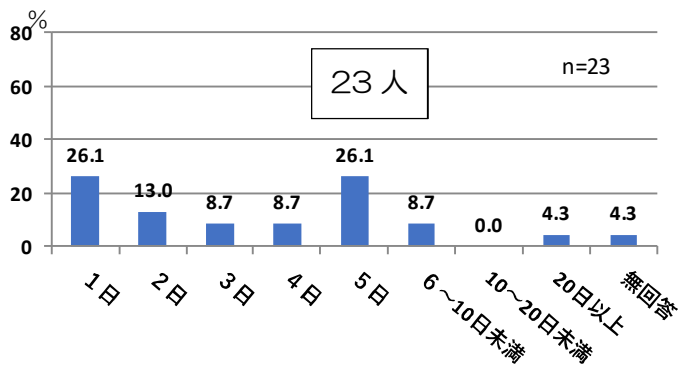
1. 父親が休んだ



2. 母親が休んだ

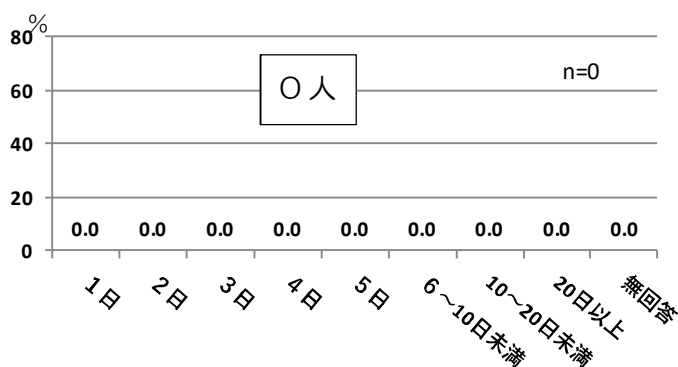
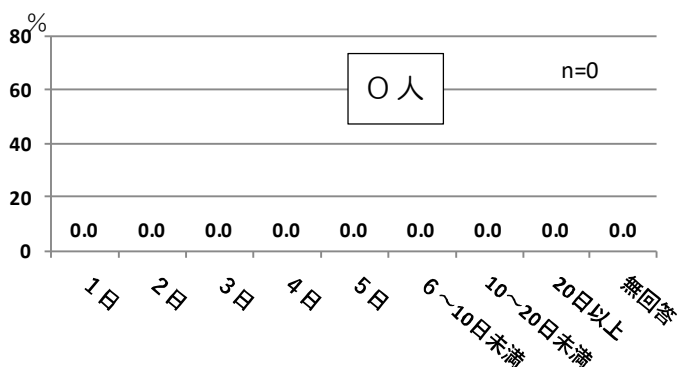


3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた



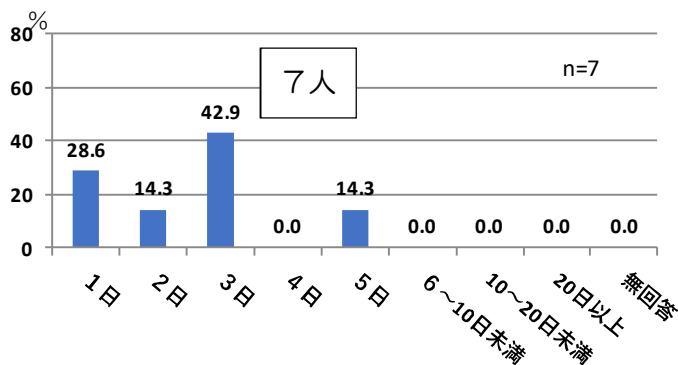
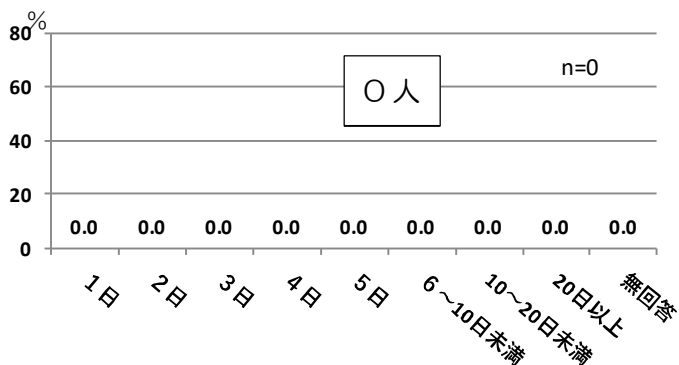
5. 病児・病後児の保育を利用した

6. ベビーシッターを利用した

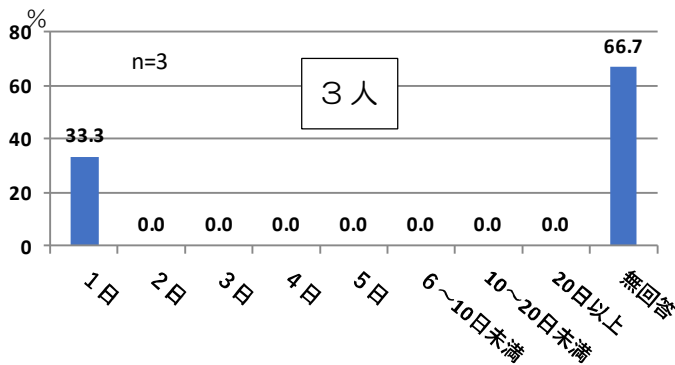


7. ファミリー・サポート・センターを利用した

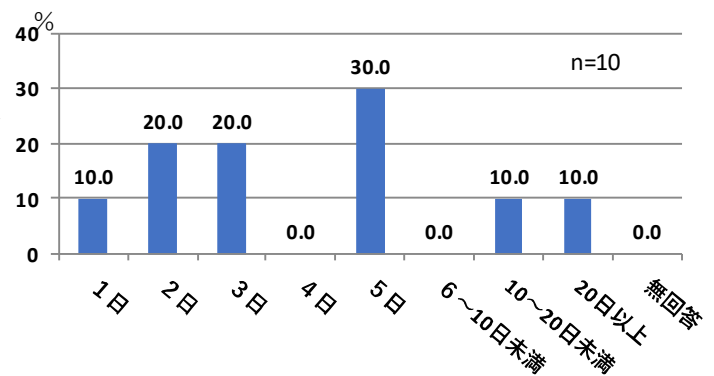
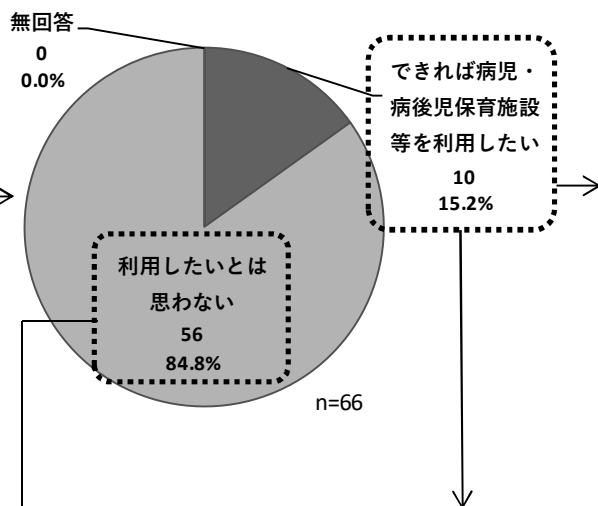
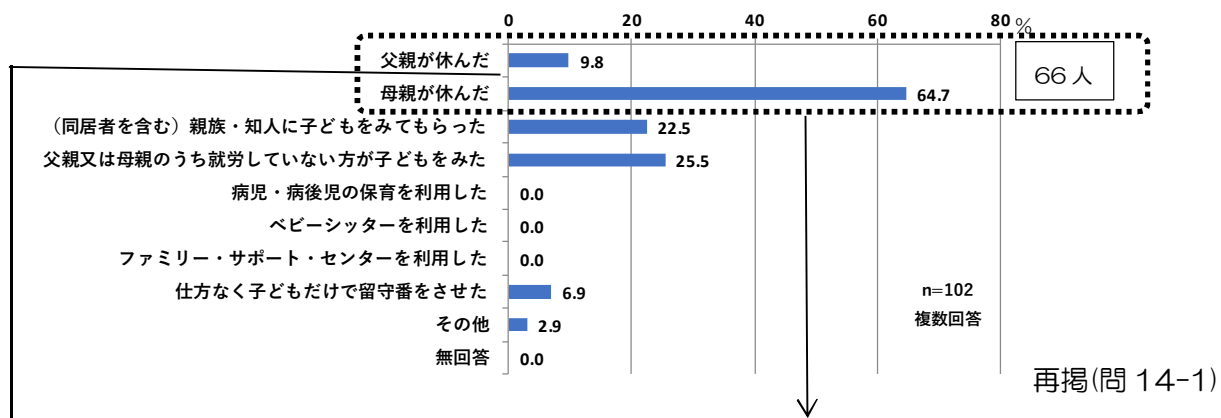
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



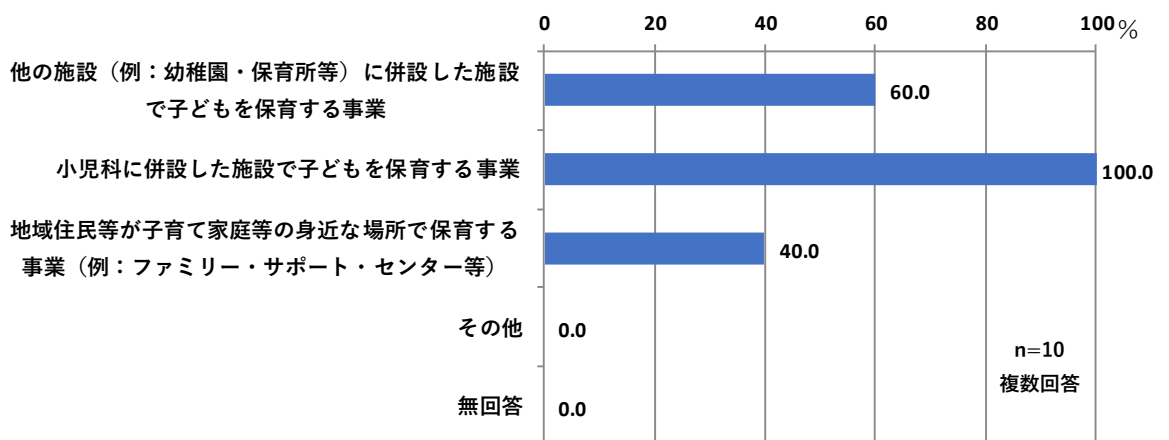
9. その他



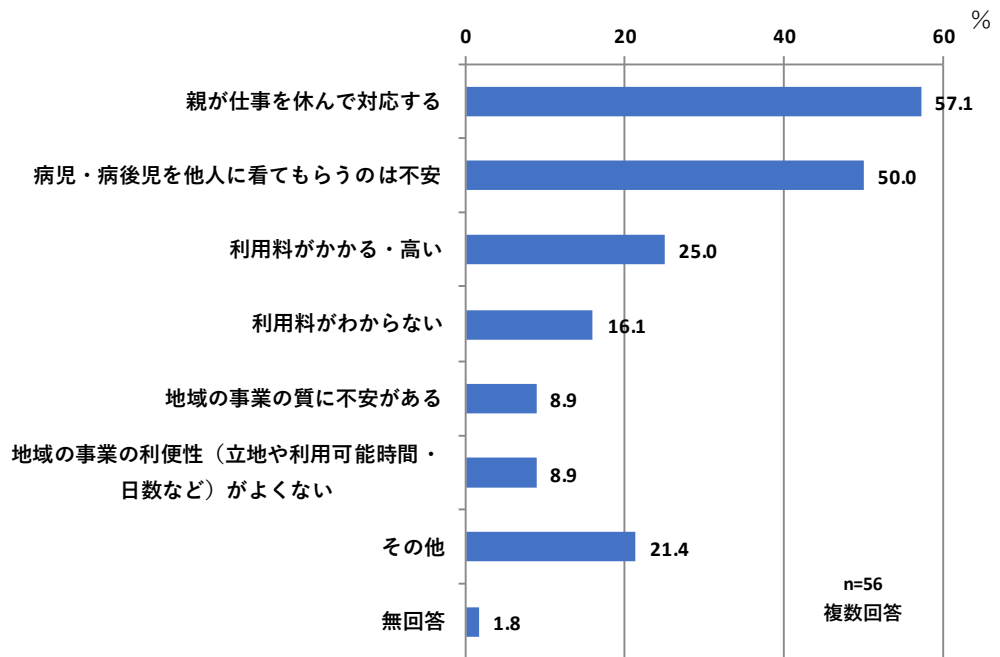
問 14-2 問 14-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ) また、その日数もご記入ください。(数字を記入) なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



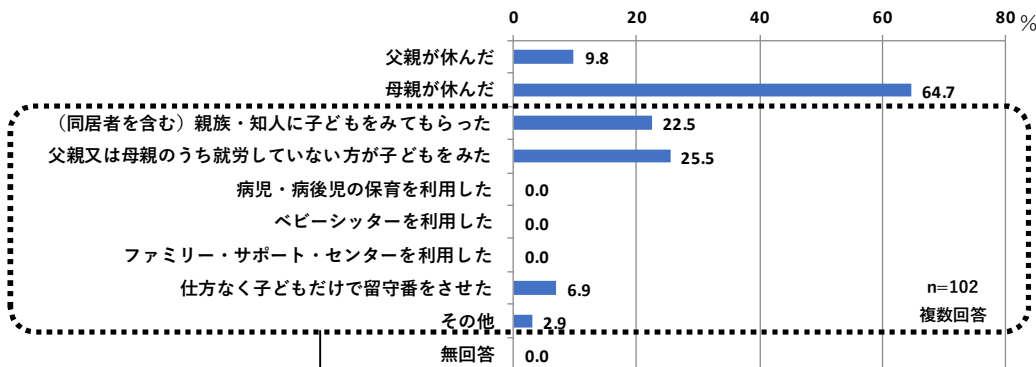
問 14-3 問 14-2 で「1. できれば、病児・病後児保育施設等を利用したい」に回答された方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)



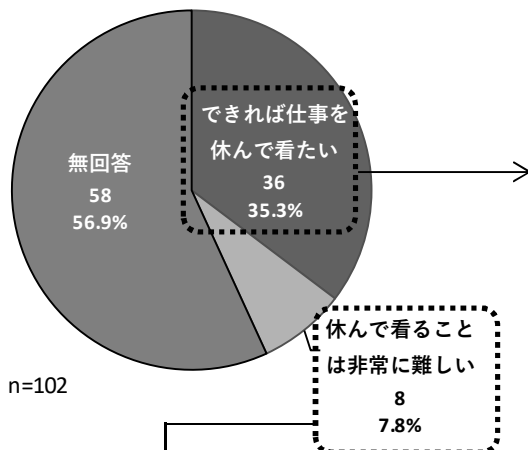
問 14-4 問 14-2 で「2. 利用したいと思わない」に回答された方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(〇はいくつでも)



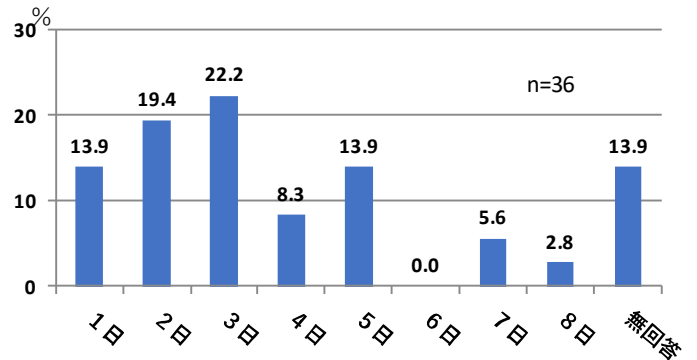
問 14-5 問 14-1 で「3」から「9」のいずれかに回答された方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(〇は 1 つ) また、「3。」から「9。」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。



再掲(問 14-1)

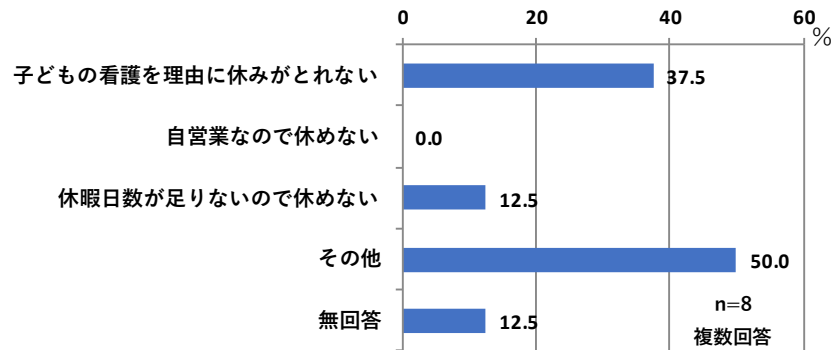


仕事を休んで看たかった日数





問 14-6 問 14-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に回答された方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(〇はいくつでも)



その他記述
シフト制、スタッフの人数も少ない業種なので難しい
会社が機能しない
シフトが急には代われない
主夫がいるから必要なし

○この1年間に子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがある人は49.5%。
 ○その時のもっとも多い対処方法は、「母親が休んだ」で64.7%、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.5%、「親戚・知人に預けた」が22.5%、「父親が休んだ」9.8%となっている。

○「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われた人は15.2%。

○病気やケガで病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、全員が「小児科に併設した施設」を、6割が「他の施設に併設した施設」が望ましい事業形態と回答している。

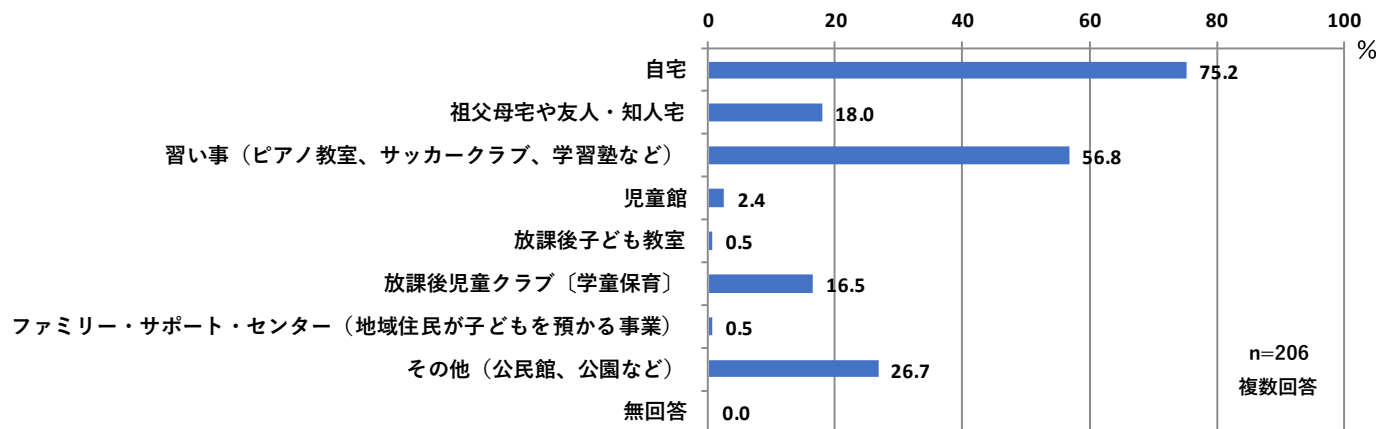
○利用したいと思わない理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が37.5%、「休暇日数が足りないので休めない」が12.5%。

○対処方法が父母や親戚以外と回答した人で、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」という人は35.3%。その日数は、年間1~5日程度。
 ○「休んで見ることは非常に難しい」と回答した理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が37.5%、「休暇日数が足りないので休めない」が12.5%。

放課後の過ごし方について

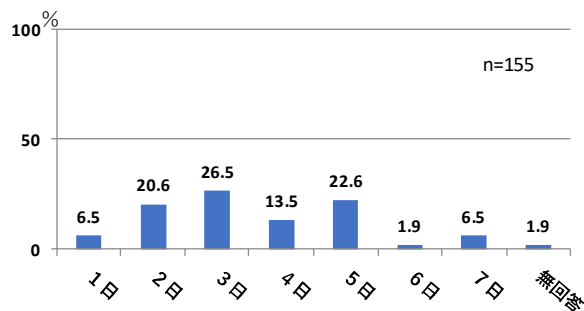
問 15 あて名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。（○はいくつでも）また、それぞれ利用している週当たり日数をご記入ください。なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18時のように、24時間制で記入してください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

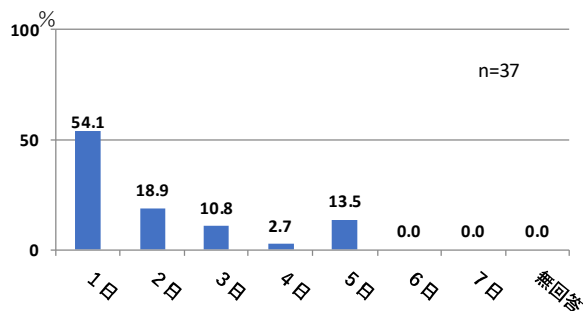


利用している日数

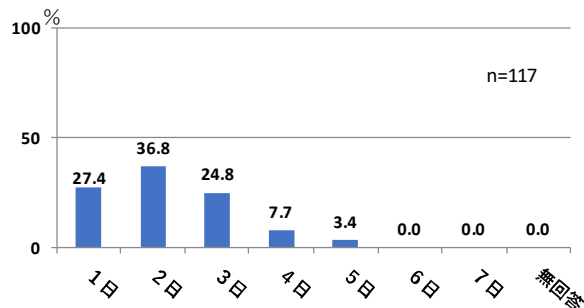
1. 自宅



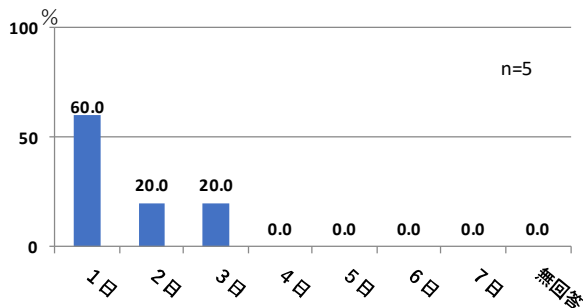
2. 祖父母宅や友人・知人宅



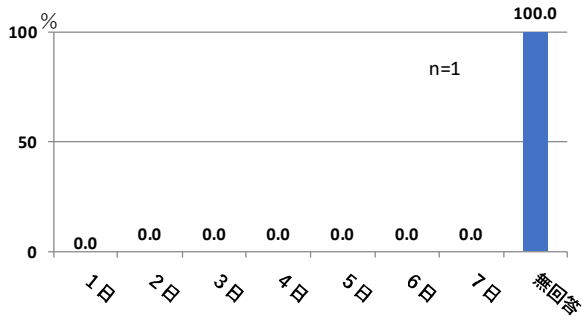
3. 習い事



4. 児童館

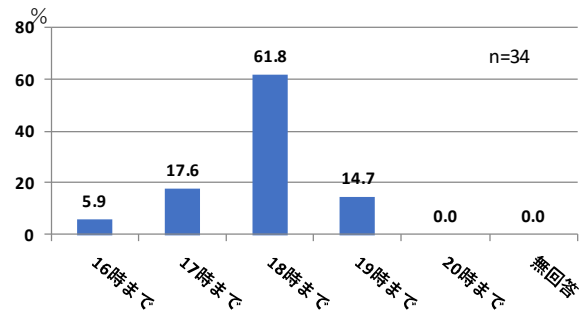
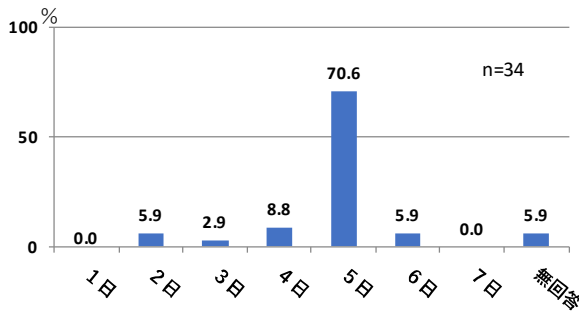


5. 放課後子ども教室

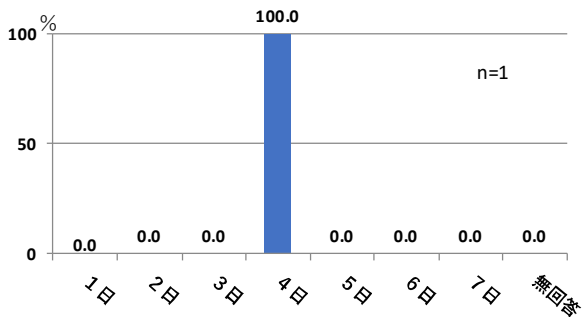


6. 放課後児童クラブ【学童保育】

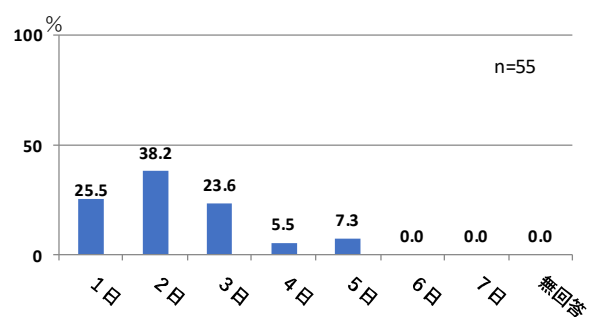
下校時から ↓



7. ファミリー・サポート・センター



8. その他(公民館、公園など)



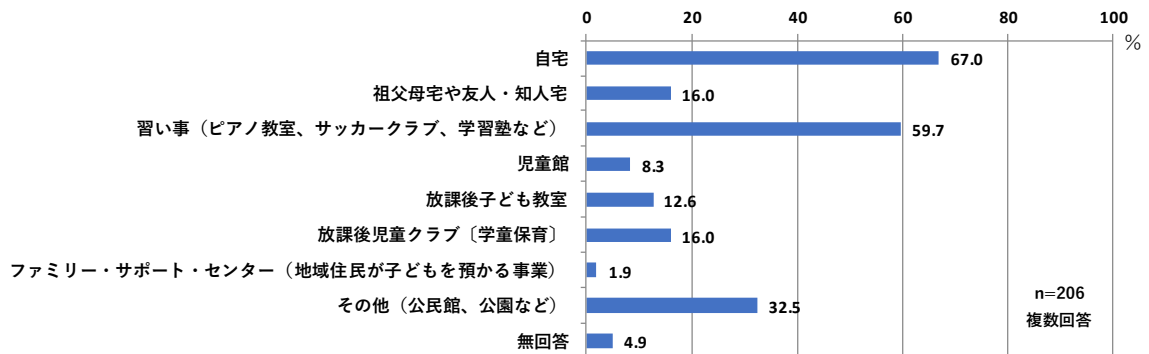
放課後(平日の小学校終了後)の時間に過ごしている場所(各種属性別)

		合計	問15 現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所								
			自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
全体		206	75.2	18.0	56.8	2.4	0.5	16.5	0.5	26.7	0.0
問2 お子さんの学年	1年生	53	64.2	20.8	49.1	1.9	0.0	30.2	0.0	24.5	0.0
	2年生	52	76.9	23.1	53.8	0.0	1.9	17.3	0.0	23.1	0.0
	3年生	52	75.0	13.5	53.8	1.9	0.0	11.5	0.0	36.5	0.0
	4年生	49	85.7	14.3	71.4	6.1	0.0	6.1	2.0	22.4	0.0
	5年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1 きょうだいの有無	きょうだいはいない	59	67.8	13.6	57.6	0.0	0.0	23.7	0.0	28.8	0.0
	きょうだいがある	142	80.3	20.4	57.0	3.5	0.7	12.0	0.7	26.1	0.0
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	178	77.0	16.9	59.0	2.8	0.6	14.6	0.6	28.7	0.0
	配偶者がいない	24	58.3	29.2	37.5	0.0	0.0	33.3	0.0	12.5	0.0
問30 世帯の年収	～200万円	14	64.3	7.1	28.6	0.0	0.0	21.4	0.0	21.4	0.0
	200～300万円	11	72.7	18.2	36.4	0.0	0.0	27.3	0.0	27.3	0.0
	300～400万円	34	91.2	26.5	50.0	0.0	0.0	5.9	0.0	32.4	0.0
	400～500万円	38	78.9	15.8	52.6	2.6	2.6	13.2	2.6	31.6	0.0
	500～700万円	51	78.4	21.6	70.6	5.9	0.0	11.8	0.0	25.5	0.0
	700～1,000万円	37	70.3	13.5	64.9	2.7	0.0	21.6	0.0	24.3	0.0
	1,000万円以上	11	63.6	0.0	54.5	0.0	0.0	36.4	0.0	9.1	0.0
問8 子育てで、気軽に相談できる人、相談できる場所	いる/ある	191	76.4	19.4	56.5	2.6	0.0	15.7	0.5	26.2	0.0
	いない/ない	13	69.2	0.0	61.5	0.0	7.7	30.8	0.0	23.1	0.0
問8-1 子育てに関して、気軽に相談できる先(総合)	親戚・友人・近所の人	182	77.5	20.3	56.6	2.2	0.0	14.3	0.0	26.9	0.0
	子育ての専門スタッフ	29	65.5	27.6	58.6	3.4	0.0	27.6	3.4	17.2	0.0
問15 現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所	自宅	155	100.0	19.4	60.6	2.6	0.0	1.3	0.0	28.4	0.0
	祖父母宅や友人・知人宅	37	81.1	100.0	59.5	2.7	0.0	5.4	0.0	32.4	0.0
	習い事	117	80.3	18.8	100.0	3.4	0.0	8.5	0.0	25.6	0.0
	児童館	5	80.0	20.0	80.0	100.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	放課後子ども教室	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ〔学童保育〕	34	5.9	5.9	29.4	0.0	2.9	100.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他(公民館、公園など)	55	80.0	21.8	54.5	3.6	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
問21 現在、子育てをしていて感じている悩み(総合)	悩みがある	165	72.1	20.0	57.0	3.0	0.6	17.6	0.6	29.1	0.0
	悩みはない	31	87.1	9.7	58.1	0.0	0.0	9.7	0.0	22.6	0.0
問22 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか	楽しさを感じる人が多い	51	74.5	19.6	51.0	2.0	0.0	19.6	0.0	19.6	0.0
	どちらかといえば楽しさを感じる人が多い	69	82.6	17.4	63.8	2.9	0.0	11.6	1.4	29.0	0.0
	楽しさと大変さを同等に感じる	66	74.2	18.2	57.6	1.5	1.5	15.2	0.0	22.7	0.0
	どちらかといえば大変さを感じる人が多い	13	53.8	23.1	46.2	0.0	0.0	30.8	0.0	46.2	0.0
	大変さを感じる人が多い	7	57.1	0.0	42.9	14.3	0.0	28.6	0.0	57.1	0.0
問23 地域における子育ての環境や支援の満足度	満足度が低い	46	76.1	10.9	52.2	2.2	0.0	15.2	0.0	32.6	0.0
	満足度がやや低い	47	68.1	23.4	53.2	2.1	0.0	19.1	2.1	25.5	0.0
	満足度は普通	82	78.0	18.3	61.0	1.2	1.2	17.1	0.0	20.7	0.0
	満足度がやや高い	28	78.6	21.4	57.1	7.1	0.0	10.7	0.0	39.3	0.0
	満足度が高い	3	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

放課後(平日の小学校終了後)の時間に過ごしている場所(地域別・就労状況別)

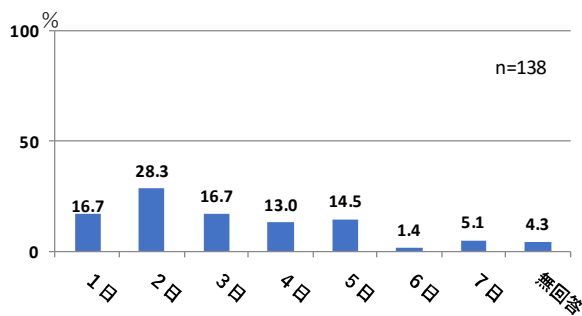
		合計	問15 現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所								
			自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
全体		206	75.2	18.0	56.8	2.4	0.5	16.5	0.5	26.7	0.0
問1 居住地区	三崎地区	60	80.0	23.3	48.3	0.0	0.0	11.7	1.7	23.3	0.0
	南下浦地区	87	73.6	16.1	56.3	5.7	1.1	18.4	0.0	32.2	0.0
	初声地区	59	72.9	15.3	66.1	0.0	0.0	18.6	0.0	22.0	0.0
世帯の就労状況	ひとり親家庭	24	58.3	29.2	37.5	0.0	0.0	33.3	0.0	12.5	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	40	57.5	2.5	45.0	0.0	0.0	40.0	0.0	17.5	0.0
	共稼ぎ(パート)	80	82.5	18.8	58.8	3.8	1.3	8.8	1.3	33.8	0.0
	専業主婦・主夫	37	83.8	27.0	64.9	5.4	0.0	2.7	0.0	32.4	0.0
	その他	25	84.0	16.0	76.0	0.0	0.0	8.0	0.0	24.0	0.0

問 16 今後、あて名のお子さんの放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれ利用したい週当たり日数をご記入ください。
 なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18時のように、24時間制で記入してください。

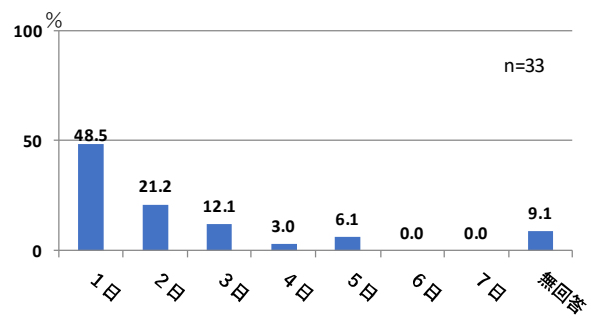


利用させたい日数

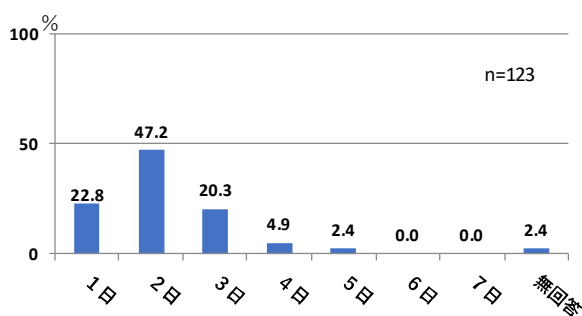
1. 自宅



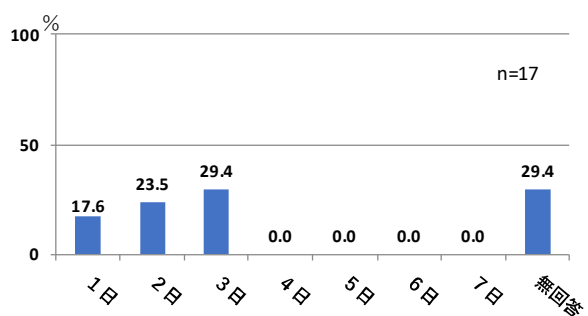
2. 祖父母宅や友人・知人宅



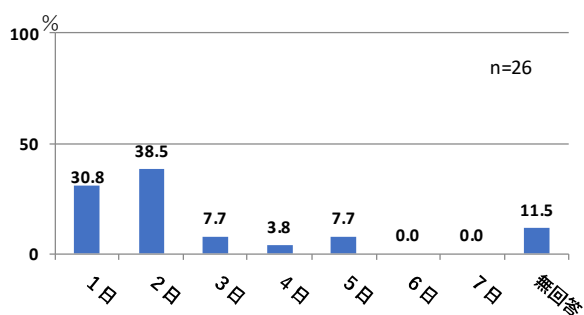
3. 習い事



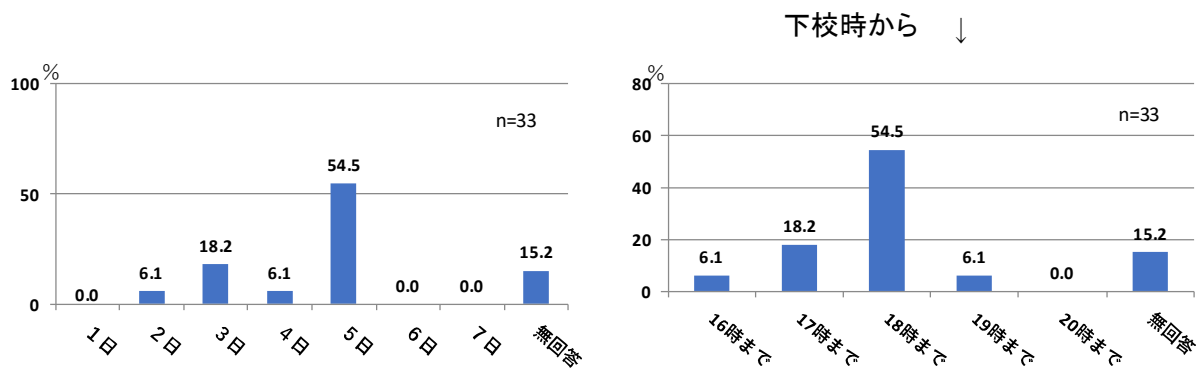
4. 児童館



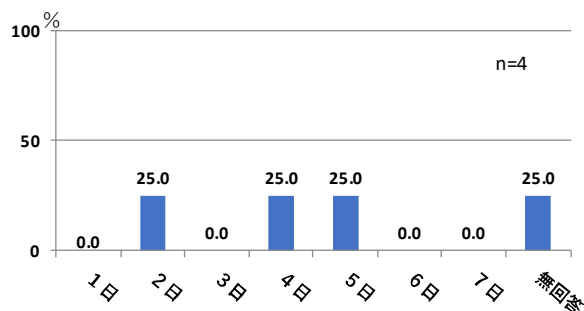
5. 放課後子ども教室



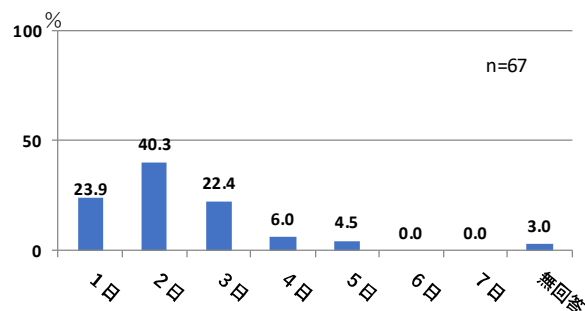
6. 放課後児童クラブ【学童保育】



7. ファミリー・サポート・センター



8. その他(公民館、公園など)



- 放課後（平日の小学校終了後）過ごしている場所と過ごさせたい場所は、どちらも「自宅」がもっとも多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「祖父母宅や友人・知人宅」になっている。
- 「放課後子ども教室」は、過ごしている場所より過ごさせたい場所として挙げる割合が10ポイント以上高く、反対に「自宅」は、過ごさせたい場所より過ごしている場所として挙げる割合が5ポイント以上高くなっている。
- 「放課後児童クラブ【学童保育】」については、現状も希望もともに、日数は「5日」が、時間は、「18時まで」がもっとも多いが、現状より希望の方が、若干、日数が短く、時間も早くなっている傾向が見られる。

放課後(平日の小学校終了後)の時間に「過ごしている場所」×「過ごさせたい場所」

		合計	問16 今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所								
			自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 【学童保 育】	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答
	全体	206	67.0	16.0	59.7	8.3	12.6	16.0	1.9	32.5	4.9
問15 現在、放 課後（平日の 小学校終了 後）の時間を 過ごす場所	自宅	155	82.6	15.5	63.9	8.4	13.5	4.5	1.9	36.1	3.9
	祖父母宅や友人・知人宅	37	70.3	73.0	64.9	10.8	10.8	8.1	2.7	37.8	2.7
	習い事	117	67.5	17.9	84.6	9.4	11.1	10.3	1.7	34.2	6.0
	児童館	5	60.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	放課後子ども教室	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ【学童保育】	34	20.6	8.8	35.3	0.0	5.9	82.4	0.0	0.0	11.8
	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他（公民館、公園など）	55	70.9	16.4	67.3	14.5	12.7	1.8	0.0	89.1	1.8
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 放課後（平日の小学校終了後）の時間に「過ごしている場所」と「過ごさせたい場所」に大きな相違はみられなかった。

放課後(平日の小学校終了後)の時間に過ごさせたい場所(各種属性別)

	合計	問16 今後、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所									
		自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ)	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター (地域性)	その他 (公民 館、公園 など)	無回答	
問2 お子さんの学年	全体	206	67.0	16.0	59.7	8.3	12.6	16.0	1.9	32.5	4.9
	1年生	53	58.5	15.1	58.5	3.8	13.2	28.3	0.0	30.2	3.8
	2年生	52	71.2	19.2	55.8	9.6	15.4	21.2	5.8	30.8	3.8
	3年生	52	69.2	17.3	57.7	5.8	11.5	9.6	0.0	38.5	1.9
	4年生	49	69.4	12.2	67.3	14.3	10.2	4.1	2.0	30.6	10.2
	5年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1 きょうだいの有無	きょうだいはいない	59	64.4	11.9	55.9	5.1	13.6	27.1	1.7	32.2	3.4
	きょうだいがいる	142	68.3	17.6	62.0	9.2	12.7	11.3	2.1	33.1	4.2
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	178	68.0	14.6	64.6	7.9	13.5	14.0	1.1	35.4	3.9
	配偶者はいない	24	54.2	29.2	25.0	12.5	4.2	25.0	4.2	12.5	12.5
問30 世帯の年収	～200万円	14	50.0	0.0	35.7	0.0	7.1	14.3	0.0	28.6	14.3
	200～300万円	11	63.6	18.2	54.5	0.0	18.2	36.4	9.1	27.3	9.1
	300～400万円	34	73.5	17.6	55.9	2.9	8.8	5.9	2.9	44.1	5.9
	400～500万円	38	71.1	15.8	57.9	15.8	10.5	13.2	2.6	31.6	2.6
	500～700万円	51	70.6	17.6	62.7	5.9	9.8	5.9	0.0	33.3	7.8
	700～1,000万円	37	59.5	16.2	67.6	10.8	27.0	27.0	2.7	32.4	0.0
	1,000万円以上	11	72.7	9.1	63.6	0.0	9.1	27.3	0.0	18.2	0.0
問8 子育てで、気軽に相談できる人、相談できる場	いる/ある	191	67.0	16.8	61.3	8.4	13.1	16.2	2.1	33.0	4.7
	いない/ない	13	76.9	7.7	46.2	0.0	7.7	15.4	0.0	23.1	7.7
問8-1 子育てに関して、気軽に相談できる先(統	親戚・友人・近所の人	182	68.1	17.6	62.1	7.1	13.2	15.4	1.6	33.5	4.4
	子育ての専門スタッフ	29	51.7	24.1	62.1	6.9	6.9	24.1	3.4	37.9	6.9
問15 現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所	自宅	155	82.6	15.5	63.9	8.4	13.5	4.5	1.9	36.1	3.9
	祖父母宅や友人・知人宅	37	70.3	73.0	64.9	10.8	10.8	8.1	2.7	37.8	2.7
	習い事	117	67.5	17.9	84.6	9.4	11.1	10.3	1.7	34.2	6.0
	児童館	5	60.0	0.0	80.0	80.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	放課後子ども教室	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ〔学童保育〕	34	20.6	8.8	35.3	0.0	5.9	82.4	0.0	0.0	11.8
	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他(公民館、公園など)	55	70.9	16.4	67.3	14.5	12.7	1.8	0.0	89.1	1.8
問21 現在、子育てをしていて感じている悩み(統	悩みがある	165	64.2	15.8	60.0	8.5	13.9	17.0	2.4	35.2	4.8
	悩みはない	31	80.6	16.1	61.3	9.7	6.5	9.7	0.0	29.0	3.2
問22 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか	楽しさを感じる人が多い	51	60.8	17.6	47.1	7.8	9.8	19.6	0.0	29.4	7.8
	どちらかといえば楽しさを感じる人が多い	69	73.9	15.9	69.6	13.0	15.9	13.0	4.3	30.4	2.9
	楽しさと大変さを同等に感じる	66	66.7	13.6	59.1	3.0	9.1	15.2	1.5	31.8	4.5
	どちらかといえば大変さを感じる人が多い	13	61.5	30.8	69.2	7.7	23.1	23.1	0.0	46.2	7.7
	大変さを感じる人が多い	7	57.1	0.0	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0
問23 地域における子育ての環境や支援の満足度	満足度が低い	46	58.7	15.2	54.3	15.2	23.9	19.6	4.3	37.0	4.3
	満足度がやや低い	47	63.8	17.0	61.7	4.3	14.9	19.1	2.1	31.9	2.1
	満足度は普通	82	72.0	15.9	61.0	3.7	9.8	13.4	1.2	29.3	6.1
	満足度がやや高い	28	75.0	14.3	67.9	14.3	0.0	10.7	0.0	39.3	3.6
	満足度が高い	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3

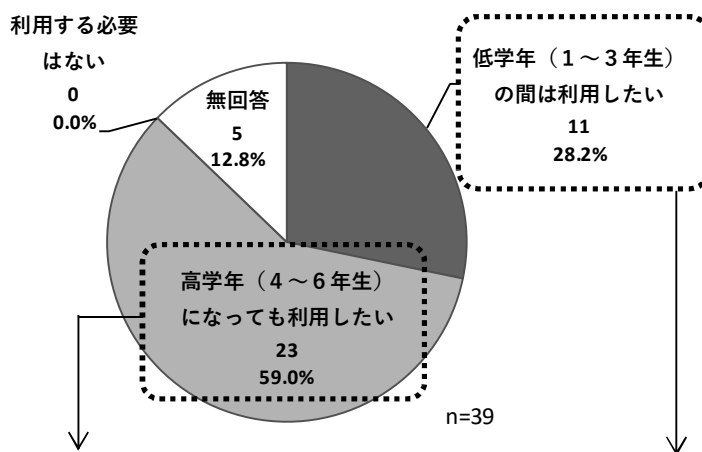
放課後(平日の小学校終了後)の時間に過ごさせたい場所(地域別・就労状況別)

	合計	問16 今後、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所									
		自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	児童館	放課後子 ども教室	放課後児 童クラブ 〔学童保 育〕	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館、公園 など)	無回答	
問1 居住地区	全体	206	67.0	16.0	59.7	8.3	12.6	16.0	1.9	32.5	4.9
	三崎地区	60	65.0	15.0	53.3	5.0	18.3	11.7	3.3	28.3	5.0
	南下浦地区	87	65.5	16.1	57.5	12.6	13.8	18.4	2.3	41.4	4.6
	初声地区	59	71.2	16.9	69.5	5.1	5.1	16.9	0.0	23.7	5.1
世帯の就労状況	ひとり親家庭	24	54.2	29.2	25.0	12.5	4.2	25.0	4.2	12.5	12.5
	共稼ぎ(フルタイム)	40	47.5	10.0	55.0	2.5	20.0	32.5	0.0	22.5	5.0
	共稼ぎ(パート)	80	72.5	10.0	65.0	8.8	11.3	11.3	1.3	37.5	2.5
	専業主婦・主夫	37	78.4	27.0	81.1	8.1	13.5	0.0	0.0	45.9	2.7
	その他	25	76.0	16.0	52.0	12.0	12.0	20.0	8.0	32.0	8.0

問 17 問 15 または問 16 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に回答された方にかがいます。あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望をご記入ください。（(1)～(3) それぞれに○は1つ）また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

（例）09時～18時のように、24時間制で記入してください。

(1) 平日

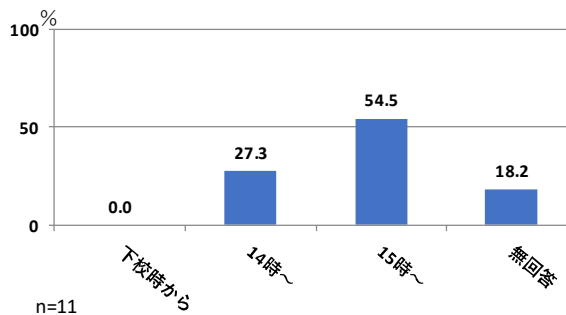
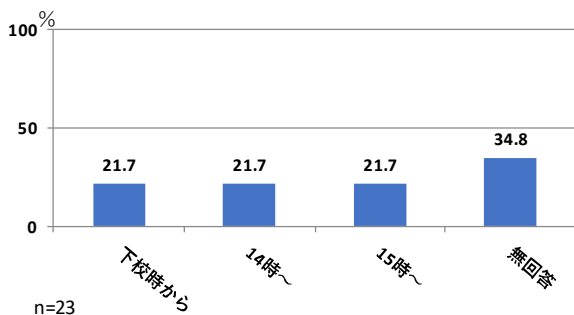


高学年（4～6年生）になっても利用したい

低学年（1～3年生）の間は利用したい

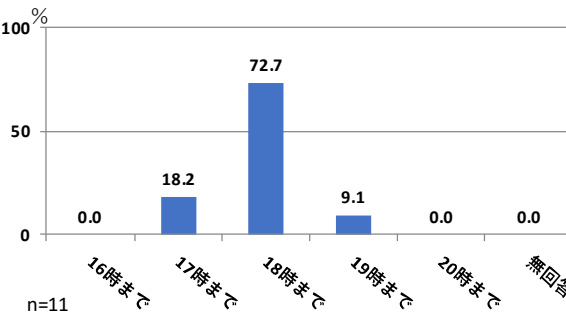
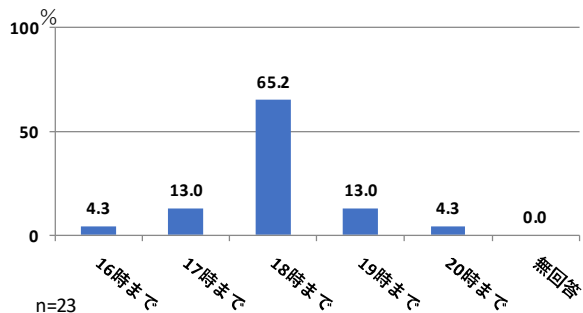
何時から

何時から



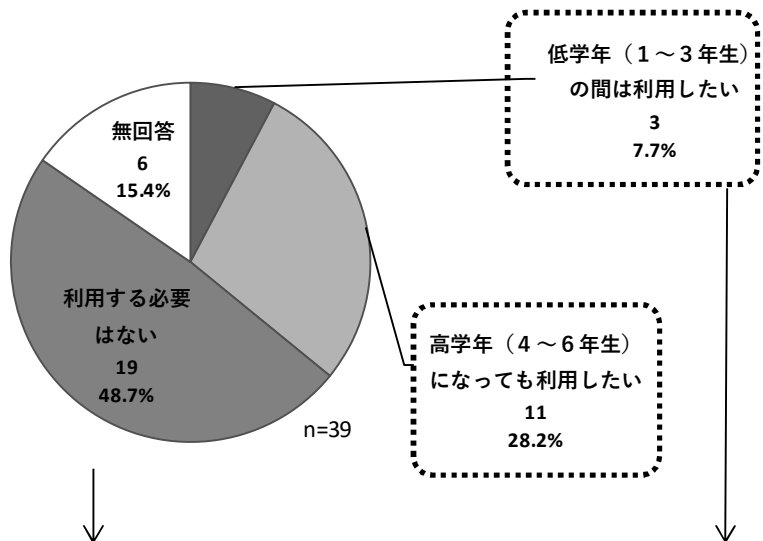
何時まで

何時まで



○「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答された方について、平日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が28.2%、「高学年になっても利用したい」が59.0%、「利用する必要はない」と回答した方はいなかった。

(2) 土曜日

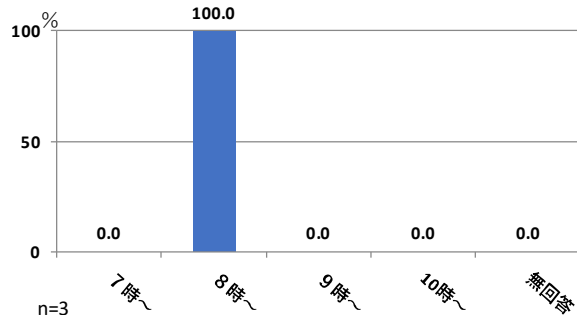
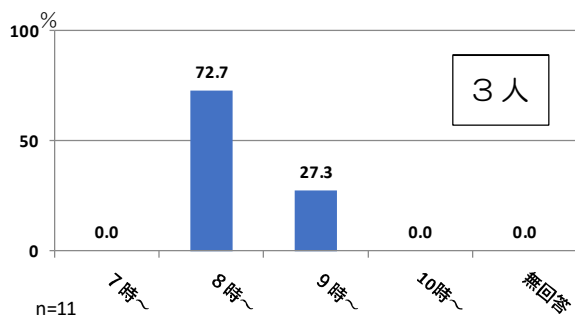


高学年（4～6年生）になっても利用したい

低学年（1～3年生）の間は利用したい

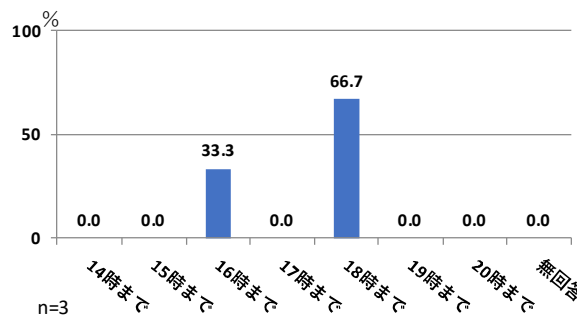
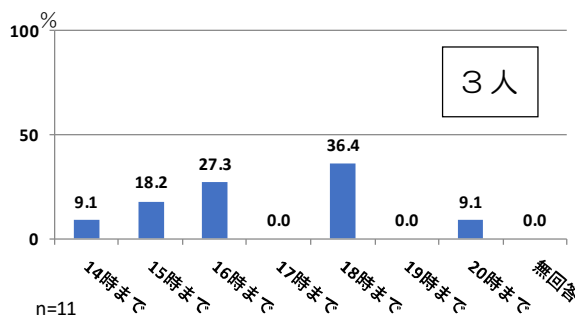
何時から

何時から



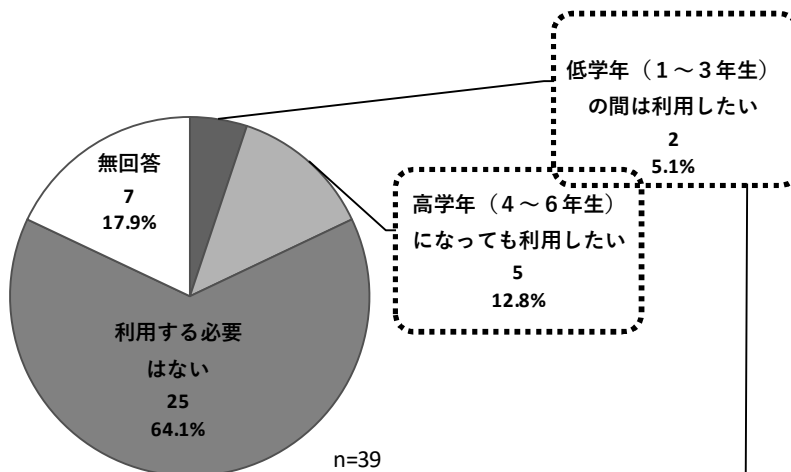
何時まで

何時まで



○「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答された方について、土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が7.7%、「高学年になっても利用したい」が28.2%、「利用する必要はない」が48.7%。

(3) 日曜・祝日

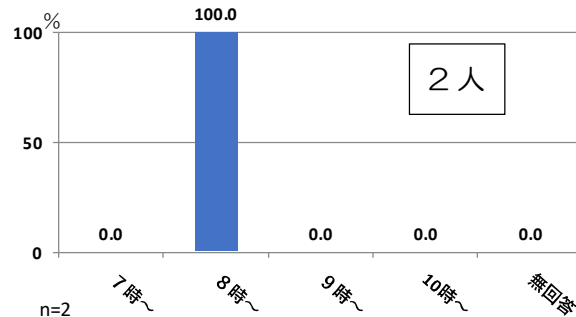
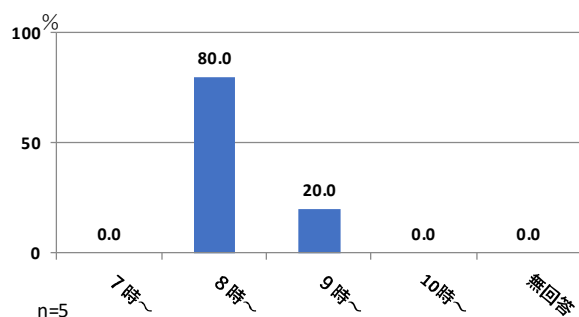


高学年（4～6年生）になっても利用したい

低学年（1～3年生）の間は利用したい

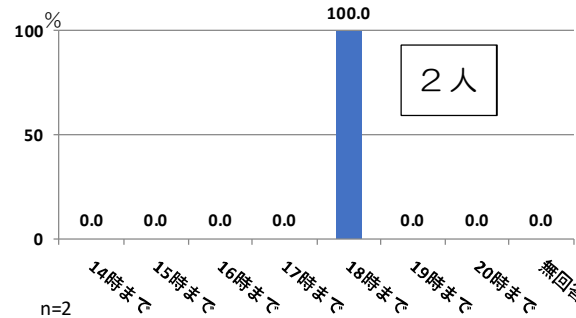
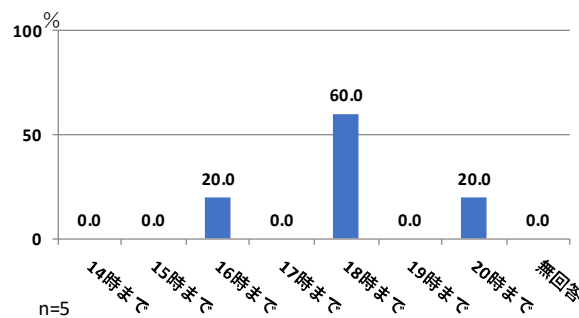
何時から

何時から



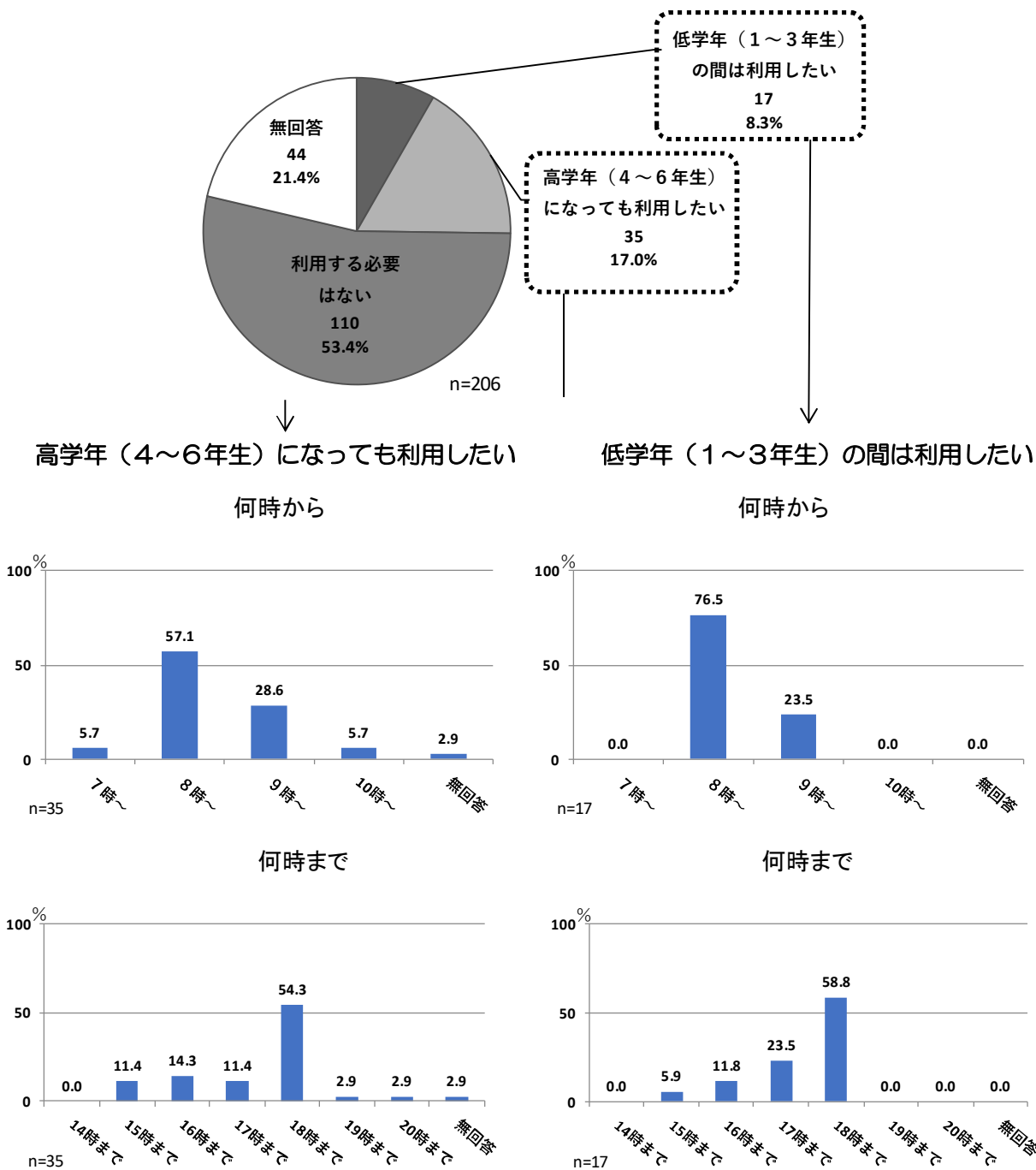
何時まで

何時まで



○「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答された方について、日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が5.1%、「高学年になっても利用したい」が12.8%、「利用する必要はない」が64.1%。

問 18 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(〇は1つ) 事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例) 09時~18時のように、24時間制で記入してください。



○「放課後児童クラブ(学童保育)」に回答された方について、夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年の間は利用したい」が8.3%、「高学年になっても利用したい」が17.0%、「利用する必要はない」が53.4%。

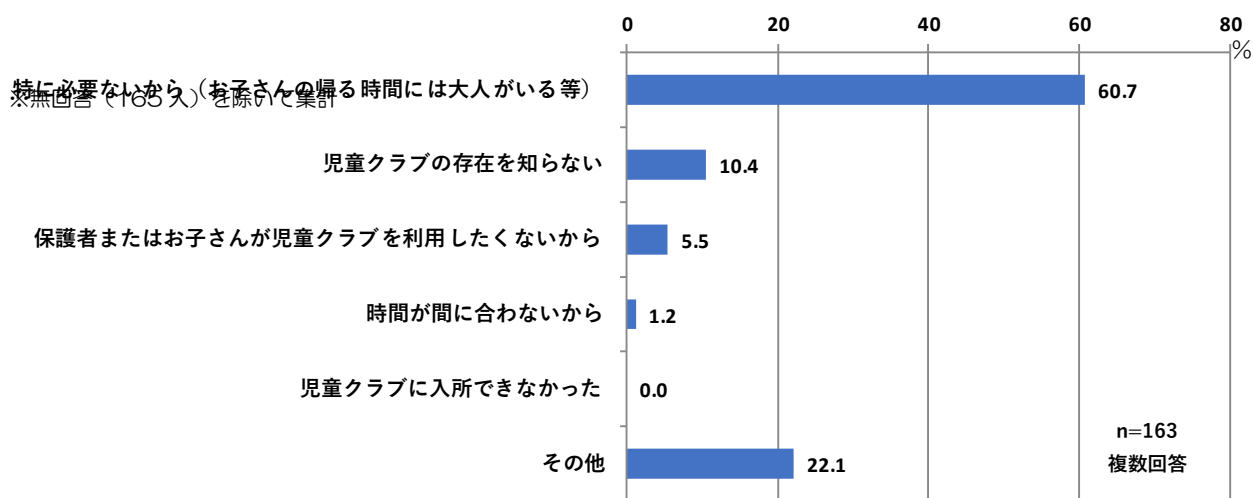
○「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望の土曜日、日曜・祝日、長期休暇中の利用希望は、いずれも「低学年の間は利用したい」が1割弱、「高学年になっても利用したい」が1~3割、その中で、土曜日の「高学年になっても利用したい」の割合が、日曜日の「高学年になっても利用したい」の割合が他より10ポイント以上高くなっている。

○「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用開始時間については、土曜日、日曜・祝日、長期休暇中、いずれも8時からの希望が多く、終わる時間は、平日も含めていずれも18時までの希望が多い。

問 19 放課後児童クラブを利用している、または、利用したことがある方にうかがいます。改善希望はありますか。(〇はいくつでも)

〇放課後児童クラブの改善希望は、「利用時間を延長して欲しい」が19.7%でもっとも多く、「定員を増やして欲しい」は1.4%ともっとも低い。「現在のままで良い」は約2割となっている。

問 20 放課後児童クラブを利用したことがない方にうかがいます。利用していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

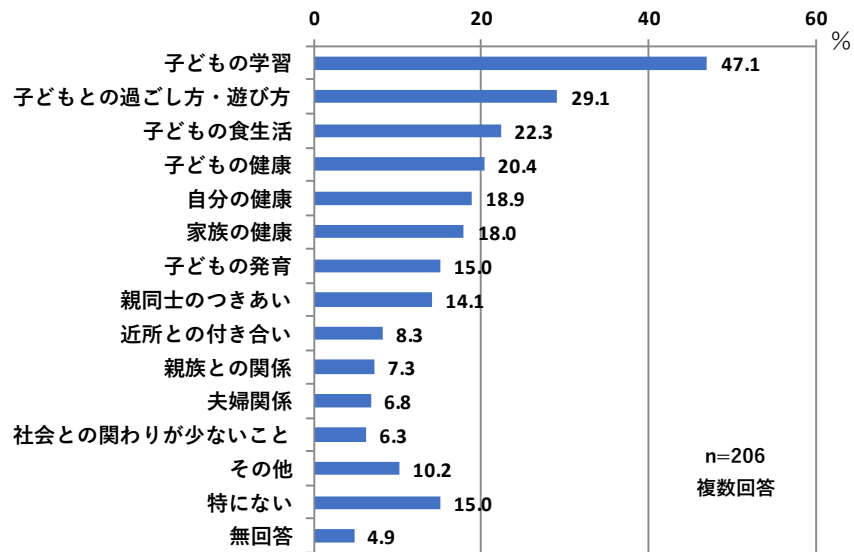


※無回答(69人)を除いて集計

〇放課後児童クラブを利用しない理由は、「特に必要ないから(お子さんの帰る時間には大人がいる等)」が60.7%ともっとも多く、次いで「児童クラブの存在を知らない」が10.4%、「保護者またはお子さんが児童クラブを利用したくないから」が5.5%の順である。「児童クラブに入所できなかった」は一人もいない。

三浦市の子育て環境について

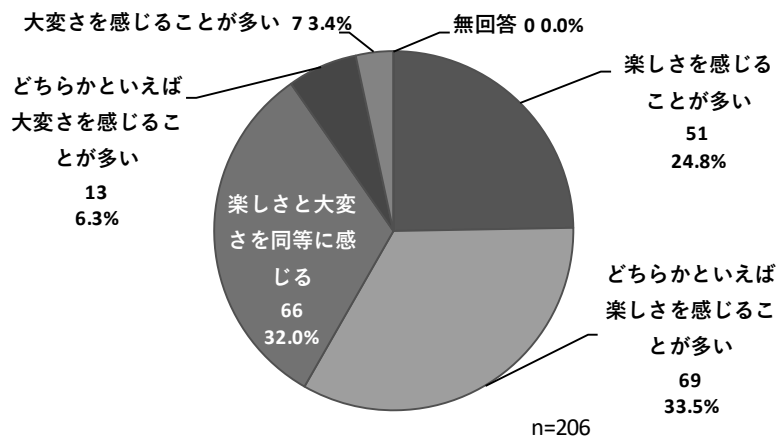
問 21 現在、子育てをしていて感じている悩みは何ですか。(〇はいくつでも)



〇現在、子育てをしていて感じている悩みは、「子どもの学習」が47.1%と最も多く、次いで「子どもとの過ごし方・遊び方」が29.1%、「子どもの食生活」が22.3%、「子どもの健康」が20.4%である。

〇世帯収入別にみると、世帯の収入が200～300万以下の家庭では、子どもの食生活、過ごし方・遊び方、健康、発育、学習等、子どもに関する悩みを感じている割合が高い。

〇ひとり親家庭と共稼ぎ（フルタイム）の家庭では、「子どもとの過ごし方・遊び方」について悩みを感じている割合が高い。また、ひとり親家庭では、特に「子どもの学習」に悩みを感じている割合が高い。



現在、子育てで感じる事(各種属性別)

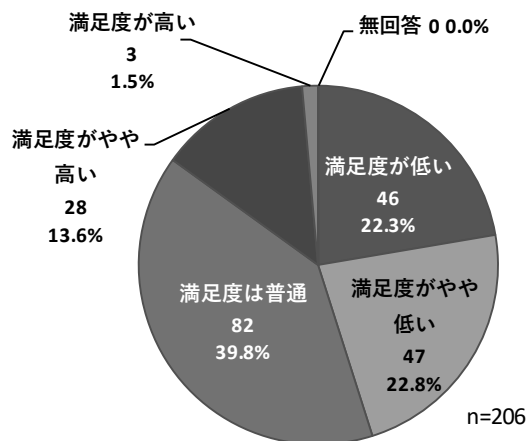
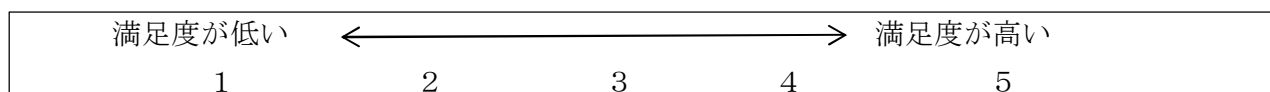
現在、子育てで感じること(地域別・就労状況別)

		合計	問22 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる ことが多いか					無回答
			楽しさを 感じるこ とが多い	どちらか といえ ば楽し さを感 じるこ とが多い	楽しさと 大変さ を同等 に感 じる	どちらか といえ ば大 変さを 感じる ことが多い	大変さを 感じるこ とが多い	
全体		206	24.8	33.5	32.0	6.3	3.4	0.0
問1 居住地区	三崎地区	60	23.3	26.7	43.3	6.7	0.0	0.0
	南下浦地区	87	28.7	33.3	25.3	5.7	6.9	0.0
	初声地区	59	20.3	40.7	30.5	6.8	1.7	0.0
世帯の就労状況	ひとり親家庭	24	25.0	45.8	25.0	4.2	0.0	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	40	20.0	25.0	35.0	10.0	10.0	0.0
	共稼ぎ(パート)	80	23.8	40.0	32.5	2.5	1.3	0.0
	専業主婦・主夫	37	24.3	35.1	27.0	10.8	2.7	0.0
	その他	25	36.0	12.0	40.0	8.0	4.0	0.0

○子育てで「どちらかといえば楽しさを感じるが多い」が33.5%と「楽しさと大変さを同等に感じる」が32.0%、「楽しさを感じるが多い」が24.8%。

○子育てで、ひとり親家庭の方は、楽しさを感じる割合が高い傾向にある。

問23 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(○は1つ)



○地域における子育ての環境や支援の満足度は、「満足度は普通」が39.8%、次いで、「満足度がやや低い」が22.8%となっている。

○満足度が「高い」「やや高い」は1割台で、満足度が「低い」「やや低い」が5割近くを占めるのに対して大きく下回っている。

地域における子育ての環境や支援の満足度(各種属性別)

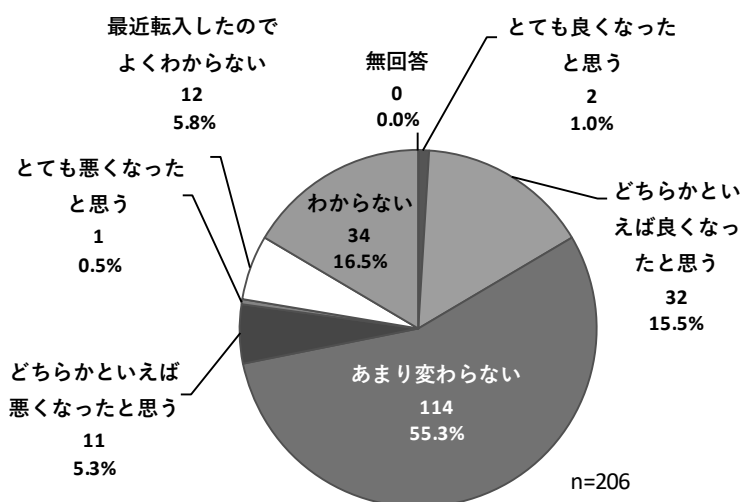
	合計	問23 地域における子育ての環境や支援の満足度					
		満足度が低い	満足度がやや低い	満足度は普通	満足度がやや高い	満足度が高い	無回答
全体	206	22.3	22.8	39.8	13.6	1.5	0.0
問2 お子さんの学年							
1年生	53	18.9	30.2	35.8	15.1	0.0	0.0
2年生	52	21.2	21.2	44.2	11.5	1.9	0.0
3年生	52	28.8	23.1	36.5	11.5	0.0	0.0
4年生	49	20.4	16.3	42.9	16.3	4.1	0.0
5年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1 きょうだいの有無							
きょうだいはいない	59	23.7	25.4	40.7	6.8	3.4	0.0
きょうだいがいる	142	21.8	22.5	38.7	16.2	0.7	0.0
問5 配偶者の有無							
配偶者がいる	178	22.5	24.7	38.2	14.0	0.6	0.0
配偶者はいない	24	20.8	12.5	45.8	12.5	8.3	0.0
問30 世帯の年収							
～200万円	14	7.1	28.6	28.6	28.6	7.1	0.0
200～300万円	11	54.5	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0
300～400万円	34	8.8	29.4	52.9	8.8	0.0	0.0
400～500万円	38	21.1	21.1	42.1	10.5	5.3	0.0
500～700万円	51	29.4	23.5	37.3	9.8	0.0	0.0
700～1,000万円	37	24.3	24.3	35.1	16.2	0.0	0.0
1,000万円以上	11	9.1	18.2	54.5	18.2	0.0	0.0
問8 子育てを気軽に相談できる人・場所の有無							
いる/ある	191	20.9	21.5	41.4	14.7	1.6	0.0
いない/ない	13	38.5	38.5	23.1	0.0	0.0	0.0
問8-1 子育てを気軽に相談できる先(統合)							
親戚・友人・近所の人	182	20.9	22.0	41.8	14.3	1.1	0.0
子育ての専門スタッフ	29	17.2	13.8	55.2	10.3	3.4	0.0
問15 現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所							
自宅	155	22.6	20.6	41.3	14.2	1.3	0.0
祖父母宅や友人・知人宅	37	13.5	29.7	40.5	16.2	0.0	0.0
習い事	117	20.5	21.4	42.7	13.7	1.7	0.0
児童館	5	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0
放課後子ども教室	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
放課後児童クラブ〔学童保育〕	34	20.6	26.5	41.2	8.8	2.9	0.0
ファミリー・サポート・センター	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(公民館、公園など)	55	27.3	21.8	30.9	20.0	0.0	0.0
問21 現在、子育てをしていて感じている悩み(統合)							
悩みがある	165	23.0	24.8	35.8	15.2	1.2	0.0
悩みはない	31	22.6	12.9	54.8	6.5	3.2	0.0
問22 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか							
楽しさを感じる人が多い	51	15.7	15.7	43.1	21.6	3.9	0.0
どちらかといえば楽しさを感じる人が多い	69	15.9	29.0	37.7	15.9	1.4	0.0
楽しさと大変さを同等に感じる	66	28.8	21.2	42.4	7.6	0.0	0.0
どちらかといえば大変さを感じる人が多い	13	30.8	30.8	30.8	7.7	0.0	0.0
大変さを感じる人が多い	7	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0

地域における子育ての環境や支援の満足度(地域別・就労状況別)

	合計	問23 地域における子育ての環境や支援の満足度					
		満足度が低い	満足度がやや低い	満足度は普通	満足度がやや高い	満足度が高い	無回答
全体	206	22.3	22.8	39.8	13.6	1.5	0.0
問1 居住地区							
三崎地区	60	30.0	25.0	38.3	5.0	1.7	0.0
南下浦地区	87	26.4	21.8	34.5	14.9	2.3	0.0
初声地区	59	8.5	22.0	49.2	20.3	0.0	0.0
世帯の就労状況							
ひとり親家庭	24	20.8	12.5	45.8	12.5	8.3	0.0
共稼ぎ(フルタイム)	40	27.5	25.0	40.0	7.5	0.0	0.0
共稼ぎ(パート)	80	17.5	28.8	35.0	17.5	1.3	0.0
専業主婦・主夫	37	18.9	13.5	48.6	18.9	0.0	0.0
その他	25	36.0	24.0	36.0	4.0	0.0	0.0

○子育てを気軽に相談できる人・場所がない方や、現在、子育てをしていて大変さを感じる人が多い方は、地域における子育ての環境や支援の満足度が低い傾向がある。

問 24 以前(5 年前程度)と比べ、三浦市の子育て環境は良くなったと思いますか。(○は 1 つ)



○以前と比べ、三浦市の子育て環境が「あまり変わらない」が 55.3%と最も多く、次いで、「どちらかといえば良くなったと思う」が 15.5%となっている。

○「とても良くなったと思う」「どちらかといえば良くなったと思う」は 16.5%で、「とても悪くなったと思う」「どちらかといえば悪くなったと思う」5.8%に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

三浦市の子育て環境の変化について(各種属性別)

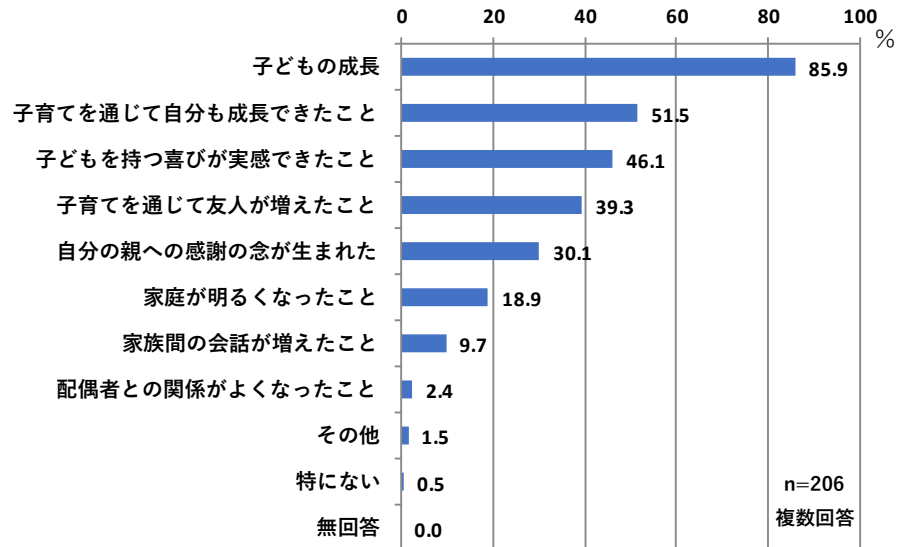
		合計	問24 以前(5年前程度)と比べ、三浦市の子育て環境は良くなったか							
			とても良くなったと思う	どちらかといえば良くなったと思う	あまり変わらない	どちらかといえば悪くなったと思う	とても悪くなったと思う	最近転入したのでよくわからない	わからない	無回答
問2 お子さんの学年	全体	206	1.0	15.5	55.3	5.3	0.5	5.8	16.5	0.0
	1年生	53	0.0	7.5	62.3	5.7	1.9	9.4	13.2	0.0
	2年生	52	1.9	11.5	63.5	3.8	0.0	3.8	15.4	0.0
	3年生	52	0.0	15.4	53.8	7.7	0.0	5.8	17.3	0.0
	4年生	49	2.0	28.6	40.8	4.1	0.0	4.1	20.4	0.0
	5年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1 きょうだいの有無	きょうだいはいない	59	0.0	13.6	52.5	5.1	0.0	6.8	22.0	0.0
	きょうだいがいる	142	1.4	16.9	57.0	4.9	0.7	4.9	14.1	0.0
問5 配偶者の有無	配偶者がいる	178	1.1	12.9	59.6	6.2	0.6	6.7	12.9	0.0
	配偶者がいない	24	0.0	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0
問30 世帯の年収	～200万円	14	0.0	14.3	35.7	0.0	0.0	14.3	35.7	0.0
	200～300万円	11	0.0	18.2	45.5	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0
	300～400万円	34	0.0	20.6	50.0	8.8	0.0	8.8	11.8	0.0
	400～500万円	38	0.0	21.1	52.6	7.9	0.0	5.3	13.2	0.0
	500～700万円	51	3.9	13.7	62.7	3.9	0.0	7.8	7.8	0.0
	700～1,000万円	37	0.0	10.8	62.2	5.4	2.7	0.0	18.9	0.0
	1,000万円以上	11	0.0	9.1	63.6	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
問8 子育てを気軽に相談できる人・場所の有無	いる/ある	191	1.0	16.2	54.5	4.7	0.5	5.8	17.3	0.0
	いない/ない	13	0.0	7.7	69.2	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0
問8-1 子育てを気軽に相談できる先(続)	親戚・友人・近所の人	182	1.1	15.9	55.5	4.9	0.5	4.9	17.0	0.0
	子育ての専門スタッフ	29	3.4	20.7	51.7	0.0	0.0	10.3	13.8	0.0
問15 現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所	自宅	155	1.3	18.1	56.8	4.5	0.0	4.5	14.8	0.0
	祖父母宅や友人・知人宅	37	0.0	27.0	59.5	0.0	0.0	2.7	10.8	0.0
	習い事	117	0.0	16.2	59.8	6.0	0.9	0.9	16.2	0.0
	児童館	5	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ〔学童保育〕	34	0.0	5.9	52.9	5.9	2.9	11.8	20.6	0.0
問21 現在、子育てをしながら悩んでいる悩み(続)	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(公民館、公園など)	55	0.0	12.7	52.7	12.7	0.0	9.1	12.7	0.0
	悩みがある	165	0.6	15.8	53.9	6.1	0.6	6.1	17.0	0.0
問22 現在、子育てをしながら悩んでいる悩み(続)	悩みはない	31	3.2	12.9	58.1	3.2	0.0	3.2	19.4	0.0
	楽しさを感じる事が多い	51	2.0	23.5	51.0	3.9	0.0	3.9	15.7	0.0
	どちらかといえば楽しさを感じる事が多い	69	0.0	17.4	49.3	5.8	0.0	5.8	21.7	0.0
	楽しさと大変さを同等に感じる	66	1.5	10.6	63.6	3.0	1.5	4.5	15.2	0.0
	どちらかといえば大変さを感じる事が多い	13	0.0	7.7	61.5	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0
問23 地域における子育ての環境や支援の満足度	大変さを感じる事が多い	7	0.0	0.0	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
	満足度が低い	46	0.0	2.2	60.9	13.0	2.2	8.7	13.0	0.0
	満足度がやや低い	47	0.0	8.5	66.0	6.4	0.0	6.4	12.8	0.0
	満足度は普通	82	2.4	18.3	50.0	2.4	0.0	4.9	22.0	0.0
	満足度がやや高い	28	0.0	35.7	50.0	0.0	0.0	3.6	10.7	0.0
満足度が高い	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	

三浦市の子育て環境の変化について(地域別・就労状況別)

		合計	問24 以前(5年前程度)と比べ、三浦市の子育て環境は良くなったか							
			とても良くなったと思う	どちらかといえば良くなったと思う	あまり変わらない	どちらかといえば悪くなったと思う	とても悪くなったと思う	最近転入したのでよくわからない	わからない	無回答
問1 居住地区	全体	206	1.0	15.5	55.3	5.3	0.5	5.8	16.5	0.0
	三崎地区	60	1.7	11.7	60.0	6.7	0.0	3.3	16.7	0.0
	南下浦地区	87	1.1	16.1	57.5	5.7	1.1	4.6	13.8	0.0
	初声地区	59	0.0	18.6	47.5	3.4	0.0	10.2	20.3	0.0
	ひとり親家庭	24	0.0	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0
世帯の就労状況	共稼ぎ(フルタイム)	40	5.0	2.5	62.5	2.5	2.5	2.5	22.5	0.0
	共稼ぎ(パート)	80	0.0	17.5	57.5	5.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	専業主婦・主夫	37	0.0	18.9	54.1	5.4	0.0	8.1	13.5	0.0
	その他	25	0.0	8.0	68.0	16.0	0.0	0.0	8.0	0.0

○三浦市の子育て環境の変化については、ひとり親家庭の方が「どちらかといえば良くなった」と思う割合が他の就労状況の方より高い傾向にある。

問25 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。(〇は3つまで)



子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと(各種属性別)

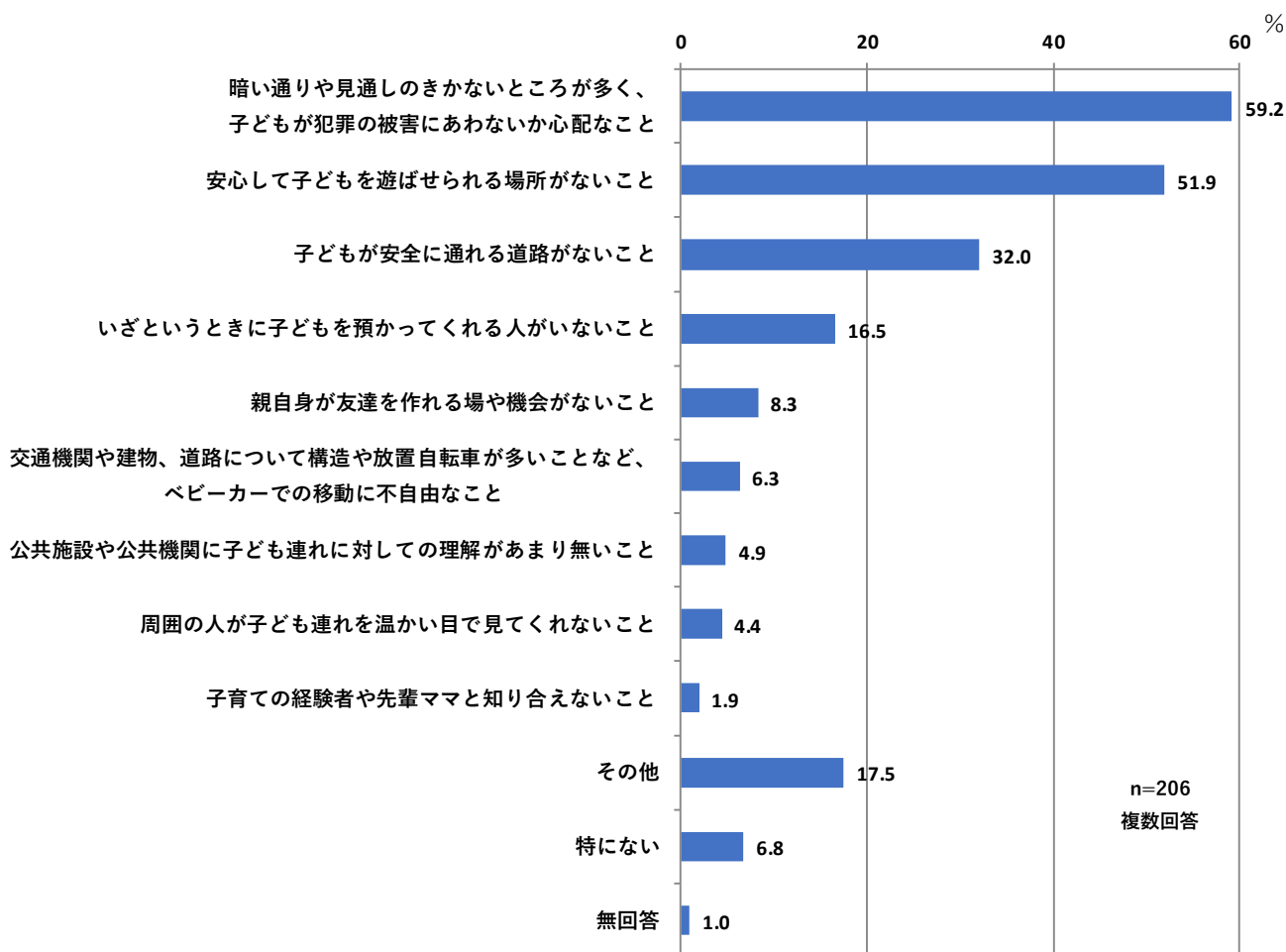
	合計	問25 子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと										
		子どもを持つ喜びが実感できたこと	子どもの成長	子育てを通じて自分も成長できたこと	配偶者との関係がよくなったこと	家族間の会話が増えたこと	家庭が明るくなったこと	子育てを通じて友人が増えたこと	自分の親への感謝の念が生まれた	その他	特にな	無回答
問2 お子さんの学年	206	46.1	85.9	51.5	2.4	9.7	18.9	39.3	30.1	1.5	0.5	0.0
1年生	53	45.3	88.7	45.3	5.7	13.2	18.9	32.1	32.1	1.9	0.0	0.0
2年生	52	50.0	92.3	46.2	1.9	3.8	19.2	44.2	28.8	1.9	0.0	0.0
3年生	52	40.4	75.0	51.9	0.0	13.5	23.1	40.4	38.5	0.0	1.9	0.0
4年生	49	49.0	87.8	63.3	2.0	8.2	14.3	40.8	20.4	2.0	0.0	0.0
5年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1 きょうだいの有無	59	49.2	88.1	54.2	3.4	10.2	20.3	33.9	28.8	0.0	0.0	0.0
きょうだいはいない	142	45.1	85.2	51.4	2.1	9.9	19.0	40.8	29.6	2.1	0.7	0.0
きょうだいがいる	178	44.4	86.5	50.6	2.8	9.6	18.5	37.6	31.5	1.7	0.6	0.0
問5 配偶者の有無	24	58.3	83.3	58.3	0.0	12.5	20.8	45.8	20.8	0.0	0.0	0.0
配偶者がいる	14	64.3	78.6	50.0	7.1	21.4	7.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
配偶者がいない	11	45.5	100.0	45.5	0.0	0.0	9.1	63.6	9.1	9.1	0.0	0.0
問30 世帯の年収	34	44.1	85.3	50.0	0.0	17.6	20.6	50.0	29.4	0.0	0.0	0.0
200~300万円	38	47.4	78.9	63.2	2.6	2.6	21.1	36.8	42.1	0.0	0.0	0.0
300~400万円	51	47.1	86.3	47.1	5.9	11.8	19.6	33.3	43.1	0.0	2.0	0.0
400~500万円	37	40.5	91.9	51.4	0.0	8.1	16.2	37.8	24.3	2.7	0.0	0.0
500~700万円	11	27.3	90.9	45.5	0.0	0.0	27.3	45.5	9.1	9.1	0.0	0.0
700~1,000万円	191	47.6	86.9	51.8	2.6	9.9	19.4	41.9	30.9	1.6	0.0	0.0
1,000万円以上	13	23.1	69.2	53.8	0.0	7.7	15.4	7.7	23.1	0.0	7.7	0.0
問8 子育てを気軽に相談できる人・場所の有無	182	46.7	86.8	50.5	2.2	10.4	19.8	41.8	30.8	1.6	0.0	0.0
いる／ある	29	44.8	79.3	62.1	3.4	13.8	6.9	41.4	24.1	6.9	0.0	0.0
いない／ない	155	43.2	87.7	52.9	1.9	9.7	19.4	40.0	28.4	1.9	0.6	0.0
問8-1 子育てを気軽に相談できる先(続)	37	54.1	91.9	40.5	2.7	16.2	21.6	37.8	32.4	2.7	0.0	0.0
親戚・友人・近所の人	117	44.4	87.2	49.6	2.6	10.3	18.8	42.7	28.2	1.7	0.0	0.0
子育ての専門スタッフ	5	40.0	60.0	60.0	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0
問15 現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごす場所	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自宅	34	55.9	85.3	44.1	2.9	2.9	20.6	32.4	32.4	0.0	0.0	0.0
祖父母宅や友人・知人宅	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
習い事	55	40.0	83.6	58.2	3.6	9.1	20.0	36.4	41.8	0.0	0.0	0.0
児童館	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後子ども教室	34	55.9	85.3	44.1	2.9	2.9	20.6	32.4	32.4	0.0	0.0	0.0
放課後児童クラブ〔学童保育〕	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	55	40.0	83.6	58.2	3.6	9.1	20.0	36.4	41.8	0.0	0.0	0.0
その他(公民館、公園など)	165	45.5	86.1	52.1	2.4	7.9	18.2	40.0	32.1	0.6	0.0	0.0
問21 現在、子育てをしていて感じている悩み(続)	31	48.4	80.6	51.6	3.2	16.1	19.4	38.7	19.4	3.2	3.2	0.0
悩みがある	51	49.0	86.3	56.9	5.9	17.6	29.4	41.2	21.6	2.0	0.0	0.0
悩みはない	69	52.2	89.9	55.1	1.4	8.7	23.2	36.2	30.4	2.9	0.0	0.0
問22 現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか	66	47.0	86.4	50.0	0.0	6.1	12.1	40.9	30.3	0.0	1.5	0.0
楽しさを感じる人が多い	13	23.1	76.9	38.5	0.0	0.0	0.0	53.8	53.8	0.0	0.0	0.0
どちらかといえば楽しさを感じる人が多い	7	0.0	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
楽しさと大変さを同等に感じる	46	41.3	87.0	58.7	2.2	6.5	6.5	32.6	28.3	2.2	2.2	0.0
どちらかといえば大変さを感じる人が多い	47	48.9	83.0	48.9	0.0	6.4	29.8	38.3	36.2	0.0	0.0	0.0
楽しさを感じる人が多い	82	48.8	86.6	41.5	2.4	14.6	22.0	39.3	30.5	2.4	0.0	0.0
どちらかといえば楽しさを感じる人が多い	28	42.9	85.7	67.9	3.6	3.6	14.3	39.3	21.4	0.0	0.0	0.0
楽しさを感じる人が多い	3	33.3	100.0	100.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
問23 地域における子育ての環境や支援の満足度	46	41.3	87.0	58.7	2.2	6.5	6.5	32.6	28.3	2.2	2.2	0.0
満足度が低い	47	48.9	83.0	48.9	0.0	6.4	29.8	38.3	36.2	0.0	0.0	0.0
満足度がやや低い	82	48.8	86.6	41.5	2.4	14.6	22.0	39.3	30.5	2.4	0.0	0.0
満足度は普通	28	42.9	85.7	67.9	3.6	3.6	14.3	39.3	21.4	0.0	0.0	0.0
満足度がやや高い	3	33.3	100.0	100.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
満足度が高い												

子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと(地域別・就労状況別)

	合計	問25 子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと										
		子どもを持つ喜びが実感できたこと	子どもの成長	子育てを通して自分も成長できたこと	配偶者との関係がよくなったこと	家族間の会話が増えたこと	家庭が明るくなったこと	子育てを通して友人が増えたこと	自分の親への感謝の念が生まれた	その他	特になし	無回答
全体	206	46.1	85.9	51.5	2.4	9.7	18.9	39.3	30.1	1.5	0.5	0.0
三崎地区	60	48.3	88.3	55.0	3.3	11.7	16.7	41.7	28.3	0.0	1.7	0.0
南下浦地区	87	40.2	87.4	52.9	3.4	10.3	17.2	42.5	29.9	2.3	0.0	0.0
初声地区	59	52.5	81.4	45.8	0.0	6.8	23.7	32.2	32.2	1.7	0.0	0.0
ひとり親家庭	24	58.3	83.3	58.3	0.0	12.5	20.8	45.8	20.8	0.0	0.0	0.0
共稼ぎ(フルタイム)	40	32.5	92.5	52.5	0.0	10.0	25.0	32.5	25.0	0.0	0.0	0.0
共稼ぎ(パート)	80	46.3	86.3	55.0	2.5	6.3	18.8	41.3	36.3	1.3	0.0	0.0
専業主婦・主夫	37	51.4	78.4	43.2	8.1	16.2	13.5	29.7	35.1	5.4	2.7	0.0
その他	25	48.0	88.0	44.0	0.0	8.0	16.0	52.0	20.0	0.0	0.0	0.0

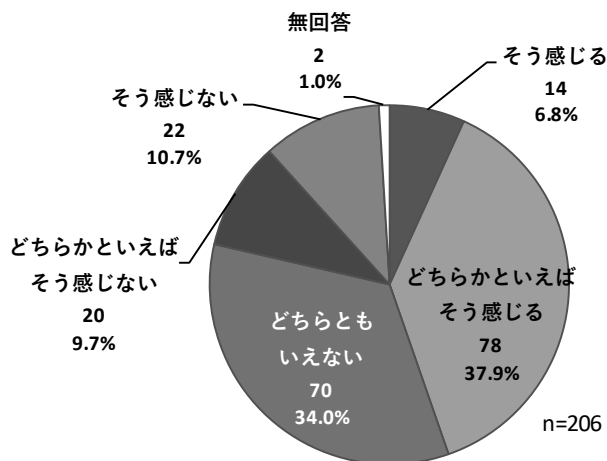
○子育てをしてよかった、嬉しかったと感じたことは、「子どもの成長」が85.9%でもっとも多く、次いで、「子育てを通して自分も成長できたこと」が51.5%。

問 26 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。(○は3つまで)。

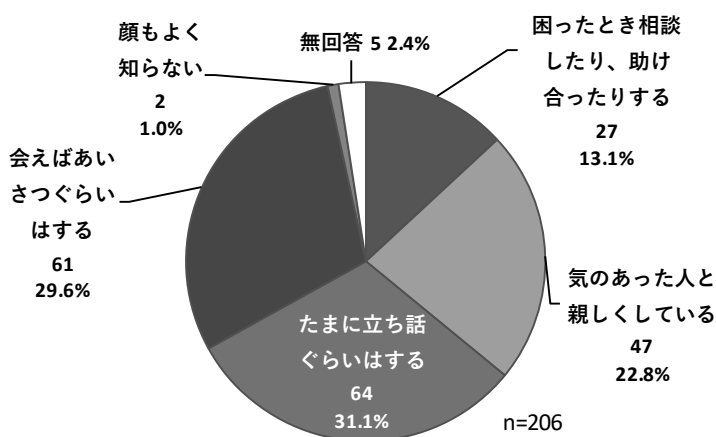


○子育てをして特に困ること、困ったことは、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」が59.2%でもっとも多く、次いで「安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと」が51.9%、「子どもが安全に通れる道路がないこと」が32.0%。

問 27 子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか。(〇は1つ)



問 28 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。(〇は1つ)



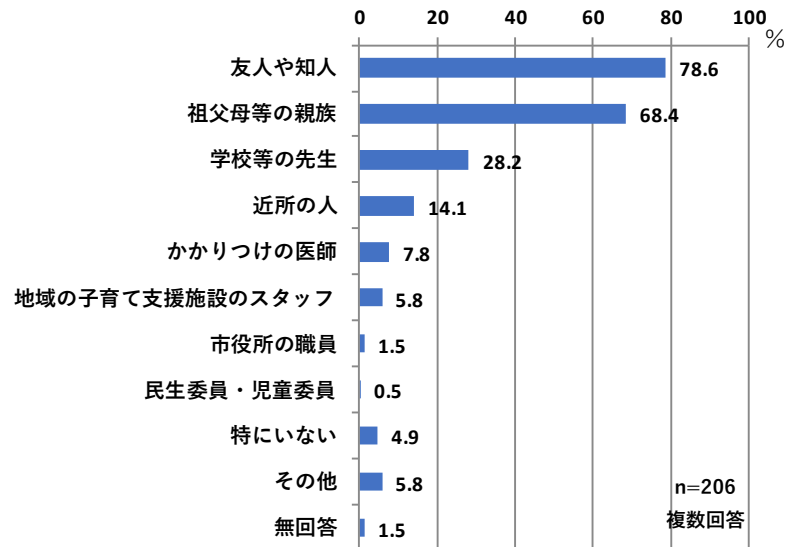
近所の人とのつきあい方(地域別・就労状況別)

	合計	問28 普段、近所の人とのつきあい方					
		困ったとき相談したり、助け合ったりする	気のあった人と親しくしている	たまに立ち話ぐらいはする	会えばあいさつぐらいはする	顔もよく知らない	無回答
全体	206	13.1	22.8	31.1	29.6	1.0	2.4
問 1 居住地区							
三崎地区	60	8.3	25.0	36.7	28.3	0.0	1.7
南下浦地区	87	13.8	20.7	31.0	29.9	2.3	2.3
初声地区	59	16.9	23.7	25.4	30.5	0.0	3.4
世帯の就労状況							
ひとり親家庭	24	16.7	16.7	29.2	37.5	0.0	0.0
共稼ぎ(フルタイム)	40	10.0	25.0	40.0	22.5	0.0	2.5
共稼ぎ(パート)	80	12.5	18.8	32.5	30.0	2.5	3.8
専業主婦・主夫	37	21.6	21.6	29.7	24.3	0.0	2.7
その他	25	4.0	40.0	16.0	40.0	0.0	0.0

○子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるかは「どちらかといえばそう感じる」が37.9%でもっとも多く、次いで「どちらともいえない」が34.0%。

○近所の人とのつきあい方は、「たまに立ち話ぐらいはする」が31.1%でもっとも多く、「会えばあいさつぐらいはする」が29.6%。

問 29 子育てについて、気軽に相談できる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)



子育てについて、気軽に相談できる人(地域別・就労状況別)

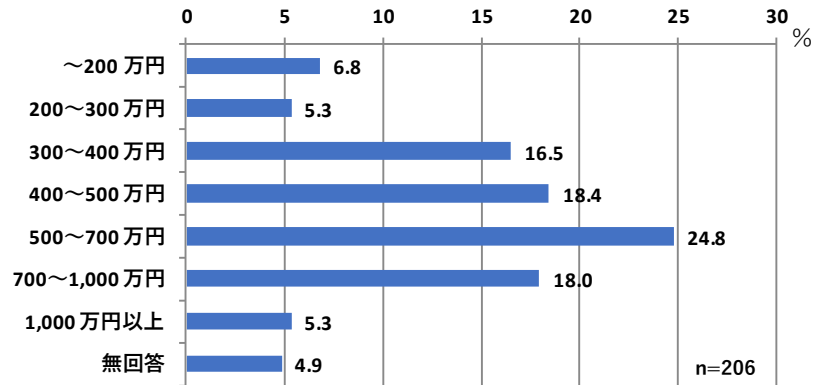
		問29 子育てについて、気軽に相談できる人											
		合計	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	地域の子育て支援施設のスタッフ	市役所の職員	学校等の先生	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	特にない	その他	無回答
全体		206	68.4	78.6	14.1	5.8	1.5	28.2	0.5	7.8	4.9	5.8	1.5
問 1 居住地区	三崎地区	60	68.3	80.0	20.0	1.7	0.0	31.7	0.0	8.3	1.7	6.7	1.7
	南下浦地区	87	70.1	77.0	10.3	9.2	3.4	34.5	1.1	10.3	5.7	4.6	1.1
	初声地区	59	66.1	79.7	13.6	5.1	0.0	15.3	0.0	3.4	6.8	6.8	1.7
世帯の就労状況	ひとり親家庭	24	75.0	83.3	12.5	8.3	0.0	16.7	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0
	共稼ぎ(フルタイム)	40	65.0	82.5	12.5	7.5	2.5	22.5	0.0	5.0	7.5	7.5	2.5
	共稼ぎ(パート)	80	75.0	77.5	15.0	5.0	2.5	28.8	1.3	7.5	1.3	6.3	0.0
	専業主婦・主夫	37	67.6	75.7	16.2	5.4	0.0	37.8	0.0	13.5	2.7	2.7	2.7
	その他	25	48.0	76.0	12.0	4.0	0.0	32.0	0.0	8.0	16.0	8.0	4.0

○子育てについて、気軽に相談できるのは、「友人や知人」が78.6%でもっとも多く、次いで「祖父母等の親族」が68.4%、「学校の先生」が28.2%。

○ひとり親家庭と共稼ぎ(パート)の家庭は、「祖父母等の親族」に子育てについて気軽に相談でき、専業主婦・主夫の家庭は、「祖父母等の親族」「友人や知人」を気軽に相談できる人に挙げる割合が高い傾向がみられる。

子育てにかかる費用等について

問 30 世帯の年収をおうかがいします (〇は 1 つ)



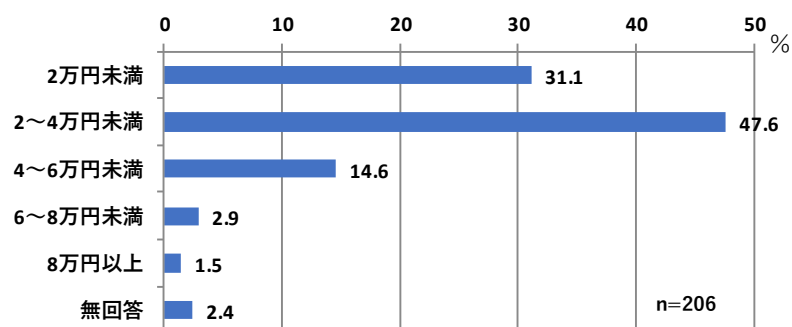
世帯の年収(地域別・就労状況別)

	合計	問30 世帯の年収							
		~200万円	200~300万円	300~400万円	400~500万円	500~700万円	700~1,000万円	1,000万円以上	無回答
全体	206	6.8	5.3	16.5	18.4	24.8	18.0	5.3	4.9
三崎地区	60	10.0	3.3	15.0	16.7	25.0	21.7	3.3	5.0
南下浦地区	87	5.7	9.2	13.8	24.1	23.0	17.2	5.7	1.1
初声地区	59	5.1	1.7	22.0	11.9	27.1	15.3	6.8	10.2
ひとり親家庭	24	29.2	16.7	16.7	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5
共稼ぎ(フルタイム)	40	5.0	0.0	12.5	10.0	22.5	30.0	17.5	2.5
共稼ぎ(パート)	80	3.8	2.5	16.3	23.8	26.3	18.8	3.8	5.0
専業主婦・主夫	37	0.0	8.1	13.5	18.9	37.8	13.5	2.7	5.4
その他	25	8.0	8.0	28.0	20.0	16.0	20.0	0.0	0.0

〇年収「500~700万円」が24.8%でもっとも多く、500万円以上は48.1%、300万円以下は12.1%となっている。

〇就労状況別にみると、ひとり親家庭では300万円未満が45.9%と高い割合になっている。一方、共稼ぎ(フルタイム)では、700万以上が47.5%と高くなっている。

問31 あて名のお子さんの子育てにかかっている費用は1カ月いくら位ですか。(〇は1つ)



子育てにかかっている費用(地域別・就労状況別)

		合計	問31 あて名のお子さんの子育てにかかっている1カ月の費用					
			2万円未満	2~4万円未満	4~6万円未満	6~8万円未満	8万円以上	無回答
問1 居住地区	全体	206	31.1	47.6	14.6	2.9	1.5	2.4
	三崎地区	60	25.0	43.3	18.3	6.7	3.3	3.3
	南下浦地区	87	34.5	48.3	13.8	2.3	0.0	1.1
	初声地区	59	32.2	50.8	11.9	0.0	1.7	3.4
世帯の就労状況	ひとり親家庭	24	25.0	41.7	20.8	4.2	0.0	8.3
	共稼ぎ(フルタイム)	40	17.5	50.0	20.0	7.5	5.0	0.0
	共稼ぎ(パート)	80	38.8	45.0	12.5	1.3	1.3	1.3
	専業主婦・主夫	37	29.7	56.8	8.1	0.0	0.0	5.4
	その他	25	36.0	44.0	16.0	4.0	0.0	0.0

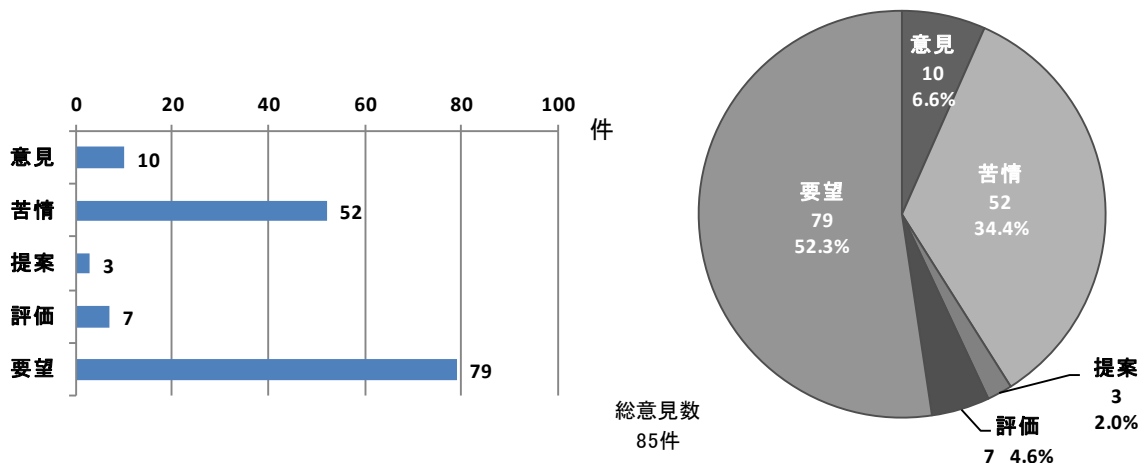
○子育てにかかっている費用は、「2~4万円未満」が47.6%1ヶ月に「2万円未満」が31.1%。

○就労状況別にみると共稼ぎ(パート)で2万円未満の割合が他より高くなっている。

問32 最後に、教育、保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

回答のあった件数 85件
意見総数 151件

意見の種類別件数



要望・意見・苦情・提案に関する主な意見の内容

	対象	意見の種類					総計	主な意見
		意見	苦情	提案	評価	要望		
公園・遊び場	公園		15			14	29	公園の整備、遊具の充実・整備
	子どもの遊び場		3	1		8	12	室内施設、安全に安心して遊べる施設
保育・教育	小学校・中学校		11		3	23	37	教育内容の充実・改善、学童保育の設置
	保育所					1	1	保育士と保護者の連携
子育て支援	子育て支援施策					3	3	預かる場の充実
	習い事の教室等	1				2	3	学習塾などの習い事の教室が少ない、遠い
	相談体制		1			1	1	相談体制の充実
経済的支援	経済的支援	2	2		1	6	11	金銭的支援、医療費負担が軽減した
生活環境	道路・交通	1	9			6	16	歩道整備、通学路整備
	生活環境				2	1	3	自然が豊かな環境
公共施設	公共施設		4			6	10	児童館の設置、図書館内容の充実
生活支援	交流	1	1			2	4	イベントの充実、子ども同士の交流
	地域との関わり	1	1			2	2	地域の交流
健康・医療	医療		3			2	5	休日・夜間診療がない、病院の充実
行政	行政		1	1		5	7	子育て支援のあり方、財政面の改善
その他	その他	4	1			5	5	子育てしやすい環境づくり
	アンケート			1	1	2	2	意見交換の場づくり、感謝
総計		10	52	3	7	79	151	

要望・意見・苦情・提案に関する主な意見の内容(詳細)

対象	件数	内容	意見の種類					総計
			意見	苦情	提案	評価	要望	
公園	29	公園が少ない	0	5	0	0	0	5
		遊具の充実・整備	0	5	0	0	1	6
		安心、安全な公園	0	1	0	0	1	2
		大きな公園	0	0	0	0	4	4
		駐車場整備	0	0	0	0	2	2
		公園の整備	0	4	0	0	6	10
子どもの遊び場	12	遊び場がない、増やす	0	1	0	0	0	1
		室内施設	0	0	1	0	2	3
		安全に安心して遊べる場所	0	1	0	0	2	3
		駅近に預けられる施設	0	0	0	0	1	1
		雨の日でも遊べる遊び場	0	1	0	0	2	3
		スポーツできる施設	0	0	0	0	1	1
小学校・中学校	37	学童保育の設置、充実	0	2	0	2	3	7
		プールがない	0	0	0	0	1	1
		エアコン設置	0	1	0	1	1	3
		通学路が危ない	0	4	0	0	2	6
		施設の整備	0	2	0	0	3	5
		教育内容の充実・改善	0	1	0	0	8	9
		放課後、長期休みの遊び場	0	0	0	0	4	4
		体育館、校庭の開放	0	0	0	0	1	1
		学校の老朽化、移転	0	1	0	0	0	1
保育所	1	保育士と保護者の連携	0	0	0	0	1	1
子育て支援施策	3	預かる場の充実	0	0	0	0	3	3
習い事の教室等	3	学習塾などの習い事の教室が少ない、遠い	1	0	0	0	2	3
相談体制	1	相談体制の充実	0	1	0	0	0	1
経済的支援	11	金銭的支援	2	2	0	0	6	10
		医療費負担が軽減した	0	0	0	1	0	1
道路・交通	16	歩道整備	0	4	0	0	2	6
		通学路整備	1	3	0	0	2	6
		暗い道が多い、街灯設置	0	2	0	0	2	4
生活環境	3	自然が豊かな環境	0	0	0	2	1	3
公共施設	10	図書館の設置	0	0	0	0	1	1
		図書館内容の充実	0	1	0	0	2	3
		プールの設置	0	0	0	0	1	1
		児童館の設置	0	3	0	0	2	5
交流	4	イベントの充実	0	0	0	0	1	1
		子ども同士の交流	1	0	0	0	0	1
		多世代交流	0	0	0	0	1	1
		子供会等の負担	0	1	0	0	0	1
地域との関わり	2	地域の交流	1	1	0	0	0	2
医療	5	休日・夜間診療がない	0	1	0	0	1	2
		病院の充実	0	1	0	0	1	2
		産婦人科がない	0	1	0	0	0	1
行政	7	子育て支援のあり方	0	0	1	0	3	4
		財政面の改善	0	1	0	0	1	2
		警察による不審者巡回	0	0	0	0	1	1
その他	5	魅力がない	0	1	0	0	0	1
		子育てしやすい環境づくり	4	0	0	0	0	4
アンケート	2	アンケートのみでなく話し合いの場を	0	0	1	0	0	1
		感謝	0	0	0	1	0	1
総計			10	52	3	7	79	151

第4章 量の見込みと確保方策

1 施設・事業の概要

(1) 教育・保育施設

① 施設の種類

施設種別	特徴	利用時間	利用できる保護者
幼稚園	小学校以降の教育の基礎を作る為の幼児期の教育を行う学校。	昼過ぎ頃までの教育時間のほか、園により教育時間前後や休業中の預かり保育などを実施。	制限なし。
認定こども園	教育と保育を一体的に行う施設。	教育のみは幼稚園と同様。保育については保育所と同様。	教育のみは制限なし。保育は保育所と同様。
保育所	就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設。	夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施。	共働きなど、家庭で保育のできない保護者。

② 区分認定

平成27年度(2015年度)より、教育・保育施設を利用するためには、区分認定を受ける必要があります。区分認定とは、保護者の「保育を必要とする事由」の状況にて3区分に分類されます。認定された区分により、利用可能な施設が決定します。

認定区分	概要	利用可能施設
1号認定 (教育標準時間認定)	お子さんが満3歳以上で教育を希望される場合。	幼稚園・認定こども園
2号認定 (満3歳以上・保育認定)	お子さんが満3歳以上で「保育の必要な事由」に該当し、保育所での保育を希望される場合。	保育所・認定こども園
3号認定 (満3歳未満・保育認定)	お子さんが満3歳未満で「保育の必要な事由」に該当し、保育所等での保育を希望される場合。	保育所・認定こども園・地域型保育

③ 保育を必要とする事由と保育時間

支給認定を受け、保育所を利用したい希望がある場合、下記に記載した「保育を必要とする事由」が必要となります。また、就労時間や要件の内容により、保育所を利用できる時間が、保育標準時間と保育短時間の2つの区分により決定されます。

●保育を必要とする事由

- 就労(フルタイムのほか、パートタイム、夜間、居宅内の労働など基本的にすべての労働を含む)
- 妊娠、出産
- 同居または長期入院等している親族の介護・看護
- 災害復旧
- 求職活動(起業準備を含む)
- 就学(職業訓練校等における職業訓練を含む)
- 虐待やDVのおそれがあること
- 育児休業地取得中に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること
- その他、上記に類する状態として市町村が認める場合

●保育時間

時間種別	概要	利用時間
保育標準時間	フルタイム就労を想定した利用時間	最長 11 時間
保育短時間	パートタイム就労を想定した利用時間	最長 8 時間

(2) 地域子ども・子育て支援事業

事業名	事業概要
利用者支援事業	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業。
地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業。
妊婦健康診査	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業。

乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業。
養育支援訪問事業	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業。
子育て短期支援事業	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）及び夜間養護等事業（トワイライトステイ事業））。
ファミリーサポートセンター事業（子育て援助活動支援事業）	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。
一時預かり事業	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業。
延長保育事業	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業。
病児保育事業	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業。
放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業。

* 養育支援訪問事業、子育て短期支援事業、病児保育事業は、令和2年3月現在、三浦市では事業者が無く、実施しておりません。

2 保育利用率の目標値

保育利用率とは、満3歳未満の子供の数の全体に占める3号認定の子どもの利用定員数の割合のことです。各年度ごとに目標値を設定いたしました。

●保育利用率目標値

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値(%)	21	22	23	24	26

3 量の見込みと確保方策

令和2年度(2020年度)からの、三浦市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、平成30年度(2018年度)に子ども・子育て支援施策に関するニーズ調査を行いました。その結果と、市で作成している推計人口を基に、見込量を算出し、見込量に対する確保方策を、令和6年度(2024年度)までの5年の期間にて、数値目標として、確保方策を定めました。

(1) 教育・保育施設

ニーズ調査の結果と、推計人口により、各年度毎に量の見込みを積算し、現状の各保育所、幼稚園の定員数と比較すると、各年度とも、1号、2号認定分については、大幅に充足している状況となっておりますが、3号認定について、確保数が不足しており、令和2年度を目途に、定員数の調整を行い、不足分を確保していきます。

●令和2年度

認定区分			1号			2号			3号			計
対象年齢			3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	
量の見込み			150	151	153	67	72	81	20	58	63	815
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20				755
		保育所	6	8	8	67	70	70	21	47	55	352
		計	224	242	256	82	90	90	21	47	55	1,107
過不足			-74	-91	-103	-15	-18	-9	-1	11	8	-292

●令和3年度

認定区分			1号			2号			3号			計
対象年齢			3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	
量の見込み			145	148	148	65	71	78	19	56	61	791
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20				755
		保育所	6	8	8	67	70	70	21	47	55	352
		計	224	242	256	82	90	90	21	47	55	1,107
過不足			-79	-94	-108	-17	-19	-12	-2	9	6	-316

●令和4年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		141	143	144	63	68	76	18	54	59	766	
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20				755
		保育所	6	8	8	67	70	70	21	47	55	352
		計	224	242	256	82	90	90	21	47	55	1,107
過不足		-83	-99	-112	-19	-22	-14	-3	7	4	-341	

●令和5年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		137	139	139	61	66	73	18	52	57	742	
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20				755
		保育所	6	8	8	67	70	70	21	47	55	352
		計	224	242	256	82	90	90	21	47	55	1,107
過不足		-87	-103	-117	-21	-24	-17	-3	5	2	-365	

●令和6年度

認定区分		1号			2号			3号			計	
対象年齢		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳		
量の見込み		132	135	135	59	64	71	17	51	55	719	
確保の内容	教育 保育 施設	幼稚園	218	234	248	15	20	20				755
		保育所	6	8	8	67	70	70	21	47	55	352
		計	224	242	256	82	90	90	21	47	55	1,107
過不足		-92	-107	-121	-23	-26	-19	-4	4	0	-388	

(2) 地域子ども・子育て支援事業

① 利用者支援事業

平成30年6月、子ども課内に開設された子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う事業です。見込みについては現状の1箇所にて対応できる範囲である為、確保策も1箇所にて算出しています。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み(人日)	172	167	162	157	155
確保方策(箇所数)	1	1	1	1	1

② 地域子育て支援拠点事業

現在、上宮田小羊保育園内にある、子育て支援センターを拠点事業所として活用している事業です。見込みについては現状の1箇所にて対応できる範囲である為、確保策も1箇所にて算出しています。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み(人日)	3237	3140	3146	2955	2866
確保方策(箇所数)	1	1	1	1	1

③ 妊産婦健康診査

量の見込みについては、ニーズ調査での調査項目が無かったため、過去の実績及び推計人口を参考にし、積算しました。

事業内容については、現在も実施しており、今後も継続していきます。

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
量の見込み(健診回数)	2318	2249	2182	2117	2054	
確保方策	実施場所	県内各医療機関ほか				
	実施体制(人)	—	—	—	—	—
	検査項目	・健康状態の把握・検査計測・栄養、生活上の保健指導及び精神的な健康保持に係る事項・医学的検査				
	実施時期	随時	随時	随時	随時	随時

④ 乳幼児家庭全戸訪問事業

この事業についても、子ども課の母子保健事業の中で、現在も実施しており、今後も継続していきます。

		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
量の見込み（人）		180	175	170	165	160
確保方策	実施体制（人）	7	7	7	7	7
	実施機関	三浦市	三浦市	三浦市	三浦市	三浦市
	委託団体等	—	—	—	—	—

⑤ 養育支援訪問事業

現状子ども課の通常業務の範囲で対応している事業であり、今後も現状を維持する形で継続していきます。

		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
量の見込み（人）		0	0	0	0	0
確保方策	実施体制（人）	0	0	0	0	0
	実施機関	0	0	0	0	0
	委託団体等	0	0	0	0	0

⑥ 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

この事業につきましては、現在の市内の施設、社会資源の状況を勘案して、事業実施は難しいと判断しております。今後状況に応じて随時検討していきます。

		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
量の見込み（人日）		481	467	453	439	426
確保方策（人日）	子育て短期支援事業（ショートステイ）	0	0	0	0	0

⑦ 子育て援助活動支援事業（ファミリーサポート事業）

令和元年 12 月、子ども課内に開設された、みうらファミリーサポートセンターにおいて、有償ボランティアにより子どもを預かる方と子どもを預けたい方のマッチングを行う事業です。見込量については現状の 1 箇所にて対応できる範囲である為、確保策も 1 箇所にて算出しています。

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
量の見込み（人）	20	30	40	50	60
確保方策（箇所数）	1	1	1	1	1

⑧ 一時預かり事業

ここでは、量の見込みからサービス利用を一体的に考えるため、上記事業について、「ア. 幼稚園における在園児対象型一時預かり（預かり保育）」と、「イ. 在園児対象型を除く一時預かり、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業を除く）、子育て短期支援事業（トワイライトステイ事業）」の二つに分け、確保方策を計上していきます。

ア. 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり

ここにおける確保方策については、現状幼稚園で実施されている確保数を計上しております。2号認定における利用に対する量の見込みと比較し、不足となっておりますが、教育保育施設における2号認定の余剰分にて、十分対応できる範囲とし、追加の計上は行っておりません。

		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
量の見込み （人日）	1号認定による利用	452	438	425	412	400
	2号認定による利用	22015	21355	20714	20093	19490
確保方策 （人日）	一時預かり事業	16026	16026	16026	16026	16026

イ. 在園児対象型を除く一時預かり、子育て援助活動支援事業（病児緊急対応事業を除く）、子育て短期支援事業（トワイライトステイ事業）

ここでの確保方策につきまして、一時預かり事業については、保育所における一時預かりの過去5年間の実績の最大値を計上しております。

トワイライトステイ事業につきましては、ショートステイ事業同様、市内の施設や社会資源の状況を勘案し、事業実施は難しいと判断しております。

		R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
量の見込み（人日）		4770	4627	4488	4353	4222
確保方策 （人日）	一時預かり事業 （在園児対象型を除く）	616	616	616	616	616
	子育て援助活動支援事業 （病児・緊急対応強化事業 を除く）	2000	3000	4000	5000	6000
	子育て短期支援事業 （トワイライトステイ）	0	0	0	0	0

⑨ 延長保育事業

この事業については、現在市内全4保育所にて事業を実施しており、現状の体制で量の見込みの確保は可能である状況の為、現状を維持していきます。

		R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
量の見込み（人）		191	185	179	174	168
確保方策	実施体制（人）	12	12	12	12	12
	実施施設数	4	4	4	4	4

⑩ 病児保育事業

量の見込みと確保方策を比較し、大幅に確保方策が少ない計上となっておりますが、子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）同様、本市での実績が無い為、本市より人口規模が2倍以上の市の実績とほぼ同等の数値があれば充足されると判断し、当該数値を計上しております。

		R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
量の見込み（人日）		1401	1359	1318	1278	1240
確保方策 （人日）	病児保育事業	0	0	0	0	70
	子育て援助活動支援事業 （病児・緊急対応強化事業）	0	0	0	0	0

⑪ 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

三浦市学校教育ビジョンにより、令和7年度を目途に「1中学校区1小学校」の教育体制を目指していることから現状の体制で量の見込みの確保は可能である状況の為、現状を維持していきます。

		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
量の見込み（人）		230	225	220	215	210
確保方策	登録児童数（人）	196	196	196	196	196
	定員数（人）	236	236	236	236	236
	支援単位数	6	6	6	6	6
	実施場所（箇所数）	4	4	4	4	4
	指導員配置数（人）	25	25	25	25	25

第5章 行動計画

1 地域における子育ての支援

(1)地域における子育て支援サービスの充実及びネットワークづくり

課 題	<p>アンケート調査の結果によると、子育てに楽しさを感じている人は多いが、子育て環境の満足度は低くなっています。一方、「子どもとの過ごし方・遊び方」「子どもの食生活」「子どもの健康」「子どもの発育」等の悩みを持つ人も多く、これらに対応する相談体制等の充実が求められます。</p> <p>子育てに対する不安や負担感を軽減するためには、相談や交流の場、情報提供体制を充実させる必要があります。様々な就業の形態に応じた保育サービスを提供することを目指します。</p>		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
一時保育への支援	現在、一時保育を実施している2園については、引き続き経済的支援を行います。未実施の2園については、需要の拡大に応じて、保育園と調整を図っていきます。	一時保育実施園：2園	子ども課
子育て支援センターへの支援	育児不安などへの相談指導や地域の保育ニーズに応じた事業を行うなど、地域における子育て支援サービス及び情報の拠点としての役割を果たしている子育て支援センターの事業運営に対して、経済的支援を行います。	子育て支援センター実施箇所数：1ヶ所	子ども課
幼稚園の子育て支援の取り組み	預かり保育、施設開放、子育て相談等、私立幼稚園の物的、人的資源を活用した子育て支援の取組みを情報提供していきます。	ホームページ等での情報提供：年1回	子ども課
放課後児童クラブへの支援	事業運営に対し経済的支援、情報提供、関係機関の連携を行い、活動内容の一層の充実を図るとともに質の向上を支援していきます。またニーズ・小学校区再編に応じ、令和6年度を目途に実施箇所を調整します。	市内学童保育所：4ヶ所	子ども課
みまぐっこの実施	実施内容 親同士の交流 親子のふれあい遊び 発育・発達の確認 各種相談 ワンポイントアドバイス（保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士、防災課職員、文化スポーツ課スタッフ、育児サークル代表者等）	親同士の交流、子育て支援の継続	子ども課
子育てサークル活動への支援	実施内容 子育てサークルへの支援を行います。 育児サークル参加者の育児相談 サークル紹介の場の提供・サークルの一覧表を作成し配布します。	子育てネットワークへの支援の継続	子ども課
「つどいの広場」事業の支援	主に乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図るとともに、ボランティアによる育児相談などを実施する場としての「つどいの広場」事業を行う民間団体を支援します。	つどいの広場事業の支援の継続	子ども課

項目	行動計画の内容	目標	担当
主任児童委員等の活動支援	保健師・栄養士によるほっと*ハート健康相談や民生委員・主任児童委員の赤ちゃん訪問活動への協力支援を行います。また、地域での見守り等連携を図り、育児支援体制を強化します。	主任児童委員等への活動支援の継続	子ども課
子育て支援に関する情報提供	育児を応援する行政サービスガイド「ママフレ」にて、子育てに関する様々な情報を収集し、一元的に的確な、最新の情報を発信していきます。また、母子手帳アプリ「母子モ」の周知を行います。	「ママフレ」への情報の更新	子ども課
児童相談の実施	子育てについて不安を抱える保護者への支援を図るため、児童に係る相談全般の一義的窓口として市の機能を確保し、行政、小・中学校、保育所、幼稚園、放課後児童クラブ等の相互連携及び主任児童委員・児童委員等の地域における子育て支援者とのネットワークの構築を検討します。	児童相談全般の一義的窓口の設置継続	子ども課
ファミリーサポートセンター事業の実施	子育ての支援を行いたい人と子育ての援助を受けたい人が会員となり、地域で子育ての手助けをしていくしくみとして、ファミリーサポートセンター事業を実施いたします。	ファミリーサポートセンター事業実施による子育て支援の継続	子ども課
子育て世代包括支援センター事業の実施	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する子育て世代包括支援センターにおいて、保健師などの専門職等が全ての妊産婦等の状況を把握し、必要に応じて支援プランを作成することにより、妊産婦に対し切れ目のない支援を行います。	子育て世代包括支援センター事業実施による子育て支援の継続	子ども課

(2)保育サービスの充実

課題	全国的に保育所入所待機児童の解消が大きな問題となっていますが、現在待機児童が過去数年0の三浦市においても、共働き家庭の増加等に対し、多様化する様々な保育ニーズに対応するため、延長保育や一時保育等の保育所の機能の更なる充実を図っていくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
通常保育での待機児童の解消	通常保育については、定員の弾力的対応とともに、一時保育等を活用し、待機児童が生じないよう対応していきます。	子ども・子育て支援新制度の定義による待機児童数：0人	子ども課
民間保育所への支援	民間保育所における保育環境の充実を図るため、低年齢児保育の充実、アレルギー児童に対応する看護師・要保護児童に対応する保育士の配置に要する経費の一部を補助します。	民間保育所への支援の継続	子ども課
延長保育への支援	保護者の就労時間の長時間化等に対応するため、通常の開所時間（標準時間保育対象者は11時間、短時間保育対象者は8時間）を超えて、保育を実施する保育園の延長保育に対して経済的支援を行います。	延長保育への支援の継続	子ども課
夜間、休日、病後児保育の検討	夜間、休日、病後児保育については、令和6年度を目標に病後児保育を1か所で実施できるよう目指します。	病後児保育の実施数：1か所	子ども課

(3)児童の健全育成			
課 題	<p>地域社会における児童数の減少は、遊びを通じての仲間関係の形成や児童の社会性の発達と規範意識の形成に大きな影響があると考えられるため、地域において児童が自主的に参加し、自由に遊べ、学習や様々な体験活動、地域住民との交流活動等を行うことができる安全・安心な居場所づくりの推進が必要となります。</p> <p>また、児童の健全育成を図る上で公民館・学校等の社会資源及び児童委員・地域ボランティア・自治会等を活用した取組を進めることを目指します。</p>		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
子供向け講座の充実	現在、子ども講座としてサタデーボックス、したうら塾を開催しているが、そのほかの講座がないため子どもたちが参加できるような講座の充実を図っていきます。	利用者及び講座参加者数の増	南下浦市民センター
	社会教育活動の推進を図ることを目的に教室を開催していきます。	講座参加人数の増	セ初ン声タ市民
(4)子育てに伴う経済的負担の軽減			
課 題	<p>三浦市では、子育てに対する経済的支援として、児童手当、小児医療費の助成などを行っています。</p> <p>アンケート調査の結果によると、経済的支援の項目における要望において、医療助成の充実を希望する声が多く上がりました。今後は、三浦市の経済状況を勘案しながら、子育てに伴う経済的負担の軽減策を検討していきます。</p>		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
小児の医療費の助成	小児の医療について、引き続き、保護者の医療費にかかる経済的な負担の軽減に努めます。	保護者の経済的な負担の軽減	保険年金課
児童手当等の制度の周知・啓発の推進	児童手当制度等の普及啓発と周知に努めます。	児童手当等未手続者への周知：随時	子ども課
幼児教育保育無償化	非課税世帯の0歳から2歳までの子どもと、全ての3歳から5歳までの子どもの保育料を無償化します。	保護者の経済的な負担の軽減	子ども課
就学援助の周知	経済的な理由で小中学校へ就学させるのが難しい方の負担を軽減するために、就学費用の一部を援助するための就学援助制度の周知に努めます。	情報提供：毎年度4月全保護者	学校教育課
2 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進			
(1)子どもや母親の健康の確保			
課 題	<p>妊娠期、出産期、新生児期及び乳幼児期を通じての母子の健康が確保されるよう、乳幼児期を通じて母子の健康が確保されるよう、乳幼児健診、新生児訪問、母親父親教室等の母子保健における健康診査、訪問指導、保健指導等の充実及び親の育児不安の解消等を図るため、乳幼児健診の場を活用し、親への相談指導等を実施するとともに妊娠期からの継続した支援体制の整備を図っていくことを目指します。</p>		

項目	行動計画の内容	目標	担当
妊娠期から出産・新生児期の適切な保健指導及び情報提供・健康管理意識の啓発	母子健康手帳の交付・交付時の保健指導 実施内容 母子保健法第15条及び第16条に基づく妊娠届出書の提出時に、妊婦及びその家族に母子健康手帳を交付するとともに、保健指導を行います。	妊娠届出書提出時における保健指導により、母子の健康の確保を図ります。	子ども課
	プレママパパ体験デイ 実施内容 日曜実施 沐浴・妊婦体験、歯磨き体験、先輩ママ、赤ちゃんとの交流他	親の育児不安の解消を図ります。	子ども課
	妊産婦健康診査 実施内容 妊娠中及び産後の健康診査のうち、妊産婦健康診査補助券を交付し、指定した金額及び回数を補助します。	妊産婦健康診査の助成の継続により、母子の健康の確保を図ります。	子ども課
	妊産婦・新生児訪問指導（こんにちは赤ちゃん事業） 実施内容 妊産婦・新生児の健康管理及び育児支援のために、家庭訪問を行います。	妊産婦健康診査の助成の継続により、母子の健康の確保・育児不安の解消を図ります。	子ども課
	産後ケア事業 実施内容 産後の母子の健康管理及び育児支援のために、宿泊・デイ・訪問サービスを実施します。	母子の健康の確保・育児不安の解消を図ります。	子ども課
喫煙対策の推進	乳幼児・妊婦などの受動喫煙の状況を悪化させない対策及び家族の喫煙率が低下するような対策が必要です。 喫煙・受動喫煙に関する地域情報の集約と分かりやすい提供を行います。 情報提供は参加率の高い事業や地域組織を活用し効率的効果的に実施します。	母子健康手帳交付時及び乳幼児健康診査等において、受動喫煙の防止指導を実施します。	子ども課
健康診査の推進及び未受診者へのフォローの実施	3か月児健康診査 実施内容 発育・発達の確認 先天性疾患・股関節脱臼・斜頸・その他の疾患の発見 母親の産後の健康確認 保健指導（保育・栄養） 育児支援 保健師のワンポイントアドバイス 離乳食の話 歯科の話 問診 計測 診察 個別相談（保育・栄養） 未受診児には、通知による勧奨と電話や訪問等で健康状態の把握等をします。	健康診査事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課

項目	行動計画の内容	目標	担当
健康診査の推進 及び未受診者への フォローの実施	10か月児健康診査 事業内容 発育・発達の確認、運動機能、精神発達、発育不良、栄養状況及びその他の疾患の発見 予防接種相談と勧奨（MR1期水痘の予防接種の案内実施） 保健指導（保育・栄養・歯科）や育児支援 事故予防についての健康教育 虐待の早期発見・予防・防止、たばこ対策として分煙、たばこの害について啓発を行います。 未受診児には、通知による勧奨と電話や訪問等で健康状態の把握等をします。	健康診査事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
	1歳6か月児健康診査 実施内容 疾患の発見と適切な管理、発育・発達（行動・言語）の確認、育児支援・相談、食習慣、栄養状態の確認、予防接種状況の確認と相談、保健指導（保育・栄養・発達）、歯科健診（歯の萌出状況・むし歯の有無・歯の異常などの診察、歯磨き指導）、保育士による親子がふれあう遊び場の提供、虐待の早期発見・予防・防止、未受診者へのフォロー（受診勧奨、訪問、心理巡回相談等）、あそびの広場、問診、計測、診察、歯科健診、おやつ試食、個別相談	健康診査事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
	2歳児歯科健康診査 実施内容 歯科医師による診察 診察の結果、必要に応じてフッ素等の塗布 歯科衛生士による生活習慣の改善指導、歯みがき指導 保健師による保育相談・心理相談員による発達相談・栄養士による食生活相談	健康診査事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
	3歳児健康診査 実施内容 発育・発達の確認、視聴覚検査、尿検査、歯科健診にて、むし歯等の口腔疾患の発見、予防接種状況の確認と勧奨、保健指導（保育・栄養・歯科）や育児支援、あそびの場の提供、心理相談員による相談、虐待の早期発見・予防・防止。 たばこ対策として分煙、たばこの害について説明。 未受診児は通知による勧奨と4歳までに地区担当に電話や訪問、心理巡回相談にて健康状態等の把握をします。	健康診査事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
	乳幼児精密健康診査 実施内容 乳幼児健康診査で、疾病等の疑いについて早期発見・治療を行うため二次検査の医療機関を紹介します。	乳幼児精密健康診査事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課

項目	行動計画の内容	目標	担当
フォロー児への関係機関による連携体制の強化	こあらんど 実施内容 1歳6か月児健康診査後に子ども自身（発達や言葉の遅れ、経験不足等）や母親に専門的な支援が必要と思われる親子に季節の行事やプログラムを通して親子関係や子どもの発達について保健師、心理相談員、保育士、栄養士、歯科衛生士によるグループ指導や助言を行いません。 生活習慣が不規則な子どもや、転入等で近隣に友人がいない子どもとその親に対して集団での遊びを行います。 子育て支援センターや市内の遊び場所を紹介します。 相談：保健師…病気・生活リズム・予防接種 心理相談員…ことばや行動、子どもへのかかわりかた 保育士…親子遊びの方法 栄養士…むら食い、好き嫌い、おやつを取り方 歯科衛生士…歯の磨き方やむし歯予防	発達に不安のある乳幼児と母親に必要な支援を行い、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
	心理巡回相談 実施内容 市内保育園及び幼稚園児に年に2回巡回し、健康状況の把握と共に保育に必要な助言を保健師と心理相談員と共に行います。	健康診査後の要フォロー児等の状況確認やスタッフへの助言、保護者への支援を行い、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
歯科保健活動の推進	歯科相談 実施内容 歯科衛生士が保護者に対して生活習慣指導や歯みがき指導を母子保健事業と連携して行います。	相談事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
	園児歯科保健活動 実施内容 歯科衛生士が保育園・幼稚園を巡回訪問し、園児に対して歯みがき指導・フッ素洗口（希望する園児）を行います。 また、保護者や先生に対して歯科生活調査・生活習慣指導を行います。歯科健診の結果、歯のフェスティバルで表彰することにより、歯科保健活動の効果を確認します。	歯科保健活動事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
予防接種に対する意識啓発・接種率の向上	実施内容 定期予防接種を実施します。また、各健康診査時における相談、接種勧奨を行います。 健診や転入時のハガキ通知により、予防接種実施状況を把握します。 予防接種台帳や母子管理ファイルにおける接種状況の管理を行います。	予防接種事業実施により、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
母子保健に関する情報管理の徹底	母子保健カードの内容・活用・管理と母子保健管理システムを活用し、母子保健事業の効果的な実施のための情報管理の徹底を図ります。	母子保健管理システム活用により、母子保健事業の効果的な実施を図ります。	子ども課

項目	行動計画の内容	目標	担当
県保健福祉事務所・児童相談所等の関係機関との連携	切れ目のない支援のための関係機関の情報の共有や障害や育児不安への早期対応、支援を実施します。 健康状態に即した適切な療育・親子支援などのケアが受けられるよう教育委員会・鎌倉保健福祉事務所（三崎センター）・鎌倉三浦地域児童相談所などとの協力・連携をより強化します。	発達に不安のある乳幼児と母親に必要な支援を行うとともに関係機関と連携し、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
子育てに関する情報収集と専門窓口の紹介	保護者や関係機関に分かりやすい相談の場の紹介やフォロー体制の提示 障害や疾病があるなど、子育てに著しい不安を持つ親などに、子育てに関する情報を総合的に提供できるよう情報収集・各関係機関との連携に努めるとともに、専門窓口へ確実に繋がられるよう努めます。また、フォロー体制リーフレットを作成します。	発達に不安のある乳幼児と母親に必要な支援を行うとともに関係機関と連携し、乳幼児の健康の増進を図ります。	子ども課
(2)食育の推進			
課題	乳幼児期からの正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着及び食を通じた豊かな人間性の形成・家族関係づくりによる心身の健全育成を図るため、保健分野や教育分野の連携、また食育推進計画との整合性を図ることが必要となります。 また、低出生体重児の増加等を踏まえ、妊娠前からの適切な食生活の重要性を含め、妊産婦等を対象とした食に関する学習の機会や情報提供を進めていくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
食育推進計画との連携	食育基本法の前文には、「子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯に渡って健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基礎となる。」と規定されています。 この趣旨に主眼を置いて策定された三浦市食育推進計画と相互に連携・補完して、「正しい食生活習慣を身につける」などの目標達成に向けて取組みます。	朝ごはんを食べない（欠食）子どもの減少	健康づくり課
栄養指導事業の充実	栄養指導等 母子保健事業、歯科事業等での栄養相談・指導・教育を実施します。 月齢・年齢・家族生活状況に合わせた食事の取り方や望ましい食習慣を支援します。 食を通して母子の健康確保とともに、健やかな親子関係の形成を支援します。	栄養指導事業を実施することにより、乳幼児の望ましい食習慣を支援します。	子ども課
	もぐもぐごっくん（離乳食講習会） 実施内容 離乳食の始め方、進め方の指導 食べ方指導、離乳食メニューの紹介 ぱくぱくしゃかしゃか（離乳食と歯みがき教室） 実施内容 発育に合わせた離乳食の進め方、離乳完了から幼児食への移行等について指導 歯のお手入れ方法・相談、歯みがきの実践	乳幼児の各月齢に合わせた望ましい食事のとり方を支援します。	子ども課
学校給食の適切な推進	各学校への食指導をより一層の充実を目指します。	食習慣の充実	学校給食課
地産地消の推進	地場産食材活用による献立をより多くしていきます。	学校給食内容の充実	学校給食課

(3)思春期保健対策の充実

課題	若年者の人工妊娠中絶、性感染症罹患率の増大等の問題に対応するため、性や性感染症予防に関する正しい知識の普及、及び薬物・喫煙等に関する教育を図っていくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
思春期の子どもを対象とした啓発事業の推進	思春期の子供たちへの教育の場の拡大 次代の親となる思春期の子どもたちの健全な母性・父性が育まれるように、母子保健所管課、教育委員会、鎌倉保健福祉事務所（三崎センター）と連携して、思春期の子どもたちへのアプローチをしていきます。	思春期の子供たちへの教育実施数の増	子ども課

(4)小児医療の充実

課題	アンケート調査の自由意見欄の結果でも、地域小児医療体制の充実については、高いニーズがあることから、小児医療体制は、安心して子どもを生み、健やかに育てることができる環境の基盤となるものであり、小児医療、小児救急医療の充実について、積極的に取り組んでいくことを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
小児医療体制の充実	「三浦ならでは」の地域医療の確立を目指して病院改革を進めており、継続して小児科医の確保ができるよう、図っていきます。	今後も三浦市立病院において小児科外来診療を継続するため、最低限、常勤小児科医1名の確保	三浦市立病院
救急医療の推進	限られた医療資源のもと、迅速で適切な小児救急医療が実施されるよう、神奈川県及び近隣市町との連携により、救急医療体制の安定的な確保を推進します。 初期救急は、横須賀市との連携による救急医療センターでの応需体制を確保し、二次救急は、横須賀市、逗子市、葉山町との連携による広域病院群輪番制での応需体制を確保します。 また、三次救急は、神奈川県が主体となり、救命救急センターなどによる重篤な小児救急患者の医療提供体制の確保・充実を図るため、神奈川県との連携を通して、初期救急から三次救急までの体系的な救急医療体制の維持に努めます。 なお、夜間の小児患者の保護者等向け電話相談として、神奈川県が実施している「かながわ小児救急ダイヤル」について、市公式ホームページ等で周知します。	小児救急医療確保対策事業の実施 広域病院群輪番制運営事業の実施	健康づくり課

3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境づくり

(1)次代の親となる子どもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備

課題	次代の親となる男女が協力して家庭を築くこと及び子どもを生み育てることの意義に関する教育について、各分野が連携を図ることが重要であり、子どもや家庭の大切さを理解できるような機会を広げるための効果的な取組を推進することが必要です。 また、子どもが個性豊かに生きる力を助長することができるよう、学校の教育環境等の整備に努めます。		
----	--	--	--

項目	行動計画の内容	目標	担当
各学校における研究や各種研修会の充実	各校における学校研究を支援するため、指導主事が適切な助言を行います。 教育課題に応えるため、市教育研究所が主催する研究会、情報化に関する協議会、特別支援教育に関する研修会等を充実していきます。	指導主事派遣：各校年2回 研究会開催：年4回 各種研修会開催：年6回	学校教育課
教育評価の充実	学習指導要領改訂に伴って、導入される教育評価について、市学校教育研究会の教科部会での研究や学校間の情報交換を通じて充実していきます。また、教育評価についての研修会を実施し、学校での教育活動充実のための支援とします。	研修会開催：年1回	学校教育課
学校評価の充実	文部科学省が提示した新ガイドラインにそって、学校改善に効果的に活用できる学校評価を充実するため、校長会と共同で研究を進めます。 各校の学校評価結果を受け、教育委員会としての学校への支援を充実させます。	各学校の学校評価のホームページ掲載	学校教育課
教育課程の充実	三浦市の特色である新3学期制を基盤に、各校で特色ある教育課程を編成します。各校のよりよい教育課程の編成を支援するため、教務担当者会で情報交換の充実を図ります。	教務担当者会開催：年2回	学校教育課
地域教育力の活用	地域の教育力の効果的な活用を目指します。総合的な学習の時間や朝の読み聞かせ等において、外部指導者の活用によって教育活動が充実するように、各校の活用状況を情報提供します。	外部指導者活用状況についての情報提供：年1回	学校教育課
教科指導の充実	学習指導要領の改訂に基づき、各校では、「確かな学力」を培うために、教科指導のさらなる充実が求められています。その充実を実現するため、市内各校の授業研究に指導主事が加わり、適切な助言をすることで、充実した授業の成立並びに確かな学力の育成を支援します。	指導主事派遣：各校年2回	学校教育課
安全教育の充実	自己の健康や安全を管理し、正しい知識を身につけ、判断力を育み、優れた実践力を育成することが求められています。防災計画等にかかる学校間の情報交換を行い、各種計画等の充実を図る中で、安全教育を推進させます。	防災担当者会開催：年1回	学校教育課
道徳教育の充実	未来を開く主体性のある日本人を育成するため、道徳の授業を要とした道徳教育を充実させます。市学校教育研究会道徳部会と連携し、道徳教育の一層の充実を図ります。	指導主事派遣：部会へ年1回	学校教育課
総合的な学習の時間の充実	問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすることが求められています。「みうら学研究会」において、そのねらいを達成するような総合的な学習の時間のモデルを研究し、市内各校に紹介します。	モデルの紹介：4モデル	学校教育課
特別活動の充実	集団活動を通して自主的で実践的な態度を育成していくために、市学校教育研究会特別活動部会で各校の情報交換を充実します。	特別活動部会開催：年2回	学校教育課
児童・生徒指導の充実	自ら考え、主体的に判断し行動する自己指導力が身につくための指導が充実するように支援します。また、問題を抱える児童・生徒については、早期に発見し、早期に対応することが大切です。それに関わって、学校と関係機関が緊密に連携できるよう支援していきます。	指導主事派遣：各校年1回	学校教育課

項目	行動計画の内容	目標	担当
国際教育の充実	諸外国の人々の生活や文化を理解し尊重するとともに、我が国・郷土の文化と伝統を大切にする態度の育成及び外国語能力の向上のための指導が充実するように支援します。また、小・中学校に英語指導助手（ALT）を派遣し、国際教育の充実のための一助とします。	ALT派遣：延べ年200日	学校教育課
情報教育の充実	情報及び情報手段を主体的に選択し活用していく力などを育成するため、市内各校の授業研究に指導主事が加わり、適切な助言をすることで、ねらいを達成するための授業を充実します。また、情報化研究協議会での情報交換等を中心に、各校の情報教育の実践を支援します。	情報化研究協議会開催：年3回	学校教育課
特別支援教育の充実	児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、子ども達の自立を支援するため、特別支援教育推進計画に基づき、特別支援教育を充実させます。また、特別支援教育学校支援チームを各校に派遣し、各校での実践を向上させるとともに、各校と専門機関との連携を支援します。	特別支援教育学校支援チームの派遣：各校年2回	学校教育課
進路指導の充実	自己の進路に対する関心を高め、的確な自己理解のもとに、現在及び将来の生活において自己実現を図るための基礎的能力・態度を育成するために、各校の進路指導に関する実践やキャリア教育の視点からの実践を市学校教育研究会進路指導部会で情報交換するなどして充実させます。	進路指導部会開催：年2回	学校教育課
人権教育の充実	人間尊重の精神を基に、社会に存在する様々な不合理や差別をなくし、好ましい人間関係を理解させるなどの人権教育を充実させます。人権教育担当者会において、指導体制等についての情報交換を通して、各校での実践を支援します。	人権教育担当者会開催：年5回	学校教育課
異年齢児とのふれあいによる社会性の育成	児童会活動・生徒会活動などを通じて、異年齢児との活動を充実させます。また、幼稚園・保育園・小学校の連携協議会の情報交換等をとおして、ふれあい活動を支援します。	連携協議会の開催：年2回	学校教育課

(2)家庭や地域の教育力の向上

課題	学校・家庭・地域がそれぞれの役割・責任を自覚し、連携・協力し、地域社会全体で子どもを育てる観点から、家庭や地域の教育力を総合的に高め、社会全体の教育力の向上を目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
親子のふれあい体験等家庭教育学級の実施	公民館において家庭の教育力向上のため、親子のふれあい体験または家庭教育学級を実施します。	親子のふれあい体験及び家庭教育学級の参加者数の増	南下 セ浦 ンタ 初声 市民
三浦市子ども読書活動推進計画の実行	子どもが自主的に読書活動できるような環境づくりを推進するために、様々な活動を行います。	子どもにとって読書が今まで以上に、より身近に感じられるための活動の実施	文化スポーツ課

4 子育てを支援する生活環境づくり

(1)安全な道路交通環境の整備

課 題	事故の危険性が高く、子どもの通行量も多い通学路において、歩道等の整備、安全・安心な歩行空間を創り出すことを目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
安全かつ快適な道路の整備促進	新規の歩道設置は難しいが、歩行者が安全に通行できる対策を検討し、特に通学路の指定となっている道路においては、重点的に交通安全施設整備を実施していきます。	三崎署管内における当事者別事故発生件数の減少	土木課

(2)安心して外出できる環境の整備

課 題	アンケート調査の結果によると、自由意見欄の集計において、公園の整備は第1位に挙げられています。妊産婦・乳幼児連れの方等、すべての人が安心して外出できるよう、道路、公園等で段差の解消等のバリアフリー化を推進し、併せて妊産婦等への理解を深める「心のバリアフリー」のための取組を進めることで、ハード・ソフトの両面から一体的なバリアフリー化を目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
公園の適切な管理及び整備促進	市民の憩いの場、地域の人達の交流の場として、誰でも安心して利用できる公園であるために、樹木の剪定、伐採、除草及び害虫駆除等と併せ、遊具等の安全確保を図ります。 特に、公園入口についてバリアフリー対応となるよう整備していきます。	遊具の安全点検で補修や改修を必要とする遊具の整備	土木課

5 職業生活と家庭生活の両立の推進

(1)男性を含めた働き方の見直し及び仕事と家庭の両立の推進

課 題	仕事と生活の調和の実現については、各関係機関が連携を図り、協力し合いながら、地域の実情に応じた取組を進め、社会全体の運動として広げていく必要があります。 また、多種多様な働き方に対応した子育て支援を展開できるよう目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
女性の労働条件の改善・向上についての啓発活動	「みうら男女共同参画プラン」に基づき女性の登用促進等、女性の労働条件の改善・向上について啓発活動を行います。	女性の労働条件に関する情報提供の充実	観光商工課
	「みうら男女共同参画プラン」に基づき労働条件の男女平等化、女性の登用の啓発を図ります。	労働条件の男女平等化の改善及び女性の登用の促進	市民協働課
	講座を開催する際に、男性も参加しやすい講座を実施します。	男性参加人数の増	市民協働課
他機関との連携した広報等の実施	神奈川県、神奈川労働局などが主催するセミナー等の広報を行います。また、近隣自治体とも連携し、仕事と家庭の両立に係る事業の情報を広く提供していきます。	セミナー等の広報の拡充	観光商工課

6 子どもの安全の確保

(1) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進

課 題	子どもを交通事故から守るため、警察、保育所、学校、関係民間団体等との連携・協力体制の強化を図り、総合的な交通事故防止対策の推進を目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
交通安全キャンペーン活動及び広報の推進	各期における交通キャンペーンの他、各種スポーツイベントへ参加し、交通事故を呼び掛けます。 また、小学校などに出向き交通教育や高齢者に対しての自転車のマナーや歩行について啓発する他、飲酒運転撲滅キャンペーンを実施します。	交通事故発生件数の減	市民協働課

(2) 子どもを犯罪から守るための活動の推進

課 題	子どもを犯罪等の被害から守るため、地域住民・学校・関係機関・団体と犯罪等に関する情報交換を実施し、子どもが犯罪の被害に遭わない地域づくりを目指します。		
項 目	行動計画の内容	目 標	担当
協働による治安・防犯対策の強化及び啓発活動	組織化されていないが、地域住民が各小学校周辺における登下校時の児童を見守る活動を促すことにより、防犯意識が高揚し、「防犯のつどい」を開催することにより、知識の向上を図っていきます。	犯罪発生件数の減	市民協働課
	子どもの安全を守り、安心して登下校できるように、スクールガード事業を展開します。スクールガードの活動が充実するように支援します。	交通事故及び犯罪発生件数の減	学校教育課
地域防犯パトロールの推進	地域防犯については、住民の安全を守るため、地域の意見を聞き、その地域に合ったパトロールの方法を考えながら、情報、連絡、相談を密にして安心な町づくり体制の充実を図っていきます。	愛のパトロール参加者の確保	青少年教育課

7 要保護児童への対応等きめ細かな取組の推進

(1) 児童虐待防止対策の充実

課 題	児童虐待は、子どもの心身に深刻な影響を与え、子どもの人権を侵害するものです。児童虐待による深刻な被害や死亡事例があってはなりません。福祉関係者のみならず、医療・保健・教育・警察等の関係機関を含めた地域全体で子どもを見守る支援体制である三浦市児童虐待防止ネットワークを活用し、児童虐待の発生予防、早期発見・対応、保護・支援・アフターケアに至るまでの総合的な支援、及び協力体制の充実を目指します。
-----	--

項目	行動計画の内容	目標	担当
児童虐待防止ネットワーク体制の整備	児童に関する相談を受ける段階から、保護や支援を要する児童の状況を的確に把握し、必要な調査、指導、適切な支援を行います。また、児童虐待の早期発見のため、乳幼児健康診査や訪問指導等を活用するほか、保護を必要とする児童に関する通告義務等についての啓発を行います。 三浦市児童虐待防止ネットワークの機能を十分に活用し、児童虐待事例に対して、調査、処遇検討、見守りや在宅支援等の地域支援を行い、児童の家庭復帰、親子関係修復を図っていきます。見守り体制については、関係機関及び地域で継続して見守り、児童虐待の再発防止を図ります。	児童虐待発生件数の減	子ども課
子ども家庭総合支援拠点の設置	児童及び妊産婦の福祉に関し、実情の把握、情報の提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行う子ども家庭総合支援拠点を令和4年度を目途に設置を目指します。	子ども家庭総合支援拠点の設置：1か所	子ども課

(2)ひとり親家庭の自立支援の推進

課題	離婚や価値観の多様化により、近年、ひとり親家庭が増加しています。ひとり親家庭では、育児や家事の負担も大きいことから、経済的な援助とともに、就労・家庭・育児相談などの支援が必要です。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
経済的な支援及びひとり親家庭の自立に必要な情報提供や指導の実施	経済的基盤の弱い、ひとり親家庭等に対し、生活の安定と自立を支援し、児童を心身ともに健全に育成するため、これらの家庭に対して、児童扶養手当の支給を行い、経済的支援を行います。母子父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の相談、母子父子寡婦福祉資金貸付制度等の自立に必要な情報提供や指導を、関係機関と連携を図っていきます。	情報提供や指導の充実	子ども課
ひとり親家庭等の医療費の軽減	ひとり親家庭等の医療費について、引き続き保護者の医療にかかる経済的な負担の軽減に努めます。	経済的な負担の軽減	保険年金課

(3)障害児施策の充実

課題	障害の原因となる疾病や事故の予防及び早期発見・治療の推進を図るため、妊婦及び乳幼児に対する健康診査や学校における健康診断等を推進することが必要です。障害児の健全な発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるようにする観点から、保健・医療・福祉・教育等の各種施策の円滑な連携により、適切な医療及び医学的リハビリテーションの提供、在宅サービスの充実、就学支援を含めた教育支援体制の整備等、一貫した総合的な取組を推進することを目指します。		
項目	行動計画の内容	目標	担当
居宅介護事業の実施	日常生活を営む上で困難のある障害児に対し、ホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助等の家庭におけるサービスを提供します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課

項目	行動計画の内容	目標	担当
短期入所の実施	障害児を介護している家族の疾病や休養等の理由により一時的に家庭で介護が出来ない場合、短期間施設サービスを提供し、障害児及び、介護者の身体的・精神的な負担を軽減します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
障害児通所支援事業の実施	障害児の身体的、精神的発達を促すとともに、社会生活への適応性を向上させるため、通所施設におけるサービスを提供します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
補装具の交付	障害児の失われた身体的機能を補うことにより、日常生活の利便性を向上させるため、補装具の交付、修理を行います。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
日常生活用具の給付	日常生活の便宜を図るための用具の購入費を補助します。さらに必要に応じて給付対象となるものの見直しを行ない、より良いサービス提供により、介護者を支援し、児童の自立を支援します。	申請者の希望に応じた適切な支給決定の実施	福祉課
障害児相談支援事業の実施	障害児とその家族の福祉に関する様々な問題について、障害のある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援のほか、障害児支援利用計画の作成を行います。	専門性の高い相談の実施	福祉課
こども発達医療相談事業の実施	発達障害児等の早期発見、早期療育を目指し、医師、心理士等による診療、発達検査を実施します。	相談会の実施：年6回	子ども課
心身障害児生活訓練会の実施	発達に遅れがある就学前の児童と保護者を対象に基本的な生活習慣や社会性を、保護者に対しては障害の正しい理解や適切な養育技術の習得を目的に事業を実施します。三浦市の療育を担う場として、専門性を高め質の向上を図り、障害児の子育てを支援します。	専門性の高い療育の提供	子ども課

第6章 計画の推進に向けて

1 子ども・子育て支援事業計画の推進

この計画は、三浦市がこれから進めていく子ども・子育て支援施策を総合的にまとめたものです。その内容は、児童福祉や母子保健にとどまらず、広くさまざまな分野にわたります。

このため、子ども・子育て支援事業計画の推進に当たっては、庁内関係部局間の連携を密にし、また、関係機関や団体、地域などとの連携も図りながら、計画目標の実現に向けて取り組みます。

2 子ども・子育て支援事業計画の進行管理

子ども子育て支援事業計画の着実な推進に当たっては、継続的に子ども・子育て支援事業計画の実施状況をフォローすることが必要です。

このため、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づく子ども・子育て会議を設置し、子ども・子育て支援事業計画の進行管理を継続して行っていきます。